

第三十一回 帝國議會 貴族院議事速記錄第十八號

大正三年三月二十三日(月曜日)

午前十時九分開議

議事日程	第十八號 大正三年三月二十三日	午前十時開議
第一	畜產組合法案(政府提出)	第一讀會ノ續(委員長報告)
第二	登錄稅法中改正法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(委員長報告)
第三	戸籍法改正法律案(衆議院提出)	第一讀會ノ續(委員長報告)
第四	明治二十八年法律第六十二號中改正法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(委員長報告)
第五	寄留法案(衆議院提出)	第一讀會ノ續(委員長報告)
第六	明治四十三年法律第三十九號中改正法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(委員長報告)
第七	關稅定率法中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會ノ續(委員長報告)
第八	賣藥法案(政府提出)	第一讀會ノ續(委員長報告)
第九	府縣制中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會ノ續(委員長報告)
第十	市制中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會ノ續(委員長報告)
第十一	町村制中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會ノ續(委員長報告)
第十二	蠶絲業法中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會ノ續(委員長報告)
第十三	郡制廢止法律案(衆議院提出)	第一讀會ノ續(委員長報告)
第十四	醫師法中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會ノ續(委員長報告)
第十五	輕便鐵道補助法中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會ノ續(委員長報告)
第十六	姫路城西ノ丸保存ノ請願	第一讀會ノ續(委員長報告)
第十七	島根縣知井宮村ニ郵便局設置ノ請願	第一讀會ノ續(委員長報告)
第十八	香川縣圓座村ニ郵便局設置ノ請願	第一讀會ノ續(委員長報告)
第十九	徳島縣大郵便局ニ電信電話開設ノ請願	第一讀會ノ續(委員長報告)
第二十	第二辰丸不法抑留ニ因ル損害賠償ニ關スル請願	第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十一 雄物川改修工事速成ノ請願(文書表第三百二十九號)

第十二  
四國鐵道中高松小島間速成ノ請願

第二十三 岩木川改修工事速成ノ請願

第二十四 上越鐵道速成ノ請願(文書表第三百三十八號)

第二十五 上磯江差間鐵道速成ノ請願

第二十六 軍人恩給法規中改正ノ請願(文書表第三百四十八號第四百一號、第四百二號)

第二十七 上越鐵道速成ノ請願(文書表第三百七十一號)

第二十八 軍人恩給法規中改正ノ請願(文書表第三百八十二號)

第二十九 羽越沿岸線速成ニ關スル請願(文書表第三百八十三號)

第三十 羽越沿岸線速成ニ關スル請願(文書表第三百八十四號)

第三十一 雄物川改修工事速成ノ請願(文書表第三百九十五號)

第三十二 雄物川改修工事速成ノ請願(文書表第三百九十三號)

第三十三 雄物川改修工事速成ノ請願(文書表第三百九十四號)

第三十四 徳島縣下郵便線路改正並出合郵便局設置ノ請願

第三十五 雄物川改修工事速成ノ請願(文書表第三百九十四號)

第三十六 徳島縣下郵便線路改正並出合郵便局設置ノ請願

第三十七 徳島縣下郵便線路改正並出合郵便局設置ノ請願

第三十八 徳島縣下郵便線路改正並出合郵便局設置ノ請願

第三十九 徳島縣下郵便線路改正並出合郵便局設置ノ請願

第四十 徳島縣下郵便線路改正並出合郵便局設置ノ請願

第四十一 徳島縣下郵便線路改正並出合郵便局設置ノ請願

第四十二 徳島縣下郵便線路改正並出合郵便局設置ノ請願

第四十三 徳島縣下郵便線路改正並出合郵便局設置ノ請願

第四十四 徳島縣下郵便線路改正並出合郵便局設置ノ請願

第四十五 徳島縣下郵便線路改正並出合郵便局設置ノ請願

第四十六 徳島縣下郵便線路改正並出合郵便局設置ノ請願

第四十七 徳島縣下郵便線路改正並出合郵便局設置ノ請願

第四十八 徳島縣下郵便線路改正並出合郵便局設置ノ請願

第四十九 徳島縣下郵便線路改正並出合郵便局設置ノ請願

第五十 徳島縣下郵便線路改正並出合郵便局設置ノ請願

第五十一 徳島縣下郵便線路改正並出合郵便局設置ノ請願

第五十二 徳島縣下郵便線路改正並出合郵便局設置ノ請願

第五十三 徳島縣下郵便線路改正並出合郵便局設置ノ請願

第五十四 徳島縣下郵便線路改正並出合郵便局設置ノ請願

第五十五 徳島縣下郵便線路改正並出合郵便局設置ノ請願

第五十六 徳島縣下郵便線路改正並出合郵便局設置ノ請願

第五十七 徳島縣下郵便線路改正並出合郵便局設置ノ請願

第五十八 徳島縣下郵便線路改正並出合郵便局設置ノ請願

第五十九 徳島縣下郵便線路改正並出合郵便局設置ノ請願

第六十 徳島縣下郵便線路改正並出合郵便局設置ノ請願

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス  
〔河井書記官朗讀〕

去ル二十日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨

回付セリ

營業稅法中改正法律案

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨

ヲ衆議院ニ通知セリ

## 相續稅法中改正法律案

大嘗祭齊田ノ土地免租ニ關スル法律案

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ衆議院提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

## 地租條例中改正法律案

## 國稅徵收法中改正法律案

公共團體ノ管理スル公用土地物件ノ使用ニ關スル法律案

同日本院ニ於テ否決シタル左ノ衆議院提出案ハ第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決シタル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

## 織物消費稅法中改正法律案

## 通行稅法中改正法律案

同日決算委員長ヨリ左ノ報告書ヲ撤回セリ

明治四十四年度歲入歲出總決算、明治四十四年度各特別會計歲入歲出決算審查報告書

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

## 質屋取締法中改正法律案外一件特別委員會

委員長 有松英義君 副委員長 小野田元熙君

## 取引所法中改正法律案外一件特別委員會

委員長 子爵松平親信君 副委員長 仲小路廉君

## 耕地整理法中改正法律案可決報告書

## 地租條例中改正法律案可決報告書

畜產組合法案可決報告書

實用新案法中改正法律案可決報告書

明治四十四年度歲入歲出總決算、明治四十四年度各特別會計歲入歲出決算審查報告書

昨二十二日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

取引所法中改正法律案可決報告書

取引所稅法改正法律案可決報告書

本日第五部ニ於テ理事ノ補闕選舉ヲ行ヒシニ其ノ結果古市公威君當選セリ

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス

○伯爵德川達孝君 本員ハ是ヨリ勸業銀行法中改正法律案ノ委員會ヲ開キタク思ヒマス爲ニ退席ヲ致シマス、御許ノ程ヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 德川伯爵ノ特別委員ノ退席ノ要求ハ許可シテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 威ニ諸君ニ申上ゲマスガ德川請願委員長ヨリ會期切迫ニ依リマシテ、唯今請願委員會並ニ分科會ヲ開會イタシタイ趣デゴザイマス、諸君ニ於テハ無論御異存アルマイト存ジマシテ、議長ニ於テ許シテ置キマシタ、此段申上ゲテ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第一、畜產組合法案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告

「左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ」

## 畜產組合法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正三年二月二十日

右特別委員長

伯爵松平直之

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵松平直之君演壇ニ登ル〕

○伯爵松平直之君 本員ハ畜產組合法案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告イタシマス、此案ニ付キマシテハ十八日十九日ノ兩回開キマシタ、デ結果ハ原案ノ通り可決イタシマシテゴザイマス、デ此中ノ十三條ト云フ科目デゴザイマス、之ニ付キマシテ削除シタイト云フ御意見ガ出マシテゴザイマスガ、是ハ少數デ以テ否決ヲ致シマシタ、此案ハ詰リ是マデ實行サレテ居リマシタ產牛馬組合法ト云フモノガ重ナルモノデアリマス、ソレニ羊豚ヲ加ヘマシテ畜產組合法案ト云フモノガ出來マシタ、詰リ產牛馬組合法デハ不備ノ點ガアルト云フノデ、是ダケヲ加ヘマシテ畜產組合法ト云フモノガ出來マシタノデゴザイマス、右ノ通リデ多數ヲ以テ原案ヲ可決イタシマシタ、御報告申上グマ

ス、終ニ臨ミマシテ、此案ニ付キマシテ賛成者ノ一人カラ希望ヲ述ベラレテ居リマスカラ、之ヲ御取次イタシマス、ソレハ斯ノ如キ條項ノアル議案ヲ會期切迫ニナツタ時分ニ政府カラ提出セラレテハ、細イ所マデ審議スルコトガ出来ズ、甚ダ困ルカラシテ將來ハ成ルベク早クスウ云フ案ハ御提出ニナルヤウニ致シタイ、此希望ヲ述ベラレマシテゴザイマスカラ御取次ヲ致シテ置キマス、報告ハ是デ終リマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御發言モナイト認メマスカラ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者

多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○伯爵松平直之君 直チニ二讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○男爵中川興長君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス……委員長報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者

多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○伯爵松平直之君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ……

○男爵中川興長君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス……第二讀會決議ノ通リ御異存ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二、登録稅法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

登録稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正三年三月十七日

右特別委員長

男爵尾崎三良

貴族院議長公爵德川家達殿

〔男爵尾崎三良君演壇ニ登ル〕

○男爵尾崎三良君 登録稅法中改正法律案特別委員會ノ報告ヲ致シマス、本員ハ誤ツテ委員長ニ選バレマシタ故ニ一通り申述ベニヤナリマセヌガ、實ハ初

メ此法案ノ出マシタ時ニ一向ドウ云フ事カ存ジマセナシダガ、近頃段々此減稅法案が出マス、其他種々重大ナル法案が出マスニ付テハ、此登録稅法中改正法案モ必ズ減稅ニ關スルコトニアラウト存ジテ居リマシタ、所ガ之ヲ熟讀シマシテ大ニ失望シタノデアリマス、ト申シマスルモノハ、一向減稅ノ目的ガナイ、唯中ノ箇條ナドニ付テ些細ナル修正デアリマス、デ本員ガ望ム所ハ此際此過重ナル登記稅ト云フモノヲ、モウチット減ジタイト云フ考デアリマス、殊ニ此不動產登記稅ハ今日非常ニ過重ナルト云フコトハ諸君モ皆認メテアラウト存ジマス、先ヅ實際ニ述ベテ見マスレバ、現在私共ノ有ツテ居ル住宅ガ麻布ニアリマスガ、二十年前ニ買ヒマシタ時ニ、凡ソ二千三百坪程ノ所デアリマスガ其時ニ賣買シマシタナラバドンナコトレラ認メテ貰フ手數料ハ一圓デ済ンダノデス、所ガ其後段々登記稅法ト云フモノガ出來、今日デハ賣買ハシマセヌケレドモ、若シ賣買シマシタナラバドンナコトニテモ五六千圓ハ取ラレルト云フコトニナツテ居ル、二十年程ノ間ニ五六千倍ノ稅ニナルト云フコトハ隨分是ハエライコトデアル、サル故ニ此登記ノ場合ニ於テハ、大抵毎時登記官吏ト申請スル人民トノ間ニ必ズ衝突ガアルノデ、人民ノ方デハ成ルベク稅ヲ輕クシタイトニナツテ居ル、マア何程カ初ハサウ云フ考デ實際ノ賣買ヨリ少ク書イテ出シタコトモアリマセウ、ソコデ登記官吏ハ是ハ廉過ギル、モット高クシリト云フヤウナコトニナツテ、ソレガ殆ド習慣ノヤウニナツテ居ル、然ルニ之ヲ争ツテ見タ所ガ、何時マデ掛ツテモ一向埒が明カナイ、民間ノ金融ノ忙シイ間ニ、ゴテ／＼ト登記官吏ト問答ヲシテ居ル間ニ、時期ガ過ギ去ツテ非常ナ損害ニナルカラ、已ムヲ得ズ登記官吏ノ云フコトニ從ツテ、泣ク／＼過重ナル稅

ヲ出スト云フコトデアリマス、サウ云フコトニナツテ居ルカラ、偶、正直ニ實際ノ値段ヲ書イテ出シテモ、チャント登記官吏デハ必ズ是ハ隠シテ居ルト考ヘルノカ、何デモ餘計取リサヘスレバ宜イト云フ考デヤル、イヤソレデヤ高イト押問答ラシテモ、ドウシテモ登記ヲシテ吳レスカラ已ムヲ得ズ實際賣買シタ價格ヨリ高ク書イテ出サヌナラスト云フコトガ起フテ居ル、現在私共ハサウ云フ目ニ一二度遇ウテ居ル、ソレ故ニ又人民ノ方デハ是ハ正直ニ書イテ出スノハ誠ニ無駄ナ話ダ、幾ラ正直ニシテモ必ズ其書イタヨリ二三割方高クセネバ登記シテ吳レナイカラ、是ハモウ必ズ二三割上グラレルモノト見テ、二三割今度低ク書イテ出ス、サウスルト登記官吏ガ上ゲル、モット餘計ニシナクテハイケナイト言ウテ、先ヅ實際ノ値段位マデニ落付ク、場合ニ依ルトソレヨリ上ニナルコトモアル、サウ云フ理窟デ上下交、僞リ利ヲ取ルト云フコトニナツテ居ル、又之ニ反シテ政府ニ於テ土地ガ入用ト云フ場合ニ、土地收用法ニ依テ之ヲ取上ゲルト云フトキニハ、反對ニ實際ノ賣買値段ヨリモ廉ク積ッテ取ル、是モ現在私共ハ經驗ガアルノデス、ソレハ東京市内デハサウエライコトモナイデスガ、多少ハソレガアルガ、田舎ニ行クト隨分エライコトガアル、先ヅ茲ニ一ノ例ヲ申上ゲテ見マスト、私ドモ熱海ニ二三年前ニ地面ヲ買ヒマシタ、ソレガ一坪三圓九十錢デ買ッタ、是ハ登記役所ヘ持ッテ所ケバ二三割必ズ上ゲラレルニ違ヒナイカラ、少シ控ヘ目ニシテ出サウト言フカラ、先ヅソレヨリ少シ廉クシテ出シタ、サウスルト果シテ登記官吏ニ於テハ此邊ノ地面ハ今日ノ價格ハモット是ヨリ上デアル、イヤ私ハ實際ソンナモンヂヤ、イヤソレデハ決シテ登記ハシナイト云フカラ、己ムヲ得ズ之ヲ坪四圓位ノ價格ニシテ先づ登記ハ濟マシタ、登記官吏ニ於テハ此邊ハモウ總テ四五圓ノ值打ガアルノデアル、私共ハ三圓九十錢デ買ッタカラ、四五圓ノ值打ガアルト言ハレテモ仕方ガナイ、所ガ今度鐵道院ガ鐵道ノ敷地ニ要ルカラ、ソレヲ土地收用法ニ依テ買取ラナケレバナラヌ、ドレ位ニ買取ルノカト云フト坪一圓ダト云フ、ドウデゴザイマセウ、同ジ政府ノ役人ガ、一方デ取上ゲル目的ノ爲ニハ非常ニ高ク云ウテ……一方デ之ヲ稅ヲ取ルトキハ高ク云ヒ、之ヲ取上ゲルトキニハ其四分ノ一カソコラニシカシナイト云フヤウナ譯ニナツテ居ル、マダソレハ解決ハシマセヌケレドモ、マアサウ云フ有様、言ウテ見ルト成ル程登記官吏ト鐵道院ノ役員ハ全ク局ガ違フカラ、別モノト云ヘバ云ヘルノデアリマスケレドモ、之ヲ人民カラ見レバ同ジク政府ノ役人ニ違ヒナイ、同ジ政府ノ役人ガ

稅ヲ取ル目的ノ爲ニハ之ヲ高クシ、政府ニ必要ガアルト云フトキニハ同ジモノヲ又非常ニ廉ク積ッテ、ソレデ稅ヲ取ルト云フノハ如何デゴザイマセウ、斯ルコトハ暴政ト云ハウカ何ト云ハウカ、斯ウ云フコトハアルベキ筈ノモノデナイガ、ソレガ行ハレテ居ル、又人民モ是ハ仕方ガナイ、泣ク子ト地頭ニハ仕方ガナイト云フヤウナ譯ニナツテ居ル、是ト申スモ詰リ稅ガ餘リ高過ギルカラノ話デアル、サウ云フヤウニ上下交、欺合ヒ、已ヲ利益セムトスル、人民ノ自分ノ負擔ヲ輕クシタイト云フノハ是ハ事情尤モナ話デアルガ、政府ニ於テハイケナイト言ウテ、先ヅ實際ノ値段位マデニ落付ク、場合ニ依ルトソレヨリ上ニナルコトモアル、サウ云フ理窟デ上下交、僞リ利ヲ取ルト云フコトニナツテ居ル、又之ニ反シテ政府ニ於テ土地ガ入用ト云フ場合ニ、土地收用法ニ依テ之ヲ取上ゲルト云フトキニハ、反對ニ實際ノ賣買値段ヨリモ廉ク積ッテ取ル、是モ現在私共ハ經驗ガアルノデス、ソレハ東京市内デハサウエライコトモナイデスガ、多少ハソレガアルガ、田舎ニ行クト隨分エライコトガアル、先ヅ茲ニ一ノ例ヲ申上ゲテ見マスト、私ドモ熱海ニ二三年前ニ地面ヲ買ヒマシタ、ソレガ一坪三圓九十錢デ買ッタ、是ハ登記役所ヘ持ッテ所ケバ二三割必ズ上ゲラレルニ違ヒナイカラ、少シ控ヘ目ニシテ出サウト言フカラ、先ヅソレヨリ少シ廉クシテ出シタ、サウスルト果シテ登記官吏ニ於テハ此邊ノ地面ハ今日ノ價格ハモット是ヨリ上デアル、イヤ私ハ實際ソンナモンヂヤ、イヤソレデハ決シテ登記ハシナイト云フカラ、己ムヲ得ズ之ヲ坪四圓位ノ價格ニシテ先づ登記ハ濟マシタ、登記官吏ニ於テハ此邊ハモウ總テ四五圓ノ值打ガアルノデアル、私共ハ三圓九十錢デ買ッタカラ、四五圓ノ值打ガアルト言ハレテモ仕方ガナイ、所ガ今度鐵道院ガ鐵道ノ敷地ニ要ルカラ、ソレヲ土地收用法ニ依テ買取ラナケレバナラヌ、ドレ位ニ買取ルノカト云フト坪一圓ダト云フ、ドウデゴザイマセウ、同ジ政府ノ役人ガ、一方デ取上ゲル目的ノ爲ニハ非常ニ高ク云ウテ……一方デ之ヲ稅ヲ取ルトキハ高ク云ヒ、之ヲ取上ゲルトキニハ其四分ノ一カソコラニシカシナイト云フヤウナ譯ニナツテ居ル、マダソレハ解決ハシマセヌケレドモ、マアサウ云フ有様、言ウテ見ルト成ル程登記官吏ト鐵道院ノ役員ハ全ク局ガ違フカラ、別モノト云ヘバ云ヘルノデアリマスケレドモ、之ヲ人民カラ見レバ同ジク政府ノ役人ニ違ヒナイ、同ジ政府ノ役人ガ

○議長(公爵德川家達君) 尾崎男爵、成ルベク委員會ノ經過並結果ダケラ……  
○男爵尾崎三良君 宜シウゴザイマス、餘派デゴザイマスカラ……私ハ爰ノ所ニ上ガッテ演説スルノハ、今年初メテデアリマスカラ、十分ドウカ願ヒタイモノデゴザイマス、此今ノ政府ガ決シテソレガ爲ニ殊更ニ責任ガアル譯デナイ、一體代々ノ政府ハサウ云フコトヲ考ヘネバナラヌ、此結果ガドウナルカト言ヘバ、唯人民ハ政府ニ反對スレバ喜ブ、今日ノ新聞ハ如何デス、政府ニ反對スル新聞ナレバドシ、賣レル、之ヲ擁護スル新聞ナレバ一向誰モ買ハヌト云フ有様デアル、此結果ハ誠ニ恐ルベキモノト考ヘマスカラ、ドウカ機會ガアツタラ是等モ十分ニ緩和策ヲ施サレムコトヲ希望スルノデアリマス、詰リ是ガドウ云フコトニ成リ行クカ、此調子デ行ッタナラバ謂ハユル昔カラ苛政ハ猛虎ヨリ甚シイ、聚斂ノ臣アラムヨリハ寧ロ盜臣アレト思フタ位ナモノデ、餘程ソレニ今日ハ似テ居ルト思ヒマスカラ、此稅法案ニ緣故シテ一言豫テノ持論ヲ申述べテ諸君ノ御考ヲ煩ハシタイノデアリマス、所デ此案ハソンナ大キナ問題デハナイ、極ク小サイ問題デアル、謂ハバ立法府ニ掛ケル程ノモノデモナカラウ、法制局アタリデ調ペタラ宜カラウト思フ位ノモノデアリマスケレドモ、苟モ法律ノ改正トアレバ已ムヲ得ズ諸君ヲ御煩ハシ申サヌケレバナラヌ譯デアリマス、デマア既ニ提出セラレタ以上ハ十分ニ慎重ニ審議ヲ盡シテ諸君ニ其結果ヲ御報道申スルノデアリマスガ、デ今度ノ改正ノ目的ト云フモノハ此理由書ニモアリマスル通り、此登記官吏ガ人民カラ申請セラレタ書類ニ

付テ、不當ト認ムル時ハ、今日マデハ幾ラト云フコトヲ登記官吏ガ示サナケレバナラヌト云フコトハナイ、唯不當ト見レバ不當ダカラ是デヤイケナイト云

フコトダケデ、ソンナラ幾ラデ宜シイカト云フト、ソコハ私ハ言フ譯ニイカヌカラ、モット上ニシテ來イト云フ位ノ有様ニナツテ居ル、ソレヲ今度ノ改正法ニ依テ其場合ニハ登記官吏ガ幾ラト認メル、認定スルト云フコトヲセナケレバナラヌ、ソニデ其認定ニ不服ノアル時ニハ、以前ハ評價人ヲ呼ンデ評價ヲサセテ、其上デナケレバ登記ガ出來ナカッタ、其評價人ノ手續ト云フモノモ隨分面倒ナモノデスカラ、日數ヲ要スル、ドウモ仕方ガナイ、ソレヨリ早クシテ貰ッタガ宜イト云フコトカラシテ官吏ノ言フコトハ不當ト思ウテモ泣ク〜之ニ從ツタト云フ意味ガアル、今度ハ其認定價格ガ不服デアツテモ、先ヅ以テ其認定價格ト自分ノ申出タ價格ト相違シタ稅ダケヲ假リニ納メテ登記シテ貰フ、登記シテ貰ツテカラ別ニ評價シテ貰フコトガ出來ル、斯ウ云フコトニ改メタノ

デ、幾ラカ此點ニ於テハ一ノ進歩デアリマス、ソレカラ此明治四十四年ニ商法ノ改正ガアリマシテ、其時ニ大分其加ツタ條ガアルノデ、ソレニ付テハ登記ヲ要スルコトモアルガ、一向登錄稅法ニソレガ載ツテ居ラヌカラ是ガ闕漏シテ、落チテ居ルノデアリマスカラ、ソレヲ今度補フト、マア云フ位ナコトガ重大ナ

今度ノ改正ノ要點デアリマス、其上ニ衆議院デモウ一步進ンデ評價人ノ評價格ニ不服ノ時ニハ裁判所ヘ異議ヲ申出ルコトガ出來ルト云フ一箇條ヲ衆議院デ加ヘタノデ、是ハ又ドレダケノ實際效能ガアルカ知レマセヌガ、ケレドモ幾ラカ其自分ノ枉屈ヲ伸ベル途ヲ廣メタ譯デアリマスカラ、少シモ差支ナイン

ミナラズ幾ラカ進歩デアラウト思ヒマス、依テ委員會デハ二回開キマシテ其改正ノ精神ヲ十分政府委員ニ質問ラシ、十分分リマシタカラモウ此原案通りデ宜カラウ、一人モ異議ナク可決イタシタンデゴザイマス、此原案ニ付テ、箇條ニ付テ御質問ノ廉ガアレバ政府委員ヘドウゾ御質問アラムコトヲ希望イタシマス、細イコトハ私ドモ聞イテ居リマスガ忘レテ居ルカモ知レマセヌカラ、ソレハ政府委員カラ間違ナク答辯セラレルデアリマス、デ此案ハ大分箇條モ

アリマスケレドモ、事柄ハ極ク單純ナモノデアリマシテ會期切迫ノ際デアリマスカラ、ドウカ御異議ガナケレバ讀會ヲ省略シテ一度ニ決メタイト思ヒマスカラ、其方ヘ御賛成ヲ願ヒマス、諸君ノ御時間ヲ費シテ甚ダ恐入リマシタ○議長(公爵徳川家達君)此際議長ヨリ諸君ニ一言申述べマシテ、議長ノ希望ノ點ヲ御承知アラムコトヲ望ミマス、ソレハ委員長ハ委員會ノ經過並ニ結

果ヲ御報告ニナル際ニハ、成ルベク御一己ノ御意見ハ御報告後ニナサレルコトヲ切ニ望ミマス

○田中源太郎君 読會省略贊成

○男爵中川興長君 読會省略贊成

○男爵村上敬次郎君 読會省略贊成

○伯爵松平直之君 読會省略贊成

○男爵高木兼寛君 贊成

○奥山政敬君 贊成

○子爵柳原義光君 贊成

○伯爵柳原義光君 贊成

○子爵松平親信君 贊成

「其他」讀會省略贊成ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 読會省略ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第三、戸籍法改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、第四、明治三十八年法律第六十二號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、第五、寄留法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、第六、明治四十三年法律第三十九號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

戸籍法改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正三年三月十九日

右特別委員副委員長

松岡 康毅

## 貴族院議長公爵徳川家達殿

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也  
明治三十八年法律第六十二號中改正法律案

大正三年三月十九日

右特別委員副委員長

松岡 康毅

寄留法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正三年三月十九日

右特別委員副委員長

松岡 康毅

貴族院議長公爵徳川家達殿

明治四十三年法律第三十九號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正三年三月十九日

右特別委員副委員長

松岡 康毅

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔松岡康毅君演壇ニ登ル〕

○松岡康毅君 唯今議題ニ上リマシタ戸籍法改正法律案外三件ノ委員會ノ結果ヲ御報告イタシマス、本件ハ我國民ノ出生、死亡、婚姻、家督、分家其他身分ニ付キマシタコトハ、上下ノ別ナク何人ニモ係リマスル所ノ甚ダ重要ナル法律デゴザイマスノデ、委員選定ノ際ニモ特ニ十五名ノ委員ヲ選定セラレマシタ、然ルニ委員中ニハ此法律ニ精通ノ諸君ガ多々アリマシテ、肝要ナル審査又質問等モ數日ニ亘テナレマシタコトデゴザイマス、法律ノ内容ニ付キマシテハ、先日本會ニ於テ司法大臣ヨリ演説ニナリマシタ通り、現行法律ハ身分登記法、戸籍法ト申シマシテニ一大分ニナッテ居リマシタガ、其内容ハ隨分

繁密ナ分リニクイ所ノ箇條モアルノデゴザイマシタガ、是ハ我國ノ家族制度ヲ基礎トシテ居ル所ノ國民ノ上ニ於キマシテハ、現行法ガ二分ニハナツテハ居リマスルガ、官民ノ關係又ハ人民相互ノ間ノ關係ニ於キマシテモ、重ニ戸籍法ト申スノデ用ヲナシテ居リマスル、之ヲ其内容ノモノヲ合併イタシマシテモノガ二百條以内ニナツテ、サウシテ簡便ニ分ツテ參ルト云フヤウナ次第デゴザイマシテ、其大要ハ唯今申シマシタ通り、司法大臣ガ演説ニ盡サレテ居リモ減少サレル次第ゴザイマシテ、一口ニ申シマスレバ、二百數十條アツタモノガ二百條以内ニナツテ、サウシテ簡便ニ分ツテ參ルト云フヤウナ次第デゴザイマシテ、ナウシテ會期ニハ餘日モゴザイマセズ、些細ノ事デ成立ヲ遅延スルコトハ甚ダ不得策ナ譯デアルト申ス所ガ第一ノ理由ニナリマシテ、第ニニハ衆議院ニ於キマシテ數箇條ノ修正ガアリマス、是ハ若シ會期ニ餘日ガアツテ、ユックリ調査ノ出來ルト云フ場合ナラバ、委員會ニ於テモ多少修正モシタイ所モアル、衆議院ノ修正ト申スモノモ能ク見マスルト、何ト申シタラ宜シイカ、アンマリ名修正デナイト云フコトヲ認メルノデゴザイマス、例ヘバ戸籍ハ何ミ之ヲ作ルトゴザイマス、最初ニアリマス文字ヲ之ヲ編製スト改メマシタ、現行法ニ於キマシテモ戸籍ハ之ヲ作ル、初メテ作ルトキデアリマシテ、一戸一戸ニ付テ戸籍簿ヲ作ルノデゴザイマスカラ作ルト書イテアル、是ハ現行法ノミナラズ古ノ大寶令ニ於キマシテモ矢張リ之ヲ作ルトナツテ居リマス、然ルニ之ヲ編製スト衆議院デ變ヘタ、編製ト申セバ數箇アルモノヲ順序立テ、組立テルノガ編製デアラウ、然ルニ之ヲ作ルトアルノヲ編製トシタノハ改正カ否ヤト云フコトガ少シ疑ガアル、又職業ト申スコトヲ届書ニ書キマス所ハ原案ニハ一箇所ゴザイマシタガ、ソレヲ五六箇所ニ悉ク職業ヲ入レサセルト云フ修正ニナリマシタ、是モドウアルカト思フ、職業ト申シマスル法律デゴザイマスノデ、職業ト申シマスル法律デゴザイマス、ケレドモ極ク分リ易イ所デ申シマシテモ、今日一ノ職業ヲシテ居ル者ガ明日ハ直グニ外ノ職ニ轉ズルト云フコトハ珍シクナイコトデアリマシテ、人ノ一生ノ中ニハ數箇ノ職業ニ移ルコトハ何人モ多クアルコトデゴザイマス、然ルニ戸籍簿ニ届出ル時ニノミ職業ヲ書イテ置キマシタノデハ眞實職業ノ調ヲ明確ニ

スルコトハ出來ナイノデゴザイマス、唯届出ル時ダケノ職業デ、既ニ翌日ノコトハ分ラナイト云フ次第、戸籍ノ上ニハ職業ト云フモノハ何等必要モナイラシウゴザイマス、唯統計上ニハ職業分ヲスルカラ入用デアリマスガ、其統計上ノ調トシマスレバ、戸籍ニ届出タ職業ノコトノミデハ不十分デアル、サケルコトニナツテ居ル所ヘ、氏モ書クコトニ修正トシテ加ヘラレタ、所ガ日本ノ家族制度ノ戸籍ノ上カラ見マスレバ、父何某ト氏ヲ付ケテアル、何某ノ生ンダ子デアルカラ名サヘ分レバ宜イノデアル、然ルニ其子ニモ氏ヲ書カセルコトニナリマシタ、是ハ少シ餘程シナクテモ宜イ位ノ修正デアル、又捨子ノアツタ時分ニ其生レタ年、或ハ何年何月頃ノ生デアラウト云フ推定ラスル時分ニ、衆議院ニ於テハ日ヲ加ヘルコトニシマシタ、サウスルト戸籍吏ガ此捨子ハ何年何月何日ニ生レタノデアラウト推定ラスル譯デ、餘程ムヅカシイコトニナリマス、生レタ月ヲ推定スルサヘ隨分捨子ノ生レ年月ヲ見分ケルスマラジカシイコトデアルノニ、其日マデ推定シナケレバナラヌコトニナルト、餘程是ハムヅカシカラウ、併シソレハ一日ト見ヤウガ三十日ト見ヤウガ、争フ所モナケレバ格別實用ニ立タナイコトデアラウカラ、是モ修正通リニシテ宜カラウ、マア斯様ナモノデゴザイマシテ、御手許ヘ廻シマシタ修正案ト云フモノハ、條ヲ申セバ大分多數ニナツテ居リマスガ、中身ハ此外ニ戸籍ノ謄本ノ閲覽ヲ或場合ニハ裁判所デ許スト云フコトガ一箇條加ハリマシタガ、是等ハ偶ニハ實用ニ立ツカモ知レマセヌガ、其他ハ唯今述ベマシタヤウナ修正デゴザイマス、修正ト申スカ或ハ修惡ト申スノカ、ソコハ分リマセヌガ、免ニ角ドチニシテモ實用上ニハ大シタ利害ハナカラウ、サウシテ見マスレバ、貴族院ガ衆議院ノ議決シタコトハ能ク尊重スル習慣ニナツテ居リマスカラ、斯ウ云フモノハ衆議院ノ院議ヲ重ンジテ、サウシテ其儘通過スルコトガ即チ貴族院ノ雅量ト云フモノデアル、サウ云フコトデ手ヲ著ケナイコトニナリマシタ次第デゴザイマス、右ノ通リデゴザイマシテ、本案ノ改正ハ餘程今日ノ實際ニ適シテ國民ノ利益トナリ又事務ノ簡便ニモナリマスシ、又費用モ省ケマスルシ、頗ル近來珍ラシイ良イ法案ト委員會デハ認メシタ、ソレ故ニ少々ノ意見クラキヲ加ヘルガ爲ニ、此成立ヲ遲クシテハ甚ダ不得策デアル、又衆議院ノ議決ハ成ルタケ尊重ラシテ動サヌヤウニシヤウ、ソコデ餘日ノナイト申スノト

集合イタシマシテ、委員會ニ於キマシテハ一字一點ノ修正ヲ加ヘマセズシテ、衆議院ヨリ通過シテ參リマシタ原案ヲ其儘能ク味ッテ、丸呑デハナク能ク味ッテ之ヲ可決イタンマシタ、全會一致デ可決ヲ致シマシタノデゴザイマス、是ガ委員會ノ御報告デゴザイマスルガ、偒其外ニ附屬イタシマシタ所ノモノガ都合三件、三十八年ノ六十二號中ト寄留法ト四十三年ノ三十九號中ノ改正、是ハ皆戸籍法ノ改正ニ附帶イタシマシタモノデゴザイマシテ、且又誠ニ明瞭ナ案デゴザイマス、是モ戸籍法案ト同様、全會一致ヲ以チマシテ一字一點ノ修正ナク決定イタシマシタ次第デゴザイマス、ソユデ二百箇條バカリノ法律デゴザイマシテ、箇條ヲ見マスレバ隨分大キナモノ、又事柄モ國民ノ戸籍ト申ス身分ヲ定メル法律デゴザイマスカラ、最モ重要ナモノデゴザイマシテ容易カラスコトデゴザイマスルガ、併シ此修正ガ永ク現行シテ居リマシタ所ノ條ヲ前後イタシマシタリ、文字ヲ簡便ニ致シマシタ位ノコトデゴザイマシテ、マスルケレドモ、ドウカ直チニ二讀會ヲ開イテ且確定議ニ進マシマスコトヲ諸君ニ對シテ委員會ハ希望ヲ致シマス、御報告申シマス

○男爵關義臣君 委員長ニチヨット質問ガゴザイマスガ、此案中ニ平民ノ族稱ト云フモノガ見エマセヌカラ、是ハ除カレタノデアラウト思ハレマスガ、此戸籍法デ除カレタノカ、一般ノ平民ノ族稱ト云フモノハナクナツテシマフノカラ、其邊ノコトハ委員會デハ何カ御論ガアツカドウカ伺ヒタイノデアリマスガ、御承知ノ如ク華族、士族、平民ト云フ族稱ハ明治元年、二年、三年ニ一般國民ハ平民ト稱スルト云フ布告ニナツテ居ル、其後出來タ許多ノ法律規則ハ悉ク此三族稱ヲ存シテ居ル、最モ明文ニアル如ク必要ナコトデ行ハレツツアルノデアル、ソコデ此戸籍法ダケニ此度平民ノ族稱ヲ除カレタノカ、此戸籍法ガ果シテ行ハルレバ、是マデノ百ノ法律規則中ノ平民モ除イテ、平民ト云フコトハ無ウナツテシマフノデアルカ、其邊ノコトハ委員會ニ於テ定メテ御論モアツタデアラウト思ハレルガ如何デゴザイマスカ、チヨット承リマス……チヨット申上ゲテ置キマス、私ハ近頃段々耳ガ遠イカラ、甚ダ自由デゴザイマスガ、大キイ聲デ御答ヲ願ヒタイ

○松岡康毅君 私ノ聲ノ量ノ限り大キナ聲デ御答ヲ致シマス、委員會ニ於テモ其說ガ出マシタガ、先づ其先キヘ御断り致シマスノハ、戸籍法ノ外デ、平民ト云フコトヲ用キルカ用キナイカト云フ論ハ致シマセナンダ、ト申スノハ

日本ノ人民ハ日本人ト云フコトハモウ申ス迄モナイ、宜シイノデ郡市町村ニ住ヅテ、戸籍ヲ持ツテ住居ヲシテ居ル者ハ日本人ト云フコトハ動カナイ、デ華族トカ特殊ノ稱號ノアルノハ、是ハ稱號トシテ榮譽ノ稱號デ別ニ書クノデア

ル、日本人ハ日本人ト云フモ平民ト云フノモ同ジコトハ動カナイ、デ華族省イタト云フコトハソレハ御尤デアル、是ガ先輩ノ三浦君ガ居ツタナラバ、サゾ満足スルデアラウト申シテ、ソレハ少シ遺憾ニ思ツタ位デアリマシタ……

〔男爵關義臣君「私ガ伺ウタコトニ付テノ」ト呼フ〕

○議長(公爵德川家達君) 唯今松岡君ノ發言中デゴザイマス

○松岡康毅君 ソレ故ニ明治六年ノ布告ガドウアリマセウトモ、ソレニハ拘ラズ、官民ノ關係モ國民相互ノ間モ、モウ是ガ出來マス以上ハ平民ト言ハナクテモ其方ニハ差支ナイノデアリマスカラ、一向明治六年ノ布告ハイツ廢スルカ活キテ居ルカト云フ吟味ハ致シマセナシダコトハ、最初ニ御答ヲ致シマシタ通り、免モ角特殊ノ稱號ノアル人ハ戸籍ノ上へ書ク、ナイ人ハ何ニモ書イテナケレバ則チ日本ノ人民ト云フコトデアルト云フ、是デ委員ハ満足イタシマシタ、此以上ハモウ別段ニ何ニモ決定シタコトモ何モゴザイマセヌ、御答ハ是ニ止メマス

○男爵關義臣君 尚委員長ニ質問ヲ致シマスガ、其第十八條ノ第四項ニ「家族カ戸主ト族稱ヲ異ニスルトキハ其族稱」此所ハドウ云フ御解釋ニナリマスノカ御論ガアリマシタカ、一體例ヘバザヤ、家族ガ戸主ト族稱ヲ異ニスルトアレバ、家族ハ士族デアル、戸主ハ其族稱ヲ異ニスルト云フトキニハ、ドウ云フ族稱ニ是ハ書クノデスカ、或ハ華族ト士族トノ違ヒデアレバ、家族ガ戸主ト族稱ヲ異ニスルト云フノハ家族ガ華族カ或ハ士族カナンデアレバ、其違ヒナラバ此文章ガ讀メマスカ、若シ平民ト華族トノ違ヒナラ、族稱ヲ異ニスルトアルガ、平民デアル以上ハ日本人トデモ書ク積リデスカ、ドウ云フ御考デスカ

- 松岡康毅君 是ハ委員カラノ質問ヲ俟チマセズシテ、政府委員カラ先ンジテ説明ヲ致サレマシタ、若シ戸主ガ華族又ハ士族デアラトキニハ其族稱ヲ書ク、讀ンデ字ノ如ク、ソレヨリ外ノコトハ書カナイノデアリマス
- 男爵關義臣君 モウ一ツ、第百五十四條ノ第一項ニ「新舊族稱」トアリマスルガ、是モ華族士族ニ限ツテ書クノデ、モウ平民ノコトナド何モ書カヌトスウ云フノデスカ
- 松岡康毅君 百五十四條デゴザイマスカ
- 男爵關義臣君 百五十四條
- 松岡康毅君 其通リデゴザイマス
- 〔江木千之君「讀會省略ニ賛成」ト述フ〕
- 男爵關義臣君 政府委員ニ質問イタシマス、今戸籍法案デ委員長ノ言ハレタ通り、平民ノ族稱ヲ除キマシテ日本人……ソレハ分リマシタガ、付テハ他ノ諸多ノ法律規則ニ悉ク平民ト云フヤウナ明文ガアル如ク行ハレテ居ルガ、此戸籍法案ガ果シテ通過シテ實行スル時節ニハ、他ノ法律規則ニアルノハ別ノ法律トカ何カデ御取消ニナル、皆平民ト云フコトニナルデアラウカ、其段ヲ伺ヒタ
- 政府委員小山温君演壇ニ登ル
- 政府委員(小山温君) 御答イタシマス、別ノ法律或ハ規則ニゴザイマスモノニ一向影響ハゴザイマセヌノデゴザイマス、戸籍ニ平民ト書キマス所ヲ略シテ書キマセヌ、是ダケノコトデゴザイマス
- 男爵關義臣君 分リマシタ
- 議長(公爵德川家達君) 江木千之君ニ伺ヒマスガ、今讀會省略ノ動議ニ賛成ト云フコトヲ御述ニナッタヤウデアリマスガ、讀會省略ノ動議ハ未ダ出テ居ラヌト議長ハ考ヘテ居リマス
- 江木千之君 總テノ讀會省略デナイ、委員長ノ希望セラレタ所ニ賛成ヲ致シマシタ
- 議長(公爵德川家達君) 江木君ニ尙確カメマスガ、サウ致シマスト委員長ノ報告ニ御同意ト云フコトデゴザイマスカ
- 江木千之君 サウデス
- 議長(公爵德川家達君) 此際諸君ニ御諮リヲ致シマス、唯今松岡副委員長ノ報告セラレマシタ議事日程ノ第三ヨリ第六マデノ法案ハ、一括シテ議題ニナシ採決ヲ致シマシテ差支ゴザイマセヌカ
- 〔「異議ナシ」ト呼ぶ者アリ〕
- 議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
- 議長(公爵德川家達君) 「伯爵大原重朝君發言ノ許可ヲ求ム」
- 議長(公爵德川家達君) 大原伯爵ハ何デスカ
- 伯爵大原重朝君 讀會省略ノ動議ヲ提出イタシマス、此案ハ總テ讀會ヲ省

略シテ……

○子爵曾我祐準君 賛成

○河村讓三郎君 賛成

○田中源太郎君 賛成

○伯爵正親町實正君 賛成

○伯爵寺島誠一郎君 賛成

○伯爵萬里小路通房君 賛成

○子爵山口弘達君 賛成

○男爵石黒忠惠君 賛成

○平山成信君 賛成

○伯爵松平直之君 賛成

○子爵青木信光君 賛成

○子爵鍋島直彬君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 大原伯爵ノ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ  
請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 各案同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第七、關稅定率法中改正法律案、政府提

出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

關稅定率法中改正法律案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正三年三月十九日

右特別委員長

伯爵川村鐵太郎

### 〔伯爵川村鐵太郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵川村鐵太郎君 去ヌル十五日本院ニ於テ關稅定率法中改正法律案ヲ御

付託ニナリマシテ、十六日、十九日ニ瓦リマシテ委員會ヲ開キマシテ、衆議

院ノ原案通リ……修正案ノ通リ可決イタシマシタ、委員會ニ於キマシテハ種

々ナル部門ニ精通ノ委員ガ居ラレマシテ、細密ニ審査イタサレタノデアリマ

ス、既ニ其内容ハ大藏大臣ガ先日演壇ニ於テ述ベラレマシタ通リ、貿易上ノ大

勢ニ鑑ミマシテ、產業ノ發達、輸入關稅ノ均衡ヲ得セシメテ、併セテ先年改

正ニナリマシタ不備ナル點ヲ補フノデアリマス、委員會ニ於キマシテ審査サ

レマシタ所ノ事柄ハ、總テ十九箇所ニ瓦リマシテ、審査研究ヲサレマシタ、

而シテ此内稅率ヲ増加スペキモノトシマシタモノガ四ツゴザイマス、稅率ヲ

減ジマス分ハ十一箇所ゴザリマス、而シテ其他從價稅ヲ從量稅ニ引直シ、印

刷ノ誤植ヲ訂正スル所ガ一箇所、脫漏ヲ補入シマシタ所ガ一箇所ゴザイマス、

又新ニ稅目ニ舉ゲラレマシタモノハ如何ナルモノデアルカト云ヒマスルト、

芥子、甚ダ細イ所ニ涉リマシテ御聽苦シウゴザイマセウケレドモ、本稅法ノ

性質ト致シマシテ、已ムヲ得ズ細イ所マデ御説明申上ゲヌケレバナラヌト云

フコトニナリマスルガ、其點ハ何卒御寛容アラムコトヲ希望イタシマス、新

ニ稅目ニ舉ゲラレマシタモノハ芥子、苧麻、硫化磷、綿粉、瓦斯填充用囊、

液狀ノ「メタルボリシユ」瓦斯填充用鐵製「シリンドラー」、該部分品ノ中テ「ス

チームターピン」ノ部分品、骨炭、ソレカラ詰リ先キ程御報告申上ゲマシタ

衆議院ニ於テ新ニ上ゲラレマシタ所ノ、鐵ノ、鐵管ノ事柄デアリマス、此稅

率ヲ上ゲマシタモノハ如何ナルモノカト申シマスト、百一號ニアリマスル所

ノ大豆油デアリマス、大豆油ハ御承知ノ通り百斤ニ付テ七十錢ノ輸入稅ヲ課

セラレテ居ルノデアリマス、之ヲ内地ニ於テ製造イタス場合ニ於テハ、油ト

豆油百斤ガ二圓四十二錢ノ負擔ヲスルコトデアリマス、即チ輸出シマス場合

ニ於キマシテハ戻稅ガアリマスケレドモ、内地ニ殘フテ居リマス場合ニハ、大

豆油百斤ニ付テ二圓四十二錢ノ負擔ヲスルノデアリマスカラ、是ニ輸入稅ガ

タ分デアリマス、次ニハ四百七號一ノ「メタルボリシユ」ト云フモノハ、即チ

磨粉デアリマシテ、今日泥狀ノ物ハ稅目ノ中ニ舉ゲラレテアリマスケレドモ、昨今液體ノ物ガ大分輸入セラレマス故ニ、液體ノ物ハ此稅目表ニ依リマスルト、即チ四百七號ノ「二、其ノ他」ト云フ所ニ於テ課セラレルノデアリマス、同ジ性質、同ジ價格デ、效力ノアル品物ガ違ッタ課稅ヲ受ケルト云フコトデアリマスカラ、之ヲ泥狀ノ物ト同ジヤウニ課稅スルト云フノデアリマス、次ニハ五百二十七號ノ第八項ニ時計ノ部分品ト云フモノガ規定サレテアリマス、今日ハ時計ノ輸入サレマスル場合ニハ、其側ガ金製デアリ、白金製デアルトモ、一箇ニ付テ十圓乃至十五圓ノ課稅ガアルノデアリマス、然ルニ昨今此課稅ヲ逋ガレムガ爲ニ、分解ヲ致シマシテ輸入イタサレマス場合ニ於キマシテハ、四割ノ稅ヲ負擔スルノデアリマス、而シテ内地ニ於テ製造サレマス所ノ工業ニ何ス、故ニ此際此點ヲ改正イタシマシテ、金製又ハ白金製ノモノハ五割ノ課稅ヲスルコトニナルノデアリマス、而シテ内地ニ於テ製造サレマス所ノ工業ニ何ノ影響モナイヤウニスルト云フ趣意デゴザイマス、次ニ稅率ヲ減ジマスモノニ付キマシテハ、第二十五號ニ於キマシテ、「芥子」ト云フモノガアリマス、是ハ支那ヨリ輸入サレル所ノ芥子ダサウデアリマスガ、四十三年ニ此關稅ノ改正ヲサレマス場合ニ於キマシテハ、未ダ大ナル輸入ヲ見ナカッタノデアリマスガ、目下大分其油ヲ搾リ其糟ハ肥料トナルノデアリマスカラ、之ニ對シテ他ノ物ト同ジヤウニ輸出サレマス場合ニ於キマシテハ戻稅ヲヤル必要ガアルサウデアリマス、然ルニ是ハ從價稅ニナツテ居リマシテ、時價ノ變動アル毎ニ計算ニ甚シク混雜ヲ生ズルノデアリマス、故ニ是ハ從量稅タル菜子ト同ジ所ニ嵌メテ、輸出業者ヲシテ何ノ困難ナカラシムルト云フコトデアリマス、百十四號ハ即チ「バラフインワックス」ノ課稅デアリマスガ、先年「バラフインワックス」ハ無稅デアリマシタガ、三十九年ノ改正ノ時ニ溶解點攝氏五十度ノ溶解度ヲ限度ト致シマシタガ、四十三年ノ改正ニ至リマシテ、木蠟業者、其他蠟燭業者トノ關係ノ上カラ之ヲ、四十二度ニ引下グマシタノデアリマス、然ルニ最近ニ至リマシテ、亞米利加ニ於キマス所ノ原產地ニ於テノ產出ガ蠟油ノ性質ニ變化イタシタル爲ニ……減少イタシマシタ爲ニ、四十五度マデ此程度ヲ上ダマシテ、亞米利加カラノ輸入ヲ容易ナラシムルト云フノデアリマス、元來無稅ノモノヲ有稅ニ致シマスニ付キマシテハ、大分十分ニ研究サレテアリマシテ、何モ他ヘ影響ヲ及ボスト云フコトハナイコトデアリマス、是ハ御承知ノ通リ重要ナル内地ノ産業……工業ノ一タル燐寸業ニ重ニ使用スル

モノデアリマスルカラ、其意味ニ於キマシテ四十五度マデノ「バラフインワックス」……攝氏四十五度ノ溶解點ノアリマスル所ノ「バラフインワックス」以下ハ無稅ニナリマス、次ニ百五十號中、赤燐云々ト云フノデアリマスガ、其赤燐及黃燐ノ下ニ「赤燐及硫化燐」ヲ加ヘマスルコトハ、御承知ノ通リ燐寸業ニ燐ハ最モ必要デ……燐寸製造ニハ必要ナ物デアリマスルガ、先年來南洋地方、又ハ印度ノ方面ニ於キマシテ燐寸ヲ輸入サレマス場合ニ於キマシテ、印度ニ於キマシテハ日本ヨリ輸入サレル所ノ燐寸ハ黃燐ヲ使ヅテ居ル、黃燐ハ甚ダ衛生上害アリトシテ禁ジラレマシタ結果、硫化燐ヲ代用スルコトニナツタノデアリマス、然ルニ硫化燐ハ御承知ノ通り、稅目ノ中ニ於キマシテハ高イ負擔ヲ有ツテ居リマスル所ノ稅目デアリマスカラ、之ヲ無稅品ニシマシテ、燐寸工業ヲ保護スル意味ニ於キマシテ無稅品ニナリマシタノデゴザイマス、二百九十四號ノ「綿粉」ト申シマスノハ即チ或一種ノ色素ガ著イテ居リマス綿粉デアリマス、綿ノ粉デアリマス、是ハ細工用ナドニ重ニ使ハレマスノデ、今改メマシタノデアリマス、然ルニ是ハ從價稅ニナツテ居リマシテ、時價ノ變動アル毎ニ日ニ於テハ稅目ノ關係上、六百四十七號ノ乙ト云フモノニ於テ課稅セラレマシテ、四割ノ課稅ヲ脊負ツテ居ルノデアリマス、之ヲ他ノ毛粉、絹粉、人造絹粉ノ如キ同ジ性質ノモノニ使ハレルモノノ所ニ同ジニ改メマシタノデゴザイマス、其次ニ三百三十八ノ二ノ瓦斯填充用囊ト云フモノハ、今日ハ種々ナル瓦斯或ハ「アセチリン」或ハ「オキシハイドロヂエン」其他水素酸素ノ如キ瓦斯ガ多量ニ各工業ニ用キラレマス、此容器トシテ使ハレマス所ノ瓦斯填充用囊ト云フモノハ、今日ニ於キマシテ、此稅法ニ於キマシテハ三百四十三號ノ「別號ニ掲ケサル布帛製品」ト云フモノノ中ニ於キマシテ四割ノ課稅ヲ脊負ツテ居ルノデアリマシテ、是ハ少シ高過ギルニ依テ、他ノモノト比較シマシテ、詰リ三百三十八號ノ二ト云フ特別ノ項目ヲ作リマシテ、之ニ這入リマシタノデアリマス、四百八號中「ウエットストーン」是ハ砥石ノ原語デアリマス、初メ稅法ヲ制定サレマス場合ニ於キマシテ、「オイルストーン」「ウエットストーン」ト云フニツハ區別アルモノノ如ク分ケラレマシタ所ガ「ウエットストーン」ト云フノハ單ニ砥石ノ原語デゴザイマシテ、別ニ意味ヲナサヌト云フ所カラ是ハ削除サレマシテ、其結果ト致シマシテ其部分ニ於テ課稅サレルモノト云フ第二ノ方ノ「其ノ他」ト云フ方デ一割ノ課稅ニナリマシタ、是モ稅率ガ減ジラレマスコトニナリマシタ、第四百十八號石絨及石絨製品ト云フモノハ本法ニ依リマシテ一、二、三、四ト區別サレマシテ、一ノ方ニ「塊、粉

及織維狀ノモノ」トナッテ居リマス、是ニハ種々ナル絲又ハ紐ノ如キモノガ精製セラレマシテ、是ガ汽罐ノ「パッキング」或ハ其他ノ要部ニ使用サレルノデアリマス、「スレート」其他ノ各工業品ノ原料トモナルベキモノデアリマスカラ、是ハ有税デアリマシタモノ、即チ百斤ニ付テ七十錢ノ税ヲ取フテ居リマシタモノヲ無税ト致シマシタノデアリマス、次ニ四百八十五ノ二、是ハ鐵製ノシリンダー」デアリマシテ、先キ程申述ベマシタ瓦斯填充用囊ト同ジャウナ效用ヲ致シマスモノデアリマシテ、瓦斯ヲ此中ニ壓榨シマシテ、一箇所ヨリ一箇所ニ運ビマスモノデアリマスカラ、今日ニ於キマシテハ五百二十四號ノ「鐵製品」ノ中ニ於テ課税サレマス、多額ノ課税ヲ受ケマス爲ニ、今回即チ毎斤七圓五十錢乃至五圓ノ課税ヲ受ケマス爲ニ、之ヲ引下グマシテ三圓ノ課税ニスル、斯ウ云フコトデゴザイマス、六百五號ノ「スチームタービン部分品」ト申シマスハ即チ今日大商船、大軍艦ニ重ニ使用サレテ居ル重要ナル機關部デアリマシテ、大ナル造船會社ニ於キマシテハ此專賣權ヲ英米カラ買込マシメテ、サウシテ日本ニ於テ製造サレルノデアリマスガ、其要部トナルベキ所ノ重要ナ部分ハ、今以テ内地ニ於テ製サレナイ、英米カラ輸入シナケレバナラナイト云フコトデアリマスカラ、内地造船業ノ獎勵發達ノ爲ニ、是ハ二割ノ稅率ヲ今マデ有ツテ居リマシタモノヲ一割五分ニシテ、内地工業ノ發展ニ資スルト云フコトデアリマス、次ハ六百十七號ノ骨炭デアリマス、骨炭ハ御承知ノ通り獸骨ヲ炭化イタシマシテ、重ニ砂糖精製ノコトニ使ハレマスガ、同時ニ肥料トシマシテモ、此中ニ磷酸加里ヲ含メル爲ニ、肥料トシテモ内地ニ這人ヲ來ルノデアリマス、之ヲ肥料ト致シマス場合ニハ課税ハナイ譯デアリマス、今日其區分ヲ付ケマスコトニ於テハ誠ニ困難スル、故ニ經一・二五ミリメートルノ圓眼ヲ有スル所ノ篩ニ依テ粒ガ分ケラレマシテ、粒ノ細イモノハ即チ無税品トナルト云フノデアリマス、是ダケガ全部稅率ヲ減ジマスル方デアリマス、此外ニ先キ程申述ベマシタ二百八十三號第一項ノ甲乙、即チ從價稅ヲ從量稅ニ引直シマスコトト、二百九十八號及二百九十九號ノ各號ニ掲ゲザルモノトアリマスノハ、各項即チ號ト項ノ印刷ノ誤植ヲ訂正イタシマスコトト、ソレカラ三百號ノ「苧麻」ト云フモノガ脫漏シテ居リマシタ爲ニ之ヲ補入イタシマスト云フコトト、是ダケガ全體ノ改正サレタル點デアリマス、其他ニ衆議院ニ於テ修正ヲ致サレマシタ鐵ノコトニ付テ最後ニ申述ベテ置キタイト思ヒマス、衆議院ニ於キマシテ今日内地產業ニ於キマシテ鐵管ノコト

ニ付キマシテ修正ガアリマシタ、是ハ委員會ニ於テ特ニ種々之ニ精通サレル方モ質問應答ヲ重キマシテ、精シク調査ヲ致シマシタガ、是ハ細イ所マデ御話ハ到底ムヅカシウゴザイマスガ、唯大體ニ付キマシテ此際御報告シテ置キマスカラ、ドウゾソレダケノ御寛容ヲ願ヒタウゴザイマス、即チ四百六十二號鐵ノ部デアリマシテ、即チ御手許ニアリマス所ノ案ニモアリマスル通り、四百六十二號ノ第十二項甲ノ二中、二圓三十錢ヲ三圓ニ、他ハ「ハ其ノ他、ハノ一、繼目ナキモノニシテ内徑十六センチメートルヲ超エサルモノ」「ハノ二、其ノ他」斯ウアリマスノハ即チ稅法ニアリマス所ノ十二項ニ分レテ居リマシテ、其十二項ノ内ノ「二」ハ「イロハ」ニ分類サレテ居リマス、即チ「イ」ニ於キマシテハ「鑄タルモノ」鑄物デアリマス、鐵管ノ鑄物デアリマス、「ロ」ハ「抽キタルモノ」即チ「ドロー」サレタルモノデ「ハ」ハ「其ノ他」デアリマス、其他「ハノ一」ノ「繼目ナキモノニシテ内徑十六センチメートルヲ超エサルモノ」ソレデ如何ナルモノガ「ハ」ニ這入ツテ居ルカト申シマスト、目下輸入サレマス鋼鐵管ノ中ニ於キマシテ……鋼鐵管ノ中ニ於キマシテ「マンネスマント」式ノ鋼鐵管ガ輸入サレルノデアリマス、ソレハ大正二年ノ統計ニ依リマシテハ三千九百餘噸ノ輸入ガアリマス、ソレカラ抽キタルモノノ方ニ於キマシテハ十八噸、價格ニ於キマシテ三千五百圓ノ輸入ガアリマス、然ルニ内地ニ於キマシテハ大阪ニ於テ抽キタル鋼管ガ千五百噸以上ノ製作ヲ見ルノデアリマス、隨ツテ大部分ニ於キマシテ外國ノ輸入ヲ防ケノデ、「マンネスマント」式ノ鋼管ハ目下内地ニ於テ漸ク製造ノ緒ニ就キマシテ、一日約十噸ノ製造力ガアル位ノコトデ、即チ一箇年三千五六百噸ノ輸入ノ防止ヲ得ルト云フ見込デアルト云フコトデアリマス、即チ衆議院ハ其趣意ニ於テ茲ニ修正ヲ新ニ加ヘタノデアリマス、然ルニ政府ハ何等此改正案ヲ提出スル時ニ於テ此成案ガナカッタノデ、中途ニシテ、我ニ承知ヲシマシタ所ニ依リマスレバ、即チ此提案ヲサレマスル場合ニ於テハ、未ダ政府トシテハ十分ノ確信ガナカッタ、然ルニ今日トナッテハ最早種々ノ調査ガ進歩シテ、十分ニ之ニ付テノ成案ニ同意ヲスルコトノ確信ガアルト云フコトデアリマス、委員ノ一人カラ注意ガ出マシタ、其注意ハ重要ナル注意ト存ジマスカラ此際ニ申添ヘテ置キタイト思ヒマスガ、委員會ノ決議ト致シテ茲ニ御報告申上ゲルコトデアリマセスケレドモ、單ニ私一已トシテ茲ニ申添ヘテ置キマス、此内地工業ヲ保護獎勵スルト云フコトハ最モ贊成



醫師以外ニモ亦此種ノ特種ノ智識ヲ有スル堪能ナル人ガ現ニ存在シテ居ラナ  
イカ、ドウデアルカ、又將來ニ於テモ醫師及薬剤師ヲ使用スル者以外ニ其薬剤  
配合ノ能力ヲ有スル者ガ、是カラ先キ文明ノ進ムニ從ツテ出來ルカモ知レヌ、  
其時ニナツテ法律ヲ改正スルト云フコトハ繁雜デアリマスカラ、此際衆議院  
ノ訂正シマシタコトヲ更ニ修正シテ此政府提出ノ原案通リニ復活スルト云フ  
御論ガゴザイマシタ、之ニ付キマシテハ政府當局ノ意見トシテハ、成程サウ云  
フコトハ御尤デアルガ、今日ニ於テ薬剤師及薬剤師ヲ使用スル者、地方長官ニ  
於テ薬品及調剤ニ付特種ノ智識ヲ有スル者ト認メルノハ即チ醫師デアル、醫  
師ヲ除イタ外ニハ少シモ此資格ニ相當スル者ハナイト云フ答辯デゴザイマシ  
タ、此修正案ニ付キマシテハ専門ノ智識ヲ有セラルル所ノ委員ノ御方カラ意  
見ヲ御述ニナルデアリマセウカラ、其際十分ニ御聽取ラ願ヒマス、第二ニハ第  
八條ヲ御覽ヲ願ヒマス、即チ賣藥ノ效能ヲ公示スルニ際シテ説明スルノ外誇  
張シテハイカヌ、即チ賣藥ノ效能ヲ書ク時ニ皆サンモ御承知ノ如ク隨分廣告  
ニハ杜撰、而シテ頗ル危險デアリ頗ル不都合ナモノガアルト云フコトハ、私ガ  
申サヌデモ能ク御承知ノ通リノ有様デ、大ニ弊害ノアルコトデアリマス、ソ  
レデソレヲ十分ニ制裁ヲ加ヘタノデアリマス、之ニ付テモナカク御論ガゴ  
ザイマシタ、即チ説明ノ外誇張スルコトヲ得ズトアル、ソレダカラ説明ノ外ハ  
決シテ誇張シテハイカヌ、併シ説明ニハ誇張シテモ宜イカト云フヤウナ御論  
モ出マシタガ、政府委員ニ於カレマシテハ本法ノ精神ヲ正シク解釋シテ、十分  
ニ常識ヲ以テ考ヘマスルト云フト、説明ト誇張トハ決シテ錯亂スル虞ハナイ  
ト云フ意見デアッテ、是モ多數デ可決イタシマシタ次第ゴザイマス、第三ニ  
ハ第二十四條及第二十五條ノ政府案ヲ御覽ヲ願ヒマス、此法案ニ付テモナカ  
ノヽ喧マシイ問題ニナリマシタ、ソレヲ御熟覽下サイマスト斯ウ云フ疑ガ起  
ルノデゴザイマス、本法ガ發布ニナリマシタトキニハ、藥種屋ノ主人ガ頓死  
シタモノト考ヘテ御覽下サイ、サウ致シマスト、無資格ナル直系卑屬ハ其營業  
ヲ相續スルコトガ出來ナクナルノデス、ソレニ付キマシテナカク喧マシイ  
御論ガゴザイマシタ、即チ先ヅ或地方ニ於テ特殊ノ產物トナツテ居ルモノガ  
アル、例ヘバ反魂丹ノ如キモノデゴザイマス、此反魂丹ヲ富山ノ藥種商ガ各  
地方法廻ツテ賣ラ步クノデス、サウシテソレヲ掛賣ニシテ置イテ、明年ニナ  
シテ賣レ残フタ藥品ハ持ツテ歸ルト云フ如キ掛賣ヲシテ居ルノデアリマスガ、

本法發布ノ際ニ主人ガ亡クナツタト云フヤウナコトガアレバ、次ノ直系卑屬ガ  
無資格ノ者デアル時ニハ、營業ヲ繼續スルコトガ出來ヌノミナラズ、地方ヲ  
廻ツテ掛取ラシテ、計算シテ金ヲ持ツテ來ルコトモ出來ナイ譯デアルガ、ソレ  
ハ餘リ慘酷デハナカラウカト云フ御論ガゴザイマシタ、政府ハ之ニ對シマシ  
テ説明ヲ致サルルニハ、成ル程サウ云フ疑ガアルカモ知レマセヌガ、斯ノ如  
タ、又之ニ付テハ家族制度ト云フコトカラ喧マシイ御論ノ御方モアリマ  
シタ、即チ一ツノ家ニ一子相傳ト云ヤウナ藥品ガアル、其一子相傳ノ藥品  
ハ其家ニ在ツテ初メテ家計ヲ繼イテ行クノデアリマスカラ、若シ是ガ繼續セラ  
レヌヤウナ事ガ起レバ、ソレハ甚ダ不幸ナ次第デアル、然ルニ政府當局ニ於  
キマシテハ前ト同様ノ説明ヲシテ、成ル程一子相傳ノ藥ハアル、其一子相傳  
ノ藥ニハ毒藥モ劇藥モ混合シテ居ラナインデアリマスカラ、矢張リ主人ガ亡  
クナルト同時ニ直系卑屬ガ其營業ヲ繼續シ相續スルコトガ出來ルト云フ説明  
デゴザイマシタ、要スルニ其他ニモ修正ノ意見ハ多少ゴザイマシタガ、ソレハ  
大シタ問題デハナインデゴザイマス、ソレハドウゾ速記録ヲ御覽ヲ願ヒマシ  
テ一切省略スルコトニ致シマス、此現行法ト今度行ハレマス所ノ修正案トノ  
相違シテ居ル點ヲチヨット申シマスルト、第一ニハ先キニ申上ゲマシタ此廣告  
ガ非常ニ惡ルイ弊害ヲ以テ居ル、是ハ第九條ヲ以テ制限ヲシテアリマス、第二  
ニハ今マデ犯罪ヲ犯シタ者ハ警察犯處罰令ニ依テ三百圓以下ノ科料ニ處シテ  
アツタノガ、今度出マス醫師法其他ノ類似ノ法案ノ内容ニ於キマシテ悉ク五百  
圓以下ト云フコトニナリマシタ、之ニ均霑シテ此法ヲ犯シタ者ハ悉ク五百圓  
ニハ今マデ犯シタ者ハ警察犯處罰令ニ依テ三百圓以下ノ科料ニ處シテ  
アツタノガ、今度出マス醫師法其他ノ類似ノ法案ノ内容ニ於キマシテ悉ク五百  
圓以下ト云フコトニナリマシタ、彼ノ仁丹ト云フヤウナ賣藥ハ印度アタリデモ營  
業ヲシテ居リマスガ、若シ是以上ニ藥品ヲ外國人ト對抗シテ賣付ケルコトガ、  
ナカク困難デアリマシタ、今日ノヤウナ窮屈ナル法規ニ從ツテハ、内地ニ於ケル藥劑師ニ對スル法規ヲ外  
國ニ賣ルモノモ均霑シテ居ルノデアリマスカラ、外國人ト競爭ヲスル上ニ頗  
ル困ルコトデアリマシタガ、是ガ改正ニナリマシテ内地ノ規則ヲ應用シナイ  
ト云フコトニ決メマシタノデ、是ガ將來賣藥ガ外國ニ向ツテ發展スル上ニ非常  
ナ利益ヲ受ケルコトデアリマス、第四ニハ現今ニ於テ獨逸其他ヨリ藥品一千  
萬圓以上輸入ニナルノデアリマス、然ルニ此後藥劑ニモ色ニ健全ナル智識ヲ

ヲ以テ參レバ、薬品ノ改良モ出來ルデアラウシ、又賣藥ノ發展トナル以上ハ外國ノ品ヲ買ハズシテ、内地ニ於テ十分立派ナル薬品ヲ製造シ得ル譯デアリマシテ、改善ノ前途ハ誠ニ良イ所ノ希望ヲ以テ滿タサルノデアル、此四箇條ガ重ナル改善ノコトデゴザイマス、先づ其位ニシテ止メテ置キマス、デ此法案ニ付キマシテハ別段ニ最後ニ希望ヲ述ベラレタ御方ハ一人モゴザイマセス、デ賣藥法案ニ付キマシテノ報告ハ是デ終リマス、チヨット申残シタコトガ一ツアリマスガ、此案ニ付テハニニ對スル四ノ多數ヲ以テ可決イタシマシテゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトス  
ル諸君ニ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○三宅秀君 第一讀會ニ於キマシテ聊修正イタシタイ所ガゴザイマスカラ其意見ヲ述べタウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 未ダ直チニ第二讀會ヲ開クト云フ動議ガ出テ居リ  
マセヌ

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開クベシトスル林伯爵ノ動議ニ  
御同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

〔三宅秀君「ソレデハ……」ト述フ〕

○議長(公爵德川家達君) 三宅君チヨット御待ヲ願ヒマス、唯今議長ノ發言中  
デゴザイマスカラ少シ御猶豫ヲ願ヒマス……全部ヲ問題ニ供シマス、三宅君  
ハ修正ノ意見ガゴザイマスカ

○三宅秀君 ゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 此際御述ニナルコトヲ希望イタシマス

○三宅秀君 小生ガ修正イタシタイ所ハ唯今委員長ヨリ述ベラレマシタ所ノ衆議院修正ノ第六條ノ所デゴザイマス、而カモ本員ガ修正イタシタイト云フ意思ハ、單ニ衆議院ノ修正ヲ削リマシテ、サウシテ政府提出ノ原案ニ復活サセタイト云フ修正デアリマス、聊ソレニ付テ理由ヲ述ベテ滿場ノ御賛成ヲ得タイト存ジマス、今日此賣藥ト云フモノハ、ドウ云フ有様デ居ルカト存ジマシテ、四五年以來ノ趨勢ヲ見マスト、毎年多少殖エテ參リマス趨勢デゴザイマス、今日此會期切迫ノ時デアリマスカラ、餘リ細イコトハ申シマセヌケレドモ、明治四十二年ニハ六万八千百四十四方、四十三年ニハ七万七千四百四十二方、四十四年ニハ八万八百八十五方、大正元年末ニハ八万七千八百九方ト云フ工合ニ、年ニ七八千ヅツ賣藥方數ガ殖エテ參ル傾ヲ有テ居リマス、ソコデ國家ノ收入、即チ大藏省ニ納メル所ノ賣藥稅ハ、皆サン御承知ノ通リニ營業稅ト印紙稅ト二通り稅ガ課カフテ居リマス、今四十二年以來ノ此收入高ヲ數ヘ上ゲテ見マスト、四十二年度ニハ二百四万七千餘圓、四十三年度ニハ二百二十六万二千餘圓、四十四年度ニハ二百三十六万八千餘圓デゴザイマス、大正元年度ノ調ハマダ大藏省カラ承ツテ居リマセヌカラ述兼ネマスケレドモ、賣藥ノ方數ニ於テ大ニ増加シテ居リマスカラ、無論大藏省ノ收入モ殖エテ居ルコトハ申サヌデモ宜カラウカト思ヒマス、是程澤山アリマスル所ノ賣藥方數ノ中デ、劇藥毒藥ヲ含ンデ居ルモノガ、ドレ程アルカト云フコトヲ政府ニ尋ねマシタ所ガ、細イ數字ヲ示スコトハ出來ヌガ、凡ソ八万七千モアリマスケレドモ、其中六万一千四百餘ハ劇毒藥ヲ含ンデ居ラナイモノト認メルト云フコトデ、大數其位ナモノデアラウト本員モ考ヘマス、ソレカラ賣藥營業者ノ數ハ總計デ三万三千三人アリマス、ソレハ大正元年ノ一番末ノ時ノ調ト見エマス、其中藥劑師ト云フモノガ何人居ルカト承リマスト、四百六十五人シカ居リマセヌ、シテ見レバ其餘ノ三万五百三十八人ハ藥劑師以外ノ人ガ營業シテ居ルノデアリマス、本員ノ考ヘル所ニ依リマスト、賣藥ト云フモノハ無害有效ナモノデアル、決シテ私ハ賣藥ヲ排斥スルモノデハゴザイマセヌ、危險サヘナケレバ多少ノ效ガアルモノト認メテ居リマス、ソレカラ國家ニ取リマシテモ、格別人民ガ苦痛ヲ覺エズニ、消費稅其他ヲ拂フテ居ルヤウナコトニナフテ居リマスカラ、國家ニ取リマシテモ宜イ財源デアリマス、ソレカラ自分一家ノ場合ニ取りマシテモ、醫者ニ掛フタリ藥劑師ノ店へ行フテ藥ヲ買ウタリスルト云フ面倒ナコトナシニ、輕イ病ナラバ此賣藥ニ依テ病ヲ治スコトガ出來マスカ

ラ、輕便簡易ナ病ヲ治ホス方法トシテ一家ノ經濟ニ取ツテモ頗ル利ノアルモノデアリマス、國家ガ見マシテモ大層利ノアルモノト存ジマス、ソレ故私ハ決シテ……世間ノ人カラハ本員ハ誤解サレテ居ルト思ヒマス、私ガ出テ斯ウ云フコトヲ申シマシタラ、必ズ頭ゴナシニ賣藥ト云フモノヲケナシテシマフダラウ、蹂躪シテシマフダラウト云フ工合ニ、世間デハ心得違ヒヲシテ居ル人モアリマスガ、私ハ全ク其反対デアリマス、賣藥ヲ止メサスト云フコトヲ申シマスル議論ノ點トシテ、賣藥ノ中ニハ是マデ劇毒藥ガ這入ツテ居ツタケレドモ、ソレハ密ニ劇毒藥ヲ或程度マデ入レルコトヲ許サレテ居ツタ、此度ノ法ガ改マルト云フト、表向キ或程度マデハ劇毒藥ヲ入レルコトニナツタカラ、頗ル危險デアルト云ツテ、危險呼ハリヲ致シテ、賣藥ノ販賣其他ヲ制限シヤウト云フ輩ガゴザイマスルガ、本員ハ全クソレトハ反対デアリマス、從來政府デ執ツテ居ラレタ方針ハ、尙此法案ガ出マシテモ、第五條デアリマスルカ四條カニ、十分劇毒藥ヲ取締ル成文ガ出テ居リマスルカラシテ心配ハナイ、毒藥劇藥ガ這入ツテ居ツテモ決シテ心配ハナイト存ジテ居リマス、賣藥ヲ危險ナリトスル人ノ說デハ、子供ニ飲マセテハナライダケノ分量ヲ……大人ノ飲ムヤウナ分量デ、子供ニ無理ニ藥ヲ飲マセタリ何カスルト、自然是ガ害用セラレテ、惡用セラレテ、殺人犯ナドヲ促スヤウナコトガアルダラウト云フコトヲ申サルル人ガアリマスガ、若シ殺人ノ具ニ賣藥ナドヲ使フ人ガアリマシタラバ、ソレハ總テ世間ニアリマス所ノ庖刀デモ小刀デモ殺人ノ出來ルモノデアリマスカラ、決シテ賣藥ガ危險デハナカラウト存ジマス、賣藥ニシテ萬々一危險デアリマスレバ、全ク賣藥ヲ誤用シマシテ、一日分ノ藥ヲ一度ニ飲ンダナラバ、早ク藥ガ利クダラウト云フ位ノ誤ツタ考カラシテ、賣藥ヲ飲ンデ、多少危害ヲ受ケルヤウナコトガアルダラウト思ヒマス、其誤ツテ危險ニ陥リマスコトハ、如何ニ政府ト雖モ警戒ヲ加ヘルコトハ出來マスマイト思ヒマスカラ、私ハ政府ノ執ツテ居ラレル所ノ方針ニ十分信賴シマシテ、劇毒藥ガ多少這入ツテ居リマシテモ賣藥ノ危險ハ餘リ世間ニナサヌモノダラウト存ジテ居リマス、ソレカラ劇毒藥ノナイ、必要ナ成分ヲ含ンデ居ラナケレバ、賣藥ト云フモノハ全ク水モ同ジャウナモノニナツテシマッテ、無害ナ代リニ效能モナイト考ヘル人モアリマス、サウ申シマス人モアリマス、ケレドモ本員ノ見毒藥ヲ抜イタラ、賣藥ガ利カナクナルト云フ譯デハナイノデス、醫者ガ病氣

ヲ治シマスニハ、成ルベク精銳ナル武器ヲ以テ病敵ニ向ヒマスカラ、或ハ醫者ノ使ヒマスル藥品ノ中ニハ大ニ危險モゴザイマセウケレドモ、賣藥ノ中ニハ幾ラ良イ藥ヲ選ビマシテモ、劇毒藥ヲ調合シテアリマシテモ、其劇毒藥ノ量ニ於テハ今申ス通リニ極ク少量ナモノデアリマスルカラ、過ツテモ怪我ヲシナイヤウナ風ニナツテ居リマスカラ、危險ト云フコトハナイ、然ラバソノ危険ナ藥ヲ拔イテ、ドウシテ效力ガアルダラウ、ソレハ信仰力ト云フ信仰ノ力ニ依テ賣藥ガ利クノデアリマス、ソレ故ニ我國デ一子相傳ナドト言ツテ、昔カラ累世大ニ賣藥業ヲ行ツテ居ル、ソレガ全ク效ノナイモノデハナイ、多少效ガアツテ居リマスルカラコソ人ガ信ジテ賣藥ヲ使ツテ居ルノデアリマス、劇毒藥ノ力ニ依テ賣藥ガ效ガアルノデハナイ、半ハ從來ノ經驗ニ依テ此藥ヲ貼ケレバ治ホルトカ云フコトヲ知ツテ居ツテ、其經驗カラ信仰ノアリマスルモノノ間ニ賣藥ガ效ヲ奏スルモノデアリマス、是ハ學理上カラ申シマシテモ決シテ外レナイコトト私ハ深ク信シテ居リマス、信仰ノ勵ニ依テ賣藥ガ利クノデアリマス、丁度先刻委員長カラ、御述ニナリマシタ如ク、外國ヘ向イテ新シイ御得意ノ所ヘ賣藥ヲ送ラウトスルノニハ、多少劇毒藥ナドヲ用ギテ、而カモ各國ノ強敵ト商權ヲ争ハナケレバナラヌノデアリマスルカラ、此場合ニ於テハ信仰ノナイ所ノ新得意ノ所ヘ賣込ミマス藥ハ、十分ニ劇毒藥ヲ入レテヤラナケレバ、信仰力ヲ以テ助ケルト云フコトガナインダカラ、劇毒藥ヲ入レテヤラナケレバ、商權ヲ必ス他國ノ人ニ侵略サレテシマフコトニナリマス、ソレデアリマスルカラシテ、此度ノ改正ノ法案ニ依テ、外國向ノ藥ハ大ニ之ヲ許シテ、劇毒藥ナドモ餘リ嚴シク制限シナイヤウニナリマシタカラ、此度ノ法案ニ於テハ結構ナ改正ト存ジテ居リマス、ソレカラ賣藥ノ用途ハ如何ナル所ニアリマスルカラシテ、此度ノ改正ノ法案ニ依テ、外國向ノ藥ハ大ニ之ヲ許シテ、劇毒藥ナドモ餘リ嚴シク制限シナイヤウニナリマシタカラ、此度ノ法案在ルカト見マスレバ、先ツ是マデ人ノ申スノデハ、貧民ニシテ醫者ノ治療ヲ受ケルコトノ出來ナイ、資財ノ乏シイ者ニ向ツテ賣藥ト云フモノハ、社會政策ニ上カラ宜イト云フ、本員モソレヲ信ズル者デアリマス、又醫者ニ乏シイ所ノ僻遠ノ地ニモ賣藥ヲ普ク配ツテ置イテ、サウシテ醫者ニモ掛ラズニ病デ苦シムト云フヤウナ者ヲ賣藥デ救フト云フコトモ誠ニ結構ナコトト本員モソレノ上カラ宣イト云フ、本員モソレヲ信ズル者デアリマス、又醫者ニ乏シイ所信ジテ居リマス、賣藥ノ用途ハナカニ廣イ、併ナガラ今申ス通リニ、信仰ナドト云フコトヲ申シマスルト、無智ノ民、學識ノナイ者ガ賣藥ヲ信仰シテ居ツテ、聊デモ學識ガアツテ、我身ヲ主トスル人ハ、必ズ醫者ニ掛ツテ病氣ヲ療治シテ貰フ筈ノモノダト、斯ウ申シテ居リマスルケレドモ、本員ハ是モナウ

云フ工合ニ斷定シテシマフノハ誤ト存ジマス、病氣ガアツタバ必ズ醫者ニ掛レト云フ法律ヲ以テ、人間ノ自由ヲ束縛サレタラ免モ角モ、ソンナコトハ到底出來ナイコトダラウト思フ、病氣ガアツタラ必ズ醫者ニ掛レト云フヤウナ無謀ナ法律ハ世間ヘ出スコトハ出來マイト思ヒマス、全ク是ガ一部分ハ信仰デアリマスルカラ、詰リ此賣藥ハ利クト思ッテ買ッテ居ルモノデアリマスカラ、ドンナニ學識ガアラウガ名望ガアラウガ、學識名望ノアル人ガ賣藥ヲ買ッテ飲ンデ決シテ差支ハナイ、決シテ其賣藥ヲ使用ナサル御方ノ人格ヲ傷ケルヤウナコトハ決シテナイト思ヒマス、一面カラ愚民ガスルコトダ、無智ノ愚民ガスルコトダナドト云フコトヲ申シテ、賣藥ノ用途ヲ狹メル輩ガゴザイマスガ、私共ハ決シテソレヲ採リマセヌノデゴザイマス、斯ク論ジ來リマスルト云フト、詰リ私ハ賣藥屋ノ提燈持ラスルヤウニ聞エマスルガ、世間デ見ルノトハ丁度反對ノコトヲ私ハ此所デ申スヤウデアリマス、是程ニ國民一般ニ利益ガアリマスルモノナラバ、國家ニモ利益ハアリ、個人ノ財政ニ取ッテモ利益ノアリマスルコトデアリマスルカラ、成ルベク賣藥ト云フモノハ害ノナイ以上ハ廣ク行ハレルヤウニシテヤリタイト云フ考ガアリマスルカラ、此第六條ノヤウナ工合ニ、第六條ノ衆議院ノ修正ノ如クニ、藥劑師ト醫者ト此ニツデナケレバ賣藥營業ハ爾今サセナイト云フヤウナ窮屈ナ修正ト云フモノハ頗ル道理ガナイト存ジテ居リマス、委員會ニ於キマシテモ本員等ハ頻ニ此論ヲ主張イタシマシタケレドモ、委員中カラハドナタカラモ駁擊ヲ受ケマセヌ、又政府委員ノ申サレル所デハ、此會期切迫ノ時ニ當ッテ、コンナ修正ヲ加ヘタナラバ、又協議會デモ開カナケレバナラヌヤウニナリハシマイカ、衆議院ガ容易ニ讓ルマイ、サウスルト云フト此案ノ不成立ヲ見ルヤウナコトニナルカラ、ドウゾ左様ナコトハ言ウテ吳レルナト、只管ソレダケノコトヲ政府委員カラ求メテ居ルノデアリマス、私ノ見ル所ニ依リマスルト、政府ガ結構ナ法案ヲ出シテ置キナガラ、ソレヲ其原案ニ復活シヤウト云フモノヲ助ケナイデ……瞞著手段デ、一時欺瞞ノ術ヲ用キテチヨヅト載セテシマツタノデス、政府委員ヲ載セテシマツタ、ソレヲ有難ガッテ政府委員ガ自説ヲ引込メテ衆議院ノ説ニ服シテ居ルト云フコトハ、如何ニモ腑甲斐ナイコトノヤウニ存ジマス、又政府委員ガ努メナイノダト存ジマス、政府ノ案ヲ私ガ大層有難ガリマスノハ、藥劑師、藥劑師ヲ用キル者「又ハ」カラ以下ニ於テ地方ノ行政長官ニ十分ナ認定權ヲ授ケマシテ、其地方行政長官ノ認定權範圍内デ以テ、是ナラ差支ハアルマ

イト思フ者ニ、賣藥ノ調製販賣ヲナセルノデアリマスルカラ、此原案ニ復活サレルコトヲ求ムルノデアリマス、決シテ私ハ賣藥屋ナドガ世間デ心配シテ居リマスルヤウニ、賣藥ノ領分ヲ狹隘ニシャウト云フ考ハナイ、國家人民ノ爲ニ、國ノ爲ニモ人民ノ爲ニモ利益ノアリマスル問題デアリマスカラ、益之ヲ廣カラシメヤウト云フ方ノ精神デ原案復活ヲ持出シタノデゴザイマス、ドウゾ其理由ガ御分リニナリマシタラバ、成ルベク多數ニ御賛成ヲ請ヒタイノデアリマス

○男爵石黒忠惠君 本員ハ唯今三宅君カラ申サレタ通り、此衆議院ノ修正ニ反對デ、政府原案ニ復活イタシマスルコトヲ賛成イタシマス、唯今三宅君カラ……

○議長(公爵德川家達君) 石黒男爵ニ申上ゲマスガ、石黒男爵ノ御意見ハ三宅君ノ修正說ニ御同意ト云フコトニ議長ハ心得テ宜シウゴザイマスカ

○男爵石黒忠惠君 ハイ

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ三宅秀君ノ修正案ガ定規ノ賛成者ガアツテ、問題ト相成ッテカラ御發言ニナルコトニ希望イタシマス

○男爵石黒忠惠君 ソレデハ賛成ダケシテ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 是ハ諸君ニ申上ゲル迄モゴザイマセヌガ、議院法ノ二十九條ニ依テ二十人以上ノ賛成アルニ非ザレハ議題ニナリマセヌ

○山脇玄君 私ハ三宅君ノ説ニ賛成イタシマス

○伯爵柳澤保惠君 賛成

○男爵高木兼寛君 賛成

○伯爵柳原義光君 私モ賛成イタシマス

○大澤謙二君 賛成

○伯爵柳原義光君 賛成

○子爵實吉安純君 賛成

○小野田元熙君 賛成

○森山茂君 賛成

○石黒五十二君 賛成  
○石井省一郎君 賛成  
○中島永元君 賛成  
○伯爵寺島誠一郎君 賛成  
○伯爵松浦厚君 賛成  
○男爵田健治郎君 賛成  
○桑田熊藏君 賛成  
○男爵尾崎三良君 賛成  
○議長(公爵徳川家達君) 三宅秀君ノ修正ノ動議ハ定規ノ賛成者ガゴザイマシタ、故ニ問題ト致シマス、石黒男爵  
○男爵石黒忠惠君 本員ハ三宅君ガ唯今長ト述ベラレマシタノデ、簡単ニ述べマスルガ、三宅君ノ政府原案ヲ復活イタシマスルコトヲ賛成イタシマス、是以ハ是ガ薬剤師竝ニ薬剤師ヲ使用スル者トゴザイマス、是ハ薬剤師デアリマス、薬剤師ノ外ニ此修正デアリマスルト醫師ニ限リマシタガ、決シテ醫師ニ限リマセヌノデゴザイマス、政府委員ニモ委員會ニ於テ申シマシタガ、現ニ醫師デゴザイマセヌデ、化學者デ斯ウ云フコトヲ致シテ居ル者ガアリマス、ソレデ若シ此案ガ此儘成立チマスルト云フト、醫師デゴザイマセヌデ化學者デ、調劑賣藥ニ從事シテ居ル者ハ業務ヲ廢スルヤウナコトニナラウト思ヒマス、ソレデ本員ハ簡單ニ今三宅君ノ提出イタサレマシタ政府原案ニ復活イタシマスルコトヲ賛成イタシマス

○男爵日賀田種太郎君 エエ……  
○議長(公爵徳川家達君) 今石黒男爵ニ發言ヲ……  
○男爵石黒忠惠君 唯今正親町伯爵カラノ御求デアリマスガ、本員ハ化學者ハノ、即チ此地方長官云々ト云フ中ニ這入リマスルモノト考ヘテ居リマス、化學者ニ斯ノ如キコトガ出來ヌト云フコトハナイト考ヘテ居リマス  
○伯爵正親町實正君 チヨット伺ヒマスガ、今モウ一應伺ヒマスガ、化學者ハ本員等ノ考ヘテ居リマスル所デハ、化學者ト云フモノハ成ル程化學製品ノ製劑ニ付テノ藥品ノ智識ハ有ツテ居リマセウガ、茲ニアル藥品ト申スコトハ、是ハ廣キ意味ノ藥品デアツテ醫業上ニ用井ル總テノ藥品ヲ網羅スル藥品デアルト考ヘマスカラ、サウシマスト化學者ハ化學製品ノ智識ハゴザイマセウガ、謂ハユル生物藥草根木皮ノヤウナ智識ハ如何デアルカ、ソレト調劑ニ付テ化學者ハ智識ノナイモノデハナイカト思ヒマス、其邊ハ如何デアリマス  
○男爵石黒忠惠君 正親町伯爵カラ更ニ御問デアリマスガ、本員ノ心得テ居リマスノニ、化學者ハ殊ニ宜シイト思ヒマス、此地方長官ガ認メマスル中デハ、化學ヲシナイ者モアル、現在今段々賣藥ヲ致シテ居リマスモノモ、サウ云フ者ガアル、ソレデ化學ナドニ心得テ居ル者ハ或醫師ノ處方ニ依リマシテ、即チ提出ニナツテ居リマス原案ニ賛成イタシマス、即チ三宅君ニ反對イタシマス、何トナレバ政府ノ趣意ハ矢張リ大體ニ於テ醫師ヲ主トスル趣意デアリマス、衆議院ニ於テモ説明ハサウナツテ居リマス、行政上ノ取締ハ矢張リ醫師ノ如キ者ニスルトナツテ居リマスカラ、要スルニ是ハ全ク形式ノ問題ニ過ギヌト思ヒマス、今日會期切迫ノ場合ニ於キマシテ、更ニ規定ガ、……萬一斯ノ如ク體同ジモノデアルナラバ、矢張リ衆議院案ニ同意イタシマス

○伯爵正親町實正君 ナヨット石黒サンニ伺ヒタイデスガ、此醫師ノ外ニマダ何カアルダラウカト云フコトヲ、三宅君カラ修正説ガ出マシタ時、ドウ云フモノガアルカ御尋シタイト存ジテ居リマシタガ、今石黒君カラ化學者モヤッテ

居ルカラト云フ御説ガ出マシタガ、其化學者ニシテ現在營業シテ居ル者デアレバ、後ノ條デ特權ヲ得テ居リマスカラ、更ニ營業ヲ繼續シテ差支ナイモノトモ思ヒマスルガ、若シ此案ガ通リマシテ「藥品及調劑ニ付特種ノ智識ヲ有スル者」ト云フコトニナリマシテ、將來化學者ガ出マシタ時ニ、此化學者ハ此範圍ニ這入ルト云フ御見解デゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 休憩イタシマス  
〔河井書記官朗讀〕

午後一時十五分開會

午後零時十七分休憩

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

本日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

大正三年度歲入歲出總豫算追加案(第四號)

大正三年度歲入歲出總豫算追加案(第五號)

大正三年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號)

大正三年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特第三號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)

○議長(公爵德川家達君) 午前ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス

○子爵岡部長職君 是ヨリ裁判所構成法外一件ノ委員長並ニ副委員長ノ選舉、續キマシテ委員會ヲ開キタイト思ヒマス、御差支ゴザイマセヌケレバ退席ヲ致シマス

○議長(公爵德川家達君) 岡部子爵ノ要求ニ對シテ御異存ハゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵會我祐準君 唯今御報告ニナリマシタル豫算ニ係ル六案、是ハ直チニ  
日程ヲ變更サレマシテ、此審査期限ヲ御決メニナラムコトヲ希望イタシマス  
○議長(公爵德川家達君) 曾我子爵ニ伺ヒマスガ、唯今賣藥法案ノ第二讀會  
ノ引續中ゴザイマスガ、此第二讀會、二讀會ガ終ツタ後デハドウゴザイマ  
スカ

○子爵會我祐準君 致方ハゴザイマセヌ、左様イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 其方ガ議事ノ整理上ニ宜クハナイカト存ジマス  
○子爵會我祐準君 畏リマシタ

〔「男爵目賀田種太郎君發言ノ許可ヲ求ム」〕

○議長(公爵德川家達君) 目賀田男爵ハ……

○男爵目賀田種太郎君 チヨット意見ヲ述ベテ質問ヲ……

○議長(公爵德川家達君) 賣藥法案ゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 今議長ガ是カラ宣告イタシタ後ニ願ヒタイノデゴ  
ザイマス

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ賣藥法案ノ第二讀會ノ續ヲ開キマス、目賀  
田男爵

○男爵目賀田種太郎君 第六條ノ問題ニ付キマシテ、今化學者ガ適當デアル  
ト云フ御意見ヲ伺ヒマシタガ、本員ハ甚ダ是ハ不贊成デアリマス、化學者ト  
申スト、ドウ云フ程度ノモノデゴザイマスカ審ニ分リマセヌガ、唯化學者ト  
アッテハ是ハ甚ダイケヌコトト存ジマス、一體政府ガ此衆議院ノ修正ニ同意セ  
ラレテ居ル所ノ事柄ニ付テハ、必ズ相當ノ理由ガアラウト存ジマスカラ、一  
應政府委員ノ化學者云々ト云フコトニ付テ御意見ヲ承リタイト存ジマス

〔「政府委員水野鍊太郎君演壇ニ登ル」〕

○政府委員(水野鍊太郎君) 御答イタシマス、唯今ノ御問ハ化學者ノ如キハ  
政府ノ原案ニ於テ見テ居ツタモノデアルカドウカト云フ御問ト考ヘマスガ、政  
府ニ於キマシテ原案ヲ作リマシタトキ、即チ「又ハ地方長官ニ於テ藥品及調劑  
ニ付特種ノ智識ヲ有スル者ト認メタル者」ト書キマシタノハ、當時主トシテ醫  
者ヲ考ヘタノデ、唯文字ガ抽象的ニナツテ居ルダケデアリマシテ、大體ハ醫師  
ト考ヘタノデアリマス、化學者ノ如キハ此中ニ這入ルカ這入ラヌカト云フコ  
トニ付テハ、這入ルマイト考ヘテ居リマス、御承知ノ如ク化學者ノ中ニハ……  
藥品ノ中ニハ化學的藥品モアリマセウ、又植物的藥品モアルノデ、ソレカラ  
化學者ニ果シテ藥品又ハ調劑ニ付特種ノ智識ヲ有スル者ガ出來ルカ出來ヌカ  
ト云フコトニ付テモ、此法ヲ編ミマシタ當時ニ於キマシテハ、化學者ハ此中  
ニ這入ラヌト云フ考ヲ有ツテ居ツタ次第デアリマス

○伯爵正親町實正君 私モチヨット政府委員ニ質問ヲ致シタイ、唯今日目賀田君  
ノ御問ニ對シテ化學者ノコトハ能ク分リマシタ、併ナガラ化學者以外、醫者  
以外ニ何カ、藥品及調劑ニ付テ特種ノ智識ヲ有スル者ガ將來出來マスヤウナ  
ト云フ御考デアリマスカ、ソレヲチヨット……

○政府委員(水野鍊太郎君) 御答イタシマス、今日デハ藥品及調劑ニ付特種  
ノ智識ヲ有スル者ト認メラルヘキモノハ、主トシテ醫師ニ限ルト思ヒマス、  
併ナガラ斯ル抽象的ノ文字デアリマスカラ、或ハ將來何カナウ云フ特種ノ者  
ガ生ゼヌトモ限リマスマイガ、此立法當時ニ考ヘマシタノデハ、今ハ何等醫  
師以外ニ特種ノ者ガ生ズルト云フ考ハ有ツテ居ラナイ次第デアリマス

○江木千之君 本案ニ對スル三宅博士等ノ御意見ハ、今日此議場デ初メテ承ルノデナイ、屢々承テ承知ヲシテ居リマシテ、是等ノ意見ニ對シテハ我ミハ餘程顧慮シナクテハナラヌトハ考ヘマスガ、併ナガラ政府ノ説明ヲ承テ見マスト、行政上ノ取扱ニ於テ此弊ヲ避ケルノ途ガナイコトハナイト云フコトデアリマスル以上ハ、今日ニ於テハ速ニ此法案ノ成立ヲ圖ルコトガ必要デアラウト考ヘマス、會期切迫ノ際デアリマスカラ、多言ハ費シマセヌ、唯速ニ可決アラムコトヲ希望イタシマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ〕

○伯爵正親町實正君 私モ此特別委員長報告ノ案ニ賛成スル者デゴザイマス、先刻三宅君カラ醫師以外ニモ何カアルダラウカラ、政府ノ原案ニ復シタラ宜カラウト云フ御考デ、是ハ誠ニ御深切ナ御考デハゴザイマスケレドモ、併ナガラ折角御深切ナ御考モ效果ガナカラウト思ヒマス、ト云フノハ今政府委員モ説明サレマシタ如ク、現在ノ所デハ此醫師以外ニハナイ、即チ醫師ヲ指スノデアル、將來ニハ何カ出來ルカモ知ラヌト云位ノ御話デ、甚ダ將來ノコトハ曖昧デアリマスシ、又本員ノ考ヘマス所デハ、此法文デハ將來到底薬剤師、醫師以外ニ薬品及調剤ニ付特種ノ智識ヲ有スル者ト云フモノハ到底出來ナイダラウト思ヒマス、ソレデアリマスカラ詰リ此政府ノ原案ハ抽象的ニ書カレテ、衆議院ノ修正ハ陽ニ醫師ト云フコトヲ現ハシタダケデ、縱ンバ修正イタシマシタ所デ、其效果ニ於テハ同ジコトト考ヘマスカラ、此會期切迫ノ場合、更ニ衆議院ニ返付スルナドト云フヤウナ手數ヲ要スル必要ハナカラウト思ヒマスカラ、此際速ニ特別委員長報告ノ通りニ可決アラムコトヲ希望イタシマス、ソレカラ斯ウ云フ說ガ世間ニアルト云フコトヲ聞キマシタカラ御参考マデニ申述置キマスガ、ソレハ醫師法ニ醫者ハ自分ノ診斷シタ患者ニアラザレバ投藥スルコトハナラヌトコトガアルカラシテ、茲ニ「醫者」ヲ書イテハ甚ダ醫師法ニ反スルト云フ說ガ世間ニアルカノ如ク承リマスガ、是ハ誠ニ杞憂ニ屬スルコトデ、決シテ御心配ニ及ブマイト思ヒマス、何故ナレバソレハ醫者ガ自分ノ診察シタ患者デナクテハ投藥シテナラヌト云フノハ、自分ノ藥局ニ在ル所ノ藥ヲ調合シテ販賣スルコトデアリマス、是ハ賣藥デアリマスカラ、賣藥ト云フモノハ素人ガ自分ノ隨意ニ買得ル藥デアッテ、今日ノ販賣者ガヤツテ居ルノデアリマシテ、決シテ醫師法ニハ關係イタシマセヌ、又茲デハ醫者トシテ此賣藥ヲ賣ルノデアリマセヌ、賣藥ヲ賣ルト云フコ

トニナリマスレバ、即チ醫師ガ賣藥營業者トナツテ、其資格デ販賣スルノデアリマスカラ、少シモ其方ニモ差障リガナイト考ヘマス、何等ノ是ニハ差支ナリコトト思ヒマスカラ、ドウカラ速ニ可決アラムコトヲ希望イタシマス○議長(公爵德川家達君) 諸君ニ申上グマス、第六條ニ三宅君ノ修正ガゴザイマスカラ、唯今採決イタシマスノハ第一條カラ第五條マデト御承知ヲ請ヒタイ、第一條ヨリ第五條マデ委員長ノ報告ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認マス

○男爵關義臣君 私モ委員ノ一人デゴザイマスガ、此六條ニ付キマシテハ先輩ノ「ドクトル」三宅サン始メ、先刻モ御説ノアルヤウナコトハ十分伺ヒマシタノデアリマス、委員會ニ於キマシテモ十分ニ細ニ考ヘマシタ、ソレカラ又或ハ斯様ナ説ガアリマス、ドウモ地方長官ニ於テ特種ノ智識ヲ有スルモノト認メタ者ト云フハ、少シ不規律ノ言葉デアッテ、今日ノ所ハ危イ所ガアル、ソレヨリハイツソ此醫師ノ二字ニ改タ修正案ガ宜カラウト云フ、隨分時間ノ掛ツタ論デゴザイマシタガ、政府委員ニ聞イテ見ル所ガ、政府委員デモ色トアルケレドモ要スルニ「醫師」ノ二字ガ相當デアラウト云フ答デゴザイマシタ、ソレカラ多數ヲ以テ衆議院案ニ決シタノデアリマス、唯今ニ三宅サンカラノ御論ハ十分是マデ聞イテ居リマスケレドモ、委員會デハ無論少數デアリマシテ、委員長ノ報告通リ完全ナモノト見テ委員會ハ可決シタノデアリマス、念ノ爲此案ヲ維持スルニ付テ一言イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 第六條ニ付テ採決ヲ致シマス、三宅君ノ修正説ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵德川家達君) 少數ト認マス、委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認マス、第七條ヨリ終マデ、委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請マヒス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認マス、委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○男爵中川興長君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ  
「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス……第二讀會ノ決議通  
リテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 曾我子爵ニ申上グマスガ、豫算ノ審查期限ヲ定ム

ルト云フコトハ此際御發議ガアツテハドウデゴザイマスカ

○子爵曾我祐準君 先刻報告ニナリマシタル所ノ豫算ニ關シマスル六案、此  
審查期限ヲ此所ニ於テ議事日程ヲ變更ニナツテ御決メニナルコトヲ希望イタ  
シマス、御贊成ヲ願ヒマス

○江木千之君 贊成

○男爵有地品之允君 贊成

「其他「贊成」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 曾我子爵ノ議事日程追加ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起  
立ヲ請ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 多數

起立者

多數

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ曾我子爵ノ申述ベラレマシタ豫算案ノ審查  
期限ヲ定ムル件ヲ議シマス

○議長(公爵德川家達君) 最早餘日モゴザイマセヌニ依テ、審査結了次第直チニ議  
院ニ報告スルコトニ御決メラ願ヒマス、而シテ又此際尙一言申置キタインハ  
今一案、政府ヨリ豫算ニ係ル案ガ議院ニ提出ニナツテ居ル、唯今ハ衆議院ニ  
アツテ未ダ結了イタシマセヌガ、若シ是ガ結了ニナツテ此院ニ送來リマシタ時  
ハ、此議場ニ御相談セズ、直チニ豫算委員ニ付託セラレムコトヲ豫メ願ヒ置  
キマス、此兩條トモ諸君ノ御贊成ヲ願マス

○子爵鍋島直彬君 贊成イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 曾我子爵ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○子爵曾我祐準君 唯今ヨリ豫算會ヲ開キタウゴザイマスカラ、退席ノ御許  
ヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 曾我子爵ノ要求ヲ容レテ御異議ゴザイマセヌカ  
「異議ナシ」ト呼フ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第九、府縣制中改正法律案、政府提出、  
衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

○議長(公爵德川家達君) 府縣制中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正三年三月十九日

右特別委員長

伯爵柳原 義光

貴族院議長公爵德川家達殿

〔副議長侯爵黒田長成君議長席ニ著ク〕

〔伯爵柳原義光君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳原義光君 府縣制中改正法律案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ極メテ簡  
單ニ御報道申上グマス、此委員ハ去ル十八日ニ郡制廢止案ト同一ノ委員ニ付  
託ニ相成リマシタノデアリマス、而シテ十八日ト十九日ト兩日委員會ヲ開キ  
マシテ、全會一致ヲ以テ可決ヲ致シタノデアリマス、此案ハ御存シノ如ク衆議  
院デ修正ヲ加ヘラレタ點ガアルノデアリマス、政府ニ於テハ勿論此修正ニ同  
意ヲ表シテ居ラレルノデアリマシテ、其修正ノ趣意ハ、要スルニ文字ノ不備ナ  
所及疑ノアル所ヲ更ニ明カニシタト云フダケデアリマシテ、實質ニ於テハ何  
等變リナイ事デアリマス、唯實質ノ異ナツテ居ル所ハ、六十五條ノ人員ヲ一人  
增加スルト云フコトガ變ツテ居ルト云フダケデアッテ、其他ハ何等實質ガ變ツテ  
居ル所ハナインデアリマス、要スルニ此府縣制ナルモノハ先年モ改正ヲサレ  
マシタガ、更ニ其後ノ種々ノ實驗ニ徵シテ、再ビ茲ニ改正ヲ加ヘラレタモノ

デアリマシテ、其改正ノ要旨ハ府縣ニ聯合組合ヲ設クル規定ヲ定メ、或ハ府縣會ノ役員ノ任期ヲ改正シ、及其選舉ノ方法ヲ他ノ法律トノ權衡ヲ取ッテ改正ヲシタト云フコトガ、此案ヲ提出サレタ所ノ要領ナノデアリマスル、極メテ是ハ時機ニ適シタル相當ナ改正ト認メマシタガ故ニ、全會一致ヲ以テ委員會デハ可決ヲ致シタノデアリマスルカラ、此段御報道申上グテ置キマス、幸ヒ諸君ニ於カレテモ御異議ガゴザイマセヌケレバ讀會ヲ省略サレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵奥平昌恭君 賛成  
○子爵青木信光君 賛成  
○伯爵大原重朝君 賛成  
○子爵山口弘達君 賛成  
○子爵松平親信君 賛成  
○伯爵林博太郎君 賛成  
○男爵中川興長君 賛成  
○子爵榎本武憲君 賛成  
○小野田元熙君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 柳原伯爵ノ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
○副議長(侯爵黒田長成君) 三分ノ二以上ト認メマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 過半數ト認メマス  
○副議長(侯爵黒田長成君) 委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
○副議長(侯爵黒田長成君) 三分ノ二以上ト認メマス

起立者 多數

○子爵松平親信君 此際議事日程ヲ變更セラレムコトヲ望ミマス、ソレハ豫テ特別委員ニ付託セラレタル取引所法中改正法律案並ニ取引所稅法改正法律案ハ緊要ナル法律案デアリマシテ、昨日委員會ニ於テ議了イタシタノデゴザイマス、會期切迫ノ際デアリマスカラ、此際議事日程ヲ追加シ、此兩案ヲ議

題トセラレムコトヲ希望イタシマス、滿場ノ諸君ノ御賛成ヲ希望イタシマス

○伯爵德川達孝君 賛成  
〔「賛成」ト呼フ者多シ〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 唯今、松平子爵ヨリ議事日程追加ノ動議が出マシテ賛成者ガゴザイマシタ、取引所法中改正法律案並ニ取引所稅法改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開クト云フコトニ御異議ハゴザイマセヌカヨリ致サレテ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ナイト認メマス  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 取引所法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、取引所稅法改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長松平子爵、報告ハ兩案トモ束ネテ委員長

ヨリ致サレテ御異議ゴザイマセヌカ

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ナイト認メマス  
取引所法中改正法律案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正三年三月二十二日

右特別委員長

子爵松平 親信

貴族院議長公爵德川家達殿

取引所稅法改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正三年三月二十二日

右特別委員長

子爵松平 親信

貴族院議長公爵德川家達殿

〔子爵松平親信君演壇ニ登ル〕

〔子爵松平親信君演壇ニ登ル〕

リシ點ヲ矯正シ、仲買人ノ品位ヲ高メ税率ヲ輕減シ、取引所ヲシテ貿好ナル  
經濟機關タラシムルノデアリマスルノデ、委員會ハ當局ノ說明ヲ求メ幾多  
ノ質問應答ノ末、全會一致ヲ以テ可決イタシタノデアリマス、取引所法中改  
正法律案ノ方ヨリ其改正ノ趣旨ヲ申上グマス、第一ニ仲買人又ハ會員ノ資格  
ニ付改正ヲ施シタノデゴザイマス、其一ツハ仲買人ハ從來制限ガアッタノデア  
リマス、現行法ノ十條ノ二項ニ於キマシテ「二箇年以上其ノ取引所ノ營業部  
類ニ屬スル商業ニ從事シタル商人ニシテ年齢二十五歳以上ノ者」トアリマス、  
其制限ヲ撤廢シタノデアリマス、而シテ一方ニハ定款ヲ以テ其必要條件ヲ定  
メ又其員數ヲモ制限シ、加フルニ政府ノ免許ヲ受ケルコトニ致シタノデアリ  
マス、改正案ノ第十一條ニハ消極的條件ヲ規定イタシマシテ、此以外ノ者ハ  
政府ノ證考ニ依リ人格、資產、信用ノ三ツニ重ヲ置キマシテ免許ヲ與フルコ  
トニ致シ、此免許ヲ得ルニハ第十一條ノ消極的ノ條件ヲ備ヘザル者ハ、一般  
ニ弘ク許スト云フ規定ニ改メタノデアリマス、其二ツニハ仲買人ハ他ノ取引  
所ノ仲買人タルコトヲ得ナイ、即チ二箇所以上ノ兼營ヲ許サナイコトヲ規定  
イタシマシタ、會員ニ付キマシテモ其資格ハ第十條及第十五條ノ二ニ規定イ  
タサレマシタ、第二ノ改正ハ取引所ト仲買人トノ關係ヲ全然區別イタシマシ  
テ、取引所ノ役員ト仲買人トハ全然獨立ノ地位ニ置イタノデアリマス、其一  
ツハ取引所ノ仲買人ハ取引所ノ役員タル認可ヲ受ケタルトキニハ仲買人タル  
コトヲ許サヌノデアリマス、其二ツニハ取引所ノ役員及使用人ハ何人ノ名ヲ  
以テスルモ、其取引所ニ於ケル取引物件ニ付賣買取引ヲナスコトヲ得ズ、又  
ハ其委託ヲナスコトガ出來ナイト定メマシタ、三ツニハ取引所ノ役員ト取引  
所ノ仲買人トノ間ニハ、資金ノ供與損益分配其他營業上特別ノ利害關係ヲ有  
スルヲ得ズト定メタノデアリマス、此三ツニ依テ、取引所ノ役員ト仲買人ト  
ハ全然獨立ノ地位ニ在ルコトニナツタノデアリマス、第三ニハ取引所ハ公定相  
場ヲ決定公示ヲナスコトニ致シテ、此規定ヲ新ニ加ヘタノデアリマス、ソレ  
ハ第二十六條ニアリマス、第四ニハ仲買人ハ農商務大臣ノ認可ヲ受クルニ非  
ガレバ支店出張店ノ類ヲ設ケルコトガ出來ナイト定メマシタ、以上ガ重ナル  
コトニアリマシテ、尙茲ニ一ツノ重ナルモノハ、第五トシテ從來仲買人間ニ  
所謂呑行爲ナルモノガアリマシタ、此呑行爲ハ如何ナルモノデアルカト云フ  
コトヲ明カニシ、其呑行爲ヲ禁止シ其違反者ニハ三箇月以上營業ヲ停止シ又  
ハ除名ヲナシ、加フルニ脫稅シタル者ト看做シテ其逋稅額ノ五倍ノ罰金ニ處

スルコトニ致シタ、是ハ稅法ノ方ノ第十七條ニ規定サレテ居リマス、又モウ  
一ツ第六ニハ取引所ナル機關ヲ用キズシテ、定期ノ市場又ハ類似ノ市場ヲ開  
クヲ得ズト定メマシテ、之ニ依リマシテ取引所ノ獨占權ノ保護ト呑ノ行爲  
ト此ニハ呑行爲ノ何タルヲ明示シ、一方ニ於テハ取引所ナル機關ニ依ラズシテ  
結果、改正案ニ於キマシテハ第二十五條ト第二十六條ノ二トニ於キマシテ、一  
方ニハ呑行爲ノ何タルヲ明示シ、一方ニ於テハ取引所ナル機關ニ依ラズシテ  
取引ヲナスコトヲ差止メタノデアリマス、此外ニ付テノ改正ハ刑法若クハ商  
法ニ關スルコトヲ參酌シテノ改正デアリマシテ、衆議院ノ修正ニナツテ本院ニ  
廻ツテ參リマシタル各條項モ餘リニ繁瑣ニ互リマスルカラ、一旦申上グマセヌ  
デ、是等ニ付テハ唯政府ガ同意セラレテ居ルト云フコトヲ申上グテ置キマス、  
以上ガ大體ノ說明デアリマシテ、委員會ニ於キマシテハ數多クノ細密ナル質  
問モゴザイマシタガ、其重ナルモノヲ少シク申上グマスレバ、此改正案デハ  
呑行爲ヲ禁ジテ居ルガ、小口落シノ方法ハ如何ニ取扱ハルルヤ、又小口落シ  
ハ之ヲ公認シテ居ルカ、ソレハ取引所ノ場ニ掛ツテ居ルカラ脱稅ニ非ズト云フ  
趣意デアルカ、仲買人ノ法律上ノ地位如何、仲買人ノ信用保證ノ程度ニ付、  
辯ヲ煩ハシタノデアリマスガ、是等ハ速記錄ニ譲ラウト思ヒマス、是等ノ質  
問ノ後ニ委員會ハ本案ヲ可決イタシタノデアリマス、次ニ取引所稅法ノ改正  
法律案ニ付テ申上グマス、此改正ノ要旨ハ、第一ニハ現行法ノ第一條ニハ「取  
引所ハ定期賣買ニ付左ノ割合ニ從ヒ稅金ヲ納ムヘシ」ト規定セラレテ居リマ  
シテ、即チ現行法ノ取引所稅ナルモノハ、單ニ取引所ニ於ケル定期賣買ノ各  
約定高ニ對シテ取引所稅ヲ課スルノデアリマス、然ルニ此度ノ改正案ニ於キマ  
シテハ取引所稅ナルモノハ、其內容ヲ見マスレバ、一ツハ取引所ノ營業ニ對  
シテ營業稅ヲ課スルト云フコトトニ一ツニハ取引所ニ於ケル賣買取引ヲスル、  
其取引行爲ニ對シテ稅ヲ課スルト云フニ一ツノ要素ヲ含シテ居ルノデアリマ  
ス、依テ此度ノ改正案ニ於キマシテハ、第一條ニ「取引所ニハ賣買手數料收  
入金額百分ノ十五ノ割合ニ依リ取引所營業稅ヲ課ス」ト規定セラレマシタ、  
依テ取引所營業稅ハ其納稅者ハ取引所其モノデアルノデゴザイマス、而シテ

第五條ニ於キマシテ「取引所ニ於ケル定期取引ニハ其ノ賣買各約定金高ニ對

シ左ノ税率ニ依リ取引税ヲ課ス」トアリマシテ、取引税ハ仲買人又ハ會員ヲ以テ納稅主體ト定メタノデアリマス、第二ニ税率ニ付テノ改正ヲ申上ゲマスレバ

〔議長公爵徳川家達君議長席ニ復ス〕

今度ノ税率ハ輕減ニナッテ居ルノデアリマス、從來ハ定期賣買約定代金力分ノ十二デアリマシタノヲ改メマシテ、唯今申上ゲマシタ如ク、一ツニハ新ニ取引所ノ營業税トシテ賣買手數料收入金高ノ百分ノ十五ヲ課シ、二ツニハ取引税トシテ賣買約定金高万分ノ五ヲ課スルコトニ改メマシタ、而シテ營業税トシテ取引所ニ課スル百分ノ十五ナルモノハ、恰モ取引税トシテ計算スレバ万分ノ一一相當スルノデ、此二ツノモノヲ合スレバ賣買約定金高ノ万分ノ六トナルノデアリマス、即チ現行法ニ規定セラレテアリマス万分ノ十二ノ半數ニナルノデアリマス、半減セラレルノデアリマス、尙五條ニ付テ委シク説明モ申上ゲタインデアリマスガ、ソレハ説明ヲ除キマス、斯ノ如ク税率ヲ低減セラレマシタガ故ニ、政府ノ收納金額ガ從<sup>フ</sup>テ減ズベキ筈<sup>デ</sup>アリマスガ、サウデナイノデアリマス、其故ハ一方ニ於テ呑行爲ヲ防遏シ以テ取引所ノ改善ヲ圖ルト同時ニ、納稅ノ成績ヲ舉ゲシムルコトニ致シマシタノト、又賣買高ノ公示ヲナシ、及仲買人ヲ直接納稅義務者ト致シマシタ結果、市場ノ賣買高ガ増加イタシテ參リマスル爲ニ、結局政府ノ收納高ガ現行ト大差ガナイト云フコトニナルノデアリマス、現行稅額ノ調ガ大正三年度ノ豫算額ニハ、現行稅額トシテハ四百三十九万九百八十八圓デアリマシテ、之ヲ改正稅額ニ比ベテ見マスルト、改正稅額ハ四百三十八万二千四百九十八圓トナルノデアリマシテ、其差八千四百九十九圓ヲ減ズルコトニナルノデアリマス、第三ニハ取引所ヲシテ仲買人又ハ會員ノ取引税ノ納付ニ付キマシテ保證ノ責ニ任ズルコトヲ規定イタシタノデアリマス、又第四ニハ十五條以下二十一條ニ至ルマデ罰則ノ規定ヲ作り、内十七條ニ於テ呑行爲ノ違反者ヲ罰スル規定ヲ作ッタノデアリマス、是ガ取引所稅法ノ改正ノ要點デアリマシテ、委員會ニ於キマシテハ色々ノ質問モアリマシタ、其二三ヲ申述ベレバ第二十二條ノ制限ハ其結果地方稅ニ及ボス影響ガドウデアルカ、之ニ付テハ一年間ノ施行猶豫ヲ附則ニ規定イタシテ居リマスルカラ、地方經濟ニハサシタル影響ハナイノデアル、又轉賣、買戻ニハ取引税ヲ課セナクテ宜イノデアルカ、サウ云フ問ニ對シテハ成ルベク現行ノ慣習ヲ維持シ、又此轉賣、買戻ナルモノガ取引行爲ノ一部デアフテ、

一ツノ取引行爲ト見ルコトガ出來ナイト云フヤウナ爲ニ課セナイノダト云フ答辯モアリマシタ、尙十二條ノ適用ニ付キマシテ御質問モアリマシタ、是ハ十二條ノ適用ハ仲買人又ハ會員ガ取引税ヲ納メザル場合ニ、其本人ノ財産ヲ盡シテ、而シテ後ニ取引所ニ係ルノデアルカドウデアルカト云フ質問デアリマス、是ハ場合ニ依リマシテ納稅者ガ納稅ヲ滞納イタシマシタトキニ、滞納處分ニ至ラズシテ徵收スルコトヲ得ルト云フ途ヲ開イタノデアル、實際ニ於テハ處分ヲ盡シテ而シテ後ニ茲ニ及ブト云フ答辯デアリマシタ、マダ外ニモ色ミアリマシタガ、質問ノ箇條ハ此位ニ止メマシテ餘ハ速記錄ニ讓リマス、而シテ此稅法モ委員會ニ於キマシテハ全會一致ヲ以テ可決イタシタノデアリマスルガ、一委員ヨリ一ツノ希望ガ出テ居ルノデアリマス、而シテ其希望ハ此壇上ニ於テ御紹介スル必要ガアルト考ヘマスルカラ申上ゲマス、取引所ノ改善ヲ圖リ取引ニ關スル諸般ノ弊害ヲ剣除シ、以テ取引ノ安全ヲ確保シ、公定相場ノ實ヲ舉グルニ努ムベキハ、一般經濟上極メテ緊要トスル所デアリテ、法律ノ改正素ヨリ必要デアリマスルガ、其目的ヲ達セムガ爲ニハ、多クハ實際上ノ運用如何ニ屬スルコトデアル、依テ政府ハ實際上ノ處置ニ付テ十分ノトデアリマス、注意ヲ盡シ、所期ノ目的ヲ達スルニ就テ遺憾ナカラムコトヲ希望スト云フコトデアリマス、以上ヲ以テ御報告ト致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 唯今委員長ノ報告セラレマシタ兩案トモ一括シテ議題トナシ、採決ヲ致シテ御異存ゴザイマセヌカ  
シトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス  
○子爵松平親信君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス  
○伯爵大原重朝君 贊成

〔「其他「贊成」ト呼フ者アリ」〕

○議長(公爵徳川家達君) 松平子爵ノ兩案ノ第二讀會ヲ直チニ開クベニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、兩案全部ヲ問題ニ供シマス、兩案全部委員長ノ報告ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵松平親信君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○伯爵大原重朝君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ兩案ノ第三讀會ヲ開キマス、兩案トモ第二讀會ノ決議通リテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十、市制中改正法律案、衆議院提出、第一讀會、第十一、町村制中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

〔左ノ送付文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ載錄ス以下之ニ  
微フ〕

市制中改正法律案

右本院提出案及送付候也

大正三年三月十九日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長奥繁三郎

市制中左ノ通改正ス  
第一百九條ノ二 市カ新ニ特別ノ事業ヲ經營セムトスル場合ニ於テ法律ニ特  
別ノ規定アルモノヲ除クノ外現ニ其ノ區域内ノ需用ニ應スル爲官廳ノ許  
可ヲ受ケ同一目的ノ事業ヲ營ムモノアルトキハ町村ハ該事業ニ對シ  
豫メ相當ノ處分ヲ爲スコトヲ要ス但シ從來ノ營業者其ノ處分ヲ欲セサル  
トキ又ハ利害相反セサル場合ハ此ノ限ニ在ラス

〔東久世書記官朗讀〕

町村制中改正法律案  
右本院提出案及送付候也  
大正三年三月十九日

衆議院議長奥繁三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

町村制中左ノ通改正ス  
第八十九條ノ二 町村カ新ニ特別ノ事業ヲ經營セムトスル場合ニ於テ法律ニ  
特  
別ノ規定アルモノヲ除クノ外現ニ其ノ區域内ノ需用ニ應スル爲官廳

ノ許可ヲ受ケ同一目的ノ事業ヲ營ムモノアルトキハ町村ハ該事業ニ對シ豫メ相當ノ處分ヲ爲スコトヲ要ス但シ從來ノ營業者其ノ處分ヲ欲セサルトキ又ハ利害相反セサル場合ハ此ノ限ニ在ラス  
前項ノ事業ノ種類及處分方法ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
○男爵尾崎三良君 此議案ニ付キマシテ内閣大臣ナリ政府委員ニ質問イタシタウゴザイマスガ、誰カ居ラレマスカシラン……

○議長(公爵徳川家達君) 内務次官ガ出テ居ラレマス  
○男爵尾崎三良君 此案ハ衆議院カラ提出ニナツタノデスガ、是ハ政府デハドウ云フ御意見デアリマスカ、一應政府ノ御意見ヲ承リタイ

〔政府委員水野鍊太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(水野鍊太郎君) 御答イタシマス、此案ハ大體ニ於テ賛成ノ意ヲ表シタノデアリマス、御承知ノ如ク此案ニ依リマスレバ、同一區域内ニ於テ公共團體ト私八ト同一目的ノ事業ヲ營ム時ニハ、公共團體ハ其私人ノ事業ニ對シテ相當ノ處分ヲナスコトヲ要スト云フ大體ノ趣旨ノ案デアリマスルカラ、趣旨ニ於テハ差支ナイト考ヘマシテ、同意ヲ表シタ次第ニアリマスニ及ビマス

○議長(公爵徳川家達君) 唯今ノ兩案ハ同一委員デ御異存ゴザイマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ御報告可ヲ受ケ同一目的ノ事業ヲ營ムモノアルトキハ市ハ該事業ニ對シ豫メ相當ノ處分ヲ爲スコトヲ要ス但シ從來ノ營業者其ノ處分ヲ欲セサルトキ又

ハ利害相反セサル場合ハ此ノ限ニ在ラス  
前項ノ事業ノ種類及處分方法ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

市制中改正法律案外一件特別委員

伯爵柳原義光君 男爵尾崎三良君 子爵本莊宗義君  
子爵豊岡圭賀君 子爵藪篤麿君 高崎親章君

西村亮吉君 三宅秀君 森田庄兵衛君

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十二、蠶絲業法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正三年三月十一日

右特別委員長

伯爵島津忠麿

貴族院議長公爵徳川家達殿  
〔子爵西大路吉光君演壇ニ登ル〕

○子爵西大路吉光君 特別委員長島津伯爵ニハ所勞ニ依リマシテ本日闕席ヲ致サレマシタニ付キマシテ、本員ヨリ蠶絲業法中改正法律案ノ特別委員會ノ經過竝ニ結果ノ概要ヲ報告申上ゲマス、本案ニ關シマスル特別委員會ハ、去ヌル十一日開會ヲ致シマシタ、正副委員長ノ選舉ヲ終リマシテ、直チニ會議ヲ開キマシタノデゴザリマス、政府當局委員ノ出席ヲ煩ハシマシテ、本案ノ提出ノ趣旨竝ニ政府ノ意見ヲ承リマシテ、質疑應答ヲ重ネマシテ、審議ヲ致シマシタノデゴザリマス、御承知アラセラル如ク、本案ハ衆議院提出案デゴザリマシテ、此案ノ内容ハ頗ル簡單デゴザリマス、現行法ノ蠶絲業法中第二十七條ニ「府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ蠶種検査ニ關シ手數料ヲ徵收スヘシ」ト規定セラレテ居ルノデアリマス、ソレヲバ削除イタシタイト云フノデアリマス、即チ種紙検査手數料ヲ免除イタシタイト云フニ外ナラスノデゴザリマス、此蠶種検査及地方ノ蘭審査會ニ關シマスル必要ナル費用ハ、府縣ノ負擔ト相成ッテ居ルノデゴザリマスルガ、其費用ノ半額マデハ國庫ガ之ヲ補助シ得ルト云フコトノ規定ニナツテ居リマスルノガ、現在ニ於キマシテハ其中若干万圓ヲ除キマスル外ハ、總テ府縣ノ負擔ト相成ッテ居ルノデアリマス、故ニ全國ニ於キマシテ種紙製造業者一万五千人ノモノガ、蠶種ノ検査ノ手數料ヲ徵セラレテ居ルノデアリマス、此一万五千人ノ蠶種製造者ガ、一年ニ一人ガ約六百圓

ノ蠶種製造高ニ對シマシテ、特別粹製、平付、平均イタンマシテ、約三十何圓ト云フ手數料ヲ納入イタシテ居ルノデアリマス、故ニ蠶種製造者ニ取リマシテ非常ナル苦痛ヲ感ジテ居ル次第デゴザリマス、申上ゲルマデモナク、蠶種ハ蠶業ノ根本デアリマス、検査ノ取締ハ蠶業ノ改善發展ヲ圖ル上ニ於テ、極メテ重要ナル方法デアリマス、是即チ現行強制蠶種検査法ヲ實行セラレタル所以デアリマス、其目的タルヤ蠶病ヲ豫防シ、他面ニハ一般蠶業家ヲ保護スルノデアリマス、然ルニ此強制検査ニ要スル費用ハ受檢者タル蠶種製造者ヨリ徵收スルト云フコトハ、殆ド其目的ニ副ハナイノミナラズ、他ノ各種ノ検査ノ方法ト均衡ヲ失スルノデゴザイマス、是ガ提案ノ趣旨デアリマス、政府ニ於キマシテハ此案ニ同意ヲ致サレテ居ルノデアリマス、即チ府縣ノ費用ノ中ニハ蠶種ノ手數料ヨリ徵シマスルモノヲバ含有イタシテ居リマスルガ故ニ、政府ハ唯ミ此手數料ノミヲ免除イタシタナラバ、府縣ノ負擔ヲ増加イタスバカリデアリマスル故ニ、府縣ノ負擔ヲ増加シナイ範圍ニ於テ、一方ハ手數料ヲ削除イタシ、府縣ノ負擔ヲ増加セシメザル意味ニ於テ、政府ガ之ニ同意ヲサレタノデアリマス、便宜ノ爲ニ數字ニ付テ申上ゲマシタ、蠶病豫防事務費ガ豫算面デ百四十万圓ニ相成ッテ居ルノデゴザイマス、其中五十九万圓ハ唯今申上ゲマシタ、蠶種手數料ノ徵收額デアリマス、七万圓ハ國庫ノ補助デアリマス、殘リ七十四万圓ハ府縣費デゴザリマス、此度之ヲバ改正ニナリマシタル曉ニハ、五十九万圓ト從來カラ國庫ガ補助シ來リマシタ七万圓ト合セマシテ、六十六万圓ヲバ大正四年度ヨリ國庫ハ之ヲ繼續的ニ補助スルト云フノデアリマス、要スルニ特別委員會ニ於キマシテハ本案ノ趣旨ヲ適當ナリト認メ、政府モ亦之ニ對シテ國庫ニ補助ノ途アリトノ言明ニ依リマシテ、委員會ハ一致ヲ以テ可決イタシ議了イタシマシタ次第デゴザリマス、右御報告申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 子爵松平親信君ノ登壇ヲ望ミマス

〔子爵松平親信君演壇ニ登ル〕

○子爵松平親信君 本員ハ不幸ニシテ副委員長ノ御報告ニ同意ヲスルコトガ出來マセヌ、茲ニ聊反對ノ理由ヲ開陳イタシテ本員ノ意ノ在ル所ヲ明カニセテ、子爵松平親信君ノ登壇ヲ許可スルガ、其費用ノ半額マデハ國庫ガ之ヲ補助シ得ルト云フコトノ規定ニナツテ居リマスルノガ、現在ニ於キマシテハ其中若干万圓ヲ除キマスル外ハ、總テ府縣ノ負擔ト相成ッテ居ルノデアリマス、故ニ全國ニ於キマシテ種紙製造業者一万五千人ノモノガ、蠶種ノ検査ノ手數料ヲ徵セラレテ居ルノデアリマス、此一万五千人ノ蠶種製造者ガ、一年ニ一人ガ約六百圓

テ六十六万圓、之ヲ大正四年度カラ農商務省ノ經常費中ノ補助費ノ中ヨリ支出シテ之ヲ地方費ニ補助スルト云フ結果ニナルノデアリマス、其ハ六十六万圓、約七十万圓ナルモノノ財源ハ如何デアルカ、本員ハ營業稅法ノ特別委員デアリマシタカラ、其委員會ニ於キマシテ當局ニ説明ヲ求メマシタル所、此財源ハ今期ノ議會ニ提出セラレマシタル營業稅法改正、其他一般ノ減稅經畫ノ財源タル大正四年度以後ノ歲入超過額千五百万圓ノ中ヨリ出スノデハナイノデアル、此度本豫算ニ計上セラレ、而シテ衆議院並ニ本院ニ於テ削除セラレマシタ軍艦水雷艇補充基金四千六百七十万圓ノ中ヨリ四千六百万圓ヲ產業獎勵基金ニ繰入レマシテ、殘額七十萬圓ヲ以テ充ツルト云フ答辯デアリマシタ、併ナガラ是ハ大正三年度ニ於ケル財源デハアリマスルガ、大正四年度以降ノ財源デハナイノデアリマス、謂ハユル一時的ノモノデアルノデアリマス、尙此際茲ニ申述ベテ置ク必要ガアルノハ、唯今豫算總會ニ掛ツテ居リマス所ノ國稅徵收法ノ改正ニ伴ヒマシテ、市町村ニ於テ徵收スペキ國稅ニ對スル交付金ノ増額ガ必要ニナツテ參リマシタノデ、是ハ唯今申シマスル所ノ殘額七十萬圓ニ依テ充當セラレテ居ルト云フノデアリマス、實ニ要領ヲ得ザル事デアルト思フノデアリマス、茲ニ申上ゲテ置キマスノハ、營業稅法ノ委員會ニ於キマシテ、政府委員ヨリ所管ガ違フカラ參考トシテ述ベルノデアルト言ハレマシタガ、其後ノ協議會ニ於キマシテハ、本員ノ質問ニ對シテ大藏大臣ヨリ產業基金ニ充當シテ残ヅタル七十萬圓ヲ以テ之ヲ充當スルノデアルト云フ説明ヲ伺ッタノデアリマス、是ハ私一人バカリデハナク委員長德川公爵初メ委員ノ御方ガ皆御承知ニナツテ居ルコト思フノデアリマス、併シ其財源タル七十萬圓ハ此度ハ本案ガ否決ニナリマシタ曉デアルナラバイザ知ラズ、本案ハマダ否決ニナルカナラヌカ分ラヌノニ、否決ヲ豫想サレテト言ッテハ甚ダラカシイノデアリマスガ、恰モ否決ヲ豫想サレテ居ルト同ジ結果ニナツテ居ルノデアリマス、若シ此追加豫算ニシテ成立セバ、此大藏大臣ノ申サレタ財源ハ全クナイノデアリマス、又此説明ニ依リマセヌデ、假ニ一般ノ減稅經畫ニ伴フ大正四年度以降ノ歲入超過金額千五百万圓餘ノ中ヨリ支出スルモノデアリト致シマスナラバ、此財源タルヤ本議會ニ於テ通過イタシマシタル營業稅法、其他一般ノ減稅經畫ノ財源ニ充當サレテ居リマスカラ、剩ス所ハ誠ニ僅少デアルノデアリマス、尤モ茲ニ貴族院ニ於キマシテ、通行稅並ニ織物消費稅ガ通過イタシマセナシダ結果、約五十萬圓クラキ餘裕ガアルコトニナルノデアリマス、或ハ先刻ノ私ノ

言葉ヲ大藏當局者ガ御聽ニナツテ此方ニ答辯ヲ向ケラレルカモ知レマセヌ、此五十萬圓ナルモノハ、是ハ財源ニ置イテアリマスルガ、貴族院ガ通行稅並ニ織物消費稅ノ否決ヲ致シマシタノハ絕對ニ否決ヲシタノデハナイノデアリマス、通行稅ハ學生、兵士、勞働者、比較的下級ニ在ル所ノ人ノ通行稅ヲ減額スルノデアリマス、其趣旨ニ於テハ尤モデアリマスルガ、勞働者ナルモノヲ識別スル標準ガ明カデナイト云フノデ、暫ク政府ニ考慮ヲ求メル意味ニ於テ本年ハ通過シナインデアリマス、早晚斯ル稅法ノ爲ニハ其約五十萬圓ナル金ガ要ルノデアリマス、斯ウ見マスルト云フト、唯今問題ニナツテ居リマスル手數料全免ノ爲ニ生ズル所ノ補助費ノ財源ハ一時的ノ剩餘金カ、若クハ將來未知數ニ屬スベキ所ノ自然增收ヲ以テ充當スルト云フヨリ外ハナイノデアリマス、斯ル一時的ノ剩餘金若ク自然增收ノ類ヲ以テ國家ノ恒久的財源トスルニ足ラヌト云フコトハ、私ガ説明スルマデモナイノデアリマス、此財源ノ點ニ付キマシテ本員ガ本案ニ反對スル理由ノ一ツデアリマス、次ニ又此國庫補助金ナルモノハ、從來十万圓ト計上シテアリマシタノヲ行政財政ノ整理ノ結果大正三年度ニ於キマシテ、六万三千二百六十圓ト云フ先刻申上ゲタ高ニ削減セラレタノデアリマス、然ルニ此法律案ヲ通過イタシマスルト云フト、大正四年度以降ハ一躍六十六万、七十萬圓ニ近キ額ニ上ルノデアリマス、頗ル了解ニ苦シム次第デアルノデアリマス、何トナレバ、農商務省所管經常費補助費ノ中ニ農會補助ヲ初トシテ各種ノ補助ガアリマスガ、斯ル多額ナル補助ハ見出シ得ナイノデアリマス、又補助費以外ニ農事試驗場費、水產講習所費、生絲檢査所費等ノ殖產興業ニ必要ナルモノニ比ベテ見マシテモ、一見其多額ナルコトヲ知リ得ルノデアリマス、曩ニ政府ハ行政財政ノ整理ヲ斷行シ、必要已ムベカラザル機關ヲ廢合シテ、忍ブベカラザルモノヲ忍ンデ政費ニ節約ヲ加ヘタノデアリマス、然ルニ一二年モ經ザル中ニ補助額ノ約十倍ニ達スル如キ金額ヲ支出セムトスルノハ、明カニ行政財政整理ノ趣旨ニ反スルモノト思フノデアリマス、論者ハ或ハ言フカモ知レマセヌ、此補助金ハ多額デハアルガ、蠶種ノ改良、延イテ國益ノ增進ニナルノデアル、併ナガラ本員ノ見ヲ以テ見ルト決シテサウデナイノデアリマス、ソレハ後段ニ説明ヲ致ス所デ御了解ニナルカト思ヒマス、是ガ本案ニ對シ本員ノ反對スル理由ノ一ツデアリマス、次ニ又本案ノ改正ノ趣旨ハ一面ニ於キマシテハ當業者ノ悲境ニ沈淪セルノヲ救ハムトスルノデアリマシテ、其結果ハ蠶種ノ改良國益ノ増進ト云フコトニナ

ル、趣旨ハ一應其ヤウニ見エルノデハアリマスケレドモ、現今當業者ノ苦痛トスル所ハ手數料ヲ徵收セラレルニアラズシテ、寧ロ生産過剩ニ原因シテ居ルノデアリマス、茲ニ一言申シマスルガ、是ハ政府ノ見解デアリマス、而シテ當業者ノ陳情ヲ聽クニ當業者ノ悲境ニ沈淪スルノハ獨リ生産過剩ノ罪デハナイト申サレテ居リマスガ、姑ク政府委員ノ申サレル所ト、而シテ本案ニ對シテ政府ハ同意シテ居ラレルノデアリマスカラ、其點ヲ論據トシテ申上ゲマスルト、全國ニ於ケル蠶種ノ製造高ガ約八百万枚アリマシテ、其中、需要セラル數ガ五百四五十万枚、供給過剩ニ屬スル部分ガ二百四五十万枚、即チ生産過剩ノ爲ニ競争シテ廉イ直段デ賣ル爲ニ悲境ニアルト云フノデアリマスルカラ、此生産過剩ヲ防グト云フニハ需要供給ノ原理ニ依テ供給ヲ少クスルヨリ外途ハナイコト思ハレマス、依テ手數料ヲ全廢イタシマシテモ、手數料ノ全廢ハ多少當業者ノ苦痛ヲ救フコトニナリマセウ、多少ノ緩和ニナリマセウケレドモ、寧ロ當業者ノ側カラシテ此五十九万圓ノ手數料ヲ納メナクテモ宜シト云フ結果、其金ガ當業者ノ間ニ落チテ來ルコト同ジコトニナリマシテ、寧ロ生産過剩ヲ促シ、現在ヨリヨリ多クノ過剩ヲ來スコトデアラウト思フノデアリマス、是ガ反對ノ第三ノ理由デアリマス、以上申上グマスル外、之ニ加フルニ本案ハ其附則ニ於キマシテ大正四年ノ四月一日カラ實施スルコトニナツテ居リマスカラ、縱令本年此案ガ通過イタシマシテモ、是ガ適用ヲ受ケルノハ本年ニアラズシテ來年四月カラデアリマス、依テ政府ハ須ラク更ニ考慮ヲ費シ、果シテ其必要ニ迫ラレ、同時ニ恆久的財源ヲ得ラレルノデアレバ、來期ノ議會ニ提出セラレテモ決シテ遲クハナイト思フノデアリマス、之ヲ要スルニ本案ハ姑ク之ヲ保留シ、果シテ必要ガアリマスレバ、此補助金支出ノ方法等ニ關シテモ致究ラセラレテ、來年ノ議會ニ提出セラレテ協賛ヲ求メラレムコトヲ切望スルノデアリマス、茲ニ聊カ反對ノ意思ヲ表明イタシテ置キマス○江木千之君 私ハ此法案ノ精神ニ付テハ同意スルモノデアリマス、全體、蠶絲業者ニ對シテ強制的ノ検査ヲ行ヒナガラ、其検査ニ付テ手數料即チ一種ノ租稅ヲ徵收スルガ如キコトハ甚タ穩當ナラヌコトデアルノミナラズ、蠶業ノ發達上ニ害ナシトハ申ナレヌノデアリマス、此法案ノ精神ニ付テハドコマデモ贊成イタスモノデアリマスガ、唯今、松平子爵ノ述ベラレタル所ニ依テ見マシテモ、之ニ付テ補助スベキ政府ノ財源ノ經畫ト云フモノハ甚ダ不確實デアルノデアリマス、此財源ノ經畫ガ不確實デアル以上ハ、如何ニシ

テモ此法案ノ通過ヲ圖ルコトガ出來ナイコトデアラウト考ヘマス、尤モ唯今松平子爵ノ述ベラレタ所ノ町村農會等ノ補助ニ付キマシテノコト、或ハ此補助費ガ多額デアルト云フヤウナ點ニ付テハ、本員ハ一々同意イタス者デアリマセス、併ナガラ財源ノ經畫ガ不確實デアルト云フコトハ今日ノ事實デアル、此事實ガアル以上ハ此法案ノ通過ヲ圖ルト云フコトハ出來ナイ、是等ノ點ニ付テハ十分調査スペキ餘地ガアルト考ヘルノデアリマス、其他手數料ノ額ハ今日各府縣ヲ通ジテ五十萬圓カニ上ルト云フコトヲ承フテ居リマスガ、之ヲ政府ガ財源ガアツテ是ダケラ補助スルト致シマシテモ、杓子定木的ノ補助ヲ始メラレルト云フコトハ甚ダ好マシカラヌノデアリマス、負擔ガ非常ニ重クナルト云フガ如キ地方ニ對シテハ、相當ノ補助ヲセラルル必要ハアリマセウガ、此五十九万圓ヲ算盤デ割出シテ、或縣ハ數千圓ニナルト云フガ如キ少額ナル地方ニマデ、杓子定木的ニ補助ヲヤルト云フガ如キコトハ、甚ダ面白カラヌコトト考ヘマスカラ、是等ニ付テモ政府ハ餘程致究ヲセラレナクテハナラヌコトデアラウト考ヘル、要スルニ此法案ニ付テハ政府ニ於テ篤ト調査ヲ遂ゲラレ、更ニ提案セラレムコトヲ希望スルノデアリマス、デ今日ハ延期ノ意味ヲ以テ之ヲ否決セラレムコトヲ希望イタシマス○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵德川家達君) 少數ト認メマス、故ニ本案ハ否決セラレマシタ

第一讀會ノ續、委員長報告  
郡制廢止法律案

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也  
大正三年三月十九日

右特別委員長

伯爵柳原義光君演壇ニ登ル

伯爵柳原 義光

御報道申上ゲマス、此委員會ハ去ル十七日ニ開キマシテ、其時ハ單ニ正副委員長ノ選舉デ終ッタノデアリマシテ、續イテ十八日十九日ノ兩度ニ瓦ツテ開會イタシマシテ、其結果、一人ノ賛成者ガアルノミテ、他ハ皆反對デアリマシテ、此案ハ否決ニナッタノデアリマス、ソレデ案ノ内容ヲ簡單ニ申上ゲマスト、此案ハ諸君モ御存ジノ如ク、衆議院ノ提出案ト云フ形式デ當院ニ參フタノデアリマス、サリナガラ此案ガ元來當院ニ出マシタ時ニ、本員モ質問ヲ内務大臣ニ向ッテ致シタノデアリマスガ、内務大臣曰ク此案ノ内容ニ付テハ賛成デアルト云フコトデアッタ、ソコデ私ハ然ラバ何故先年度ノ如ク政府提出案トシテ之ヲ御提出ニ相成ラナカツタカト云フコトヲ質問イタシタ所ガ、政府ノ提案トシテ出スニハ其時機ヲ考ヘテ居ツタ、ソレデ其言葉ノ中ニ、内部ニハ今ハ是ガ時機デナイト云フコトガ裏面ニ在ルモノノ如ク本員ハ解釋シタノデアリマス、併ナガラ衆議院ノ議員ノ提出ニ依テ本案ガ出タ以上、政府年來ノ賛成デアルガ故ニ、勿論此内容ニ付テハ賛成ヲスルト云フ答辯ヲ得タノデアリマス、是ハ此案ノ提出セラレマシタル所ノ形式ノ説明ヲ致シタニ過ギスノデアリマスガ、此案ノ内容ハ郡ト云フ自治體ヲ廢止スルノデアッテ、此郡役所ヲ廢止スルト云フコトデハナイノダサウデアリマス、而シテ又政府委員ノ見込ヲ尋ネシタ所ガ、政府委員ノ言ハレルニハ、郡ト云フモノヲ廢スレバ、經費ガ減ルト云フコトデアルノデアリマス、其一例トシテ言ハレタ所ハ、例ヘバ郡ヲ廢スレバ郡ノ事務費ガ減ルト云フコトハ明カナ譯デアル、其事務費ノ中ニハ郡會ト云フモノガナクナルカラ、隨ツテ選舉ノ費用モナクナルシ、郡參事會モナクナルカラ、其費用モ要ラヌト云フ譯デ、要スルニ費用ガ要ラヌト云フ政府委員ノ説明デアッタノデアリマス、然ラバドレ程費用ノ節約ガ出來ルカト云フコトヲ尋ネマシタ所ガ、例ヘバ千万圓ノ中約三分ノ一グラキ減ルデアラウト云フ答辯デ、其以上ノ見込ハ分ラヌ、免ニ角其位減ルト云フコトデアッタノデアリマス、併ナガラ又此案ニ反對ノ有力ナル說ハ、此案ガ嘗テ原内務大臣ガ西園寺内閣ノ當時、内務大臣デアッテ、明治四十一年ニ當院ニ出タ時ニ、是ハ否決シタノデアリマシテ、其否決シタ時ノ當時ト其事情ハ依然トシテ變ラヌノデアリマス、ノミナラズ其時ニ否決ノ事情以外ニ今日マデノ經過ヲ見ルト、郡ト云フモノハ寧ロ事實ニ於テハ段々發達シテ來テ居ルノデアリマシテ、又將來ト雖モ大ニ發達スル所ノ見込アルモノデアル、一面カラ見レバ勿論弊害ノアルト云フコトヲ言ハレルノデアリマスガ、獨リ郡ノミナラズ、弊害ハ府

縣町村皆弊害ハ絶対ニナイト云フコトハ言ハレナイノデアリマスカラ、弊害ノ有ル無イト云フコトヲ以テ、廢止セムト云フ有力ナル所ノ理由ニハナラナイノデアリマシテ、要スルニ委員會ノ多數ノ人ハ郡ト云フモノハ前途益々發達スル見込ガアルカラ、輕々ニ之ヲ廢止スペキモノデナイト云フ意見デアリマシテ、一人此廢止ニ賛成ヲスル人ノ外ハ皆反對ヲシテ委員會デハ否決ニナッタノデアリマス、此段御報告申上ゲマス、何卒否決ニ御賛成ヲ願ヒマスシテ、○議長(公爵德川家達君)採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵德川家達君) 少數ト認メマス、本案ハ否決セラレマシタ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十四、醫師法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正三年三月十九日

右特別委員長

伯爵松 浦 厚

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵松浦厚君演壇ニ登ル〕

○伯爵松浦厚君 醫師法中改正法律案ノ委員會ノ經過ヲ御報告イタシマス、本案ハ極メテ單簡ナル法案デアリマシテ、政府委員モ出席ニナリ、詳細ニ委員カラ質問モ出マシタ、詳細政府委員ヨリ説明モアリマシタ結果、本案ハ賛成ヲ致スコトニナリマシタ、抑、此本案ノ要旨ト申スモノハ、明治三十九年十月ニ醫師法ト云フモノガ出マシテ以來、明治ノ十六年頃ニ出マシタ所ノ醫師開業規則ト云フモノガ、其醫師法ノ出マスト同時ニ消滅スペキモノデアッタケレドモ、マダ我邦ニ於テハ醫師ノ數ガ少ク、又此規則ヲ一時ニ廢シテハ宜シクナイト云フ所カラ致シテ、此醫師開業規則ト云フモノハ年間繼續イタシテ、文部省ノ管轄ニ於テ年々二回づ、學說ト、並ニ實地ノ試験ヲ行フテ、サ法案ノ出ルト共ニ保存シテ置ク、斯ウ云フコトデアリマス、然ルニ此度本年

ノ即チ九月ガ此本案ノ實行期限トナツテ、即チ開業規則ノ消滅時期デアル、然ルニマダ此醫師ノ中ニ於テ數千人ノ醫師ガ刻苦勤勉、此醫學上ノ研究ヲ施行シテ居ル以上ハ、直チニ此年期ニ接シテ、直チニ之ヲ廢スルト云フノハ酷デアルカラ、更ニ大正五年マデ時期ヲ延バシテ、二年猶豫ヲシテ、サウシテ其ノリマス、付キマシテハ此委員中ニハ多クノ専門家ガ居ラレマシテ、慎重ニ審議ノ結果、如何ニモ氣ノ毒ナコトデモアルシ、又國家ニ十分ナル……多數ナル醫師ガ居ルケレドモ、尚是以上ニ醫師ヲ置クノ必要ガアルト云フ所ノ結果、此案ニ贊成ヲ表シマシテ可決スルコトニ致シマシタ譯デアリマス、此事ニ付テハ専門ノ諸君ガ御居デニナリマスカラ、専門諸君カラ御質問ノ點ガアレバ御答辯ガアリマセウ、私ハ至ッテ是ニハ不馴デアリマスカラ、其可決ニナリマシタ所ノ要點ノミヲ茲ニ述ベマシテ、此演壇ヲ退ク積リデアリマス、又政府ノ意向モ承リマシタガ、至極此案ハ御尤ナコトデアルカラ、政府カラモ出サウト思ツテ居ッタケレドモ、少シ時機ガ如何ト考ヘテ出サナカツタガ、斯ワ云フ衆議院ノ提案デアルナラバ、贊成ヲスルト云フ意見ヲ確カメマシタカラ、可決イタスコトニ致シマシタ、時期モ切迫……會期切迫ノ際デアリマスカラ極ク簡單ニ此案ヲ可決シテ宜カラウト思ヒマシテ、一應御報告ヲ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトス  
ル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○子爵實吉安純君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵野宮定穀君 贊成

「其他「贊成」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ此年期ニ接シテ、直チニ之ヲ廢スルト云フノハ酷デアルカラ、更ニ大正五年マデ時期ヲ延バシテ、二年猶豫ヲシテ其ノリマス、付キマシテハ此委員中ニハ多クノ専門家ガ居ラレマシテ、慎重ニ審議ノ結果、如何ニモ氣ノ毒ナコトデモアルシ、又國家ニ十分ナル……多數ナル醫師ガ居ルケレドモ、尚是以上ニ醫師ヲ置クノ必要ガアルト云フ所ノ結果、此案ニ贊成ヲ表シマシテ可決スルコトニ致シマシタ譯デアリマス、此事ニ付テハ専門ノ諸君ガ御居デニナリマスカラ、専門諸君カラ御質問ノ點ガアレバ御答辯ガアリマセウ、私ハ至ッテ是ニハ不馴デアリマスカラ、其可決ニナリマシタ所ノ要點ノミヲ茲ニ述ベマシテ、此演壇ヲ退ク積リデアリマス、又政府ノ意向モ承リマシタガ、至極此案ハ御尤ナコトデアルカラ、政府カラモ出サウト思ツテ居ッタケレドモ、少シ時機ガ如何ト考ヘテ出サナカツタガ、斯ワ云フ衆議院ノ提案デアルナラバ、贊成ヲスルト云フ意見ヲ確カメマシタカラ、可決イタスコトニ致シマシタ、時期モ切迫……會期切迫ノ際デアリマスカラ極ク簡單ニ此案ヲ可決シテ宜カラウト思ヒマシテ、一應御報告ヲ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトス  
ル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○子爵實吉安純君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵野宮定穀君 贊成

「其他「贊成」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○伯爵大原重朝君 贊成

「其他「贊成」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵實吉安純君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイモノト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通り  
デ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十五、輕便鐵道補助法中改正法律案、  
衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告

○議長(公爵徳川家達君) 輕便鐵道補助法中改正法律案  
右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

大正三年三月十九日

貴族院議長公爵徳川家達殿

右特別委員長 古市公威

〔小字ハ特別委員ノ修正  
ハ同削除ノ符號〕

輕便鐵道補助法中左ノ通改正ス

第一條 輕便鐵道ニ於テ每營業年度ニ於ケル益金カ建設費ニ對シ一年五分  
ノ割合ニ達セサルトキハ政府ハ該鐵道營業開始ノ日ヨリ十年ヲ限リ其ノ  
不足額ヲ補給スルコトヲ得但シ營業收入ノ營業費ニ不足スル金額ニ對シ  
テハ之ヲ補給スルコトヲ得ス

前項ノ建設費、營業費、營業收入及益金ハ命令ノ定ムル所ニ依リ算出シ  
タル金額ニ依ル

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス、全部委員長報告ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

第四條 削除

第五條 削除

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔古市公威君演壇ニ登ル〕

○古市公威君 本案特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告イタシマス、輕便鐵道補助法ハ明治四十四年ニ制定イタサレマシテ、四十五年ノ一月一日カラ施行ニナリマシタノデ、施行後日ガ淺イコトデゴザイマスカラ、其效果ニ付テ唯今論議イタス譯ニハ參リマセヌガ、當初期待シテ居ッタ結果ヲ得ナンドト云フコトハ申サレヤウカト存ジルノデゴザイマス、此補助法實施以來、補助ノ請願ニ依テ許可サレタモノガ十三會社、其哩數ガ二百五十五哩、最モ長イノガ五十哩バカリデ、短イノハ六哩ニ足ラヌヤウナ狀態デアリマス、此輕便鐵道ノ大ニ發展スルコトハ我シノ希望スル所デアリマスガ、結果ハ右ノ如キ次第デアリマス、補助ノ金ハ御承知ノ通り、第一年ニ二十五万圓、次ノ年ガ五十萬圓、其次ニハ七十五万圓、斯ウ三年協賛ヲ與ヘテアリマスカラ、今日ハ百五十万圓モ補助金ガ積ンデアッテ、其中昨年十二月マデニ八万五千圓バカリヨリ未ダ支出シテナイト云フ有様デゴザイマス、デ斯ノ如キ結果デハ甚ダ不滿足デアリマスガ、如何ナル譯デ斯ウ云フコトデアラウカト申シマスルト、此補助法ガ如何ニモ其程度ガ低イ、補助ガ不十分デアルト云フコトト、ソレカラ補助ガ不十分デアルニモ拘ラズ手續ハナカヽヽ込入ッテ、面倒デアルト云フコトト、是等ノ原因ニ依テ斯ノ如キ面白カラヌ結果、不滿足ノ結果ニ到著シタノデアルト考ヘラレル、ソレデ此改正案ガ出マシタノデゴザイマス、此改正ノ要點ハ三點デアリマシテ、第一ハ現行法ノ第一條ノ中ニ五年ヲ限リトアルノヲ十年、即チ「五」ヲ「十」ト改メタノデアリマス、ソレカラ第二ハ四條ヲ削除イタシマシタ、是ハ現行法ニ依リマスルト、建設費ニ對スル益金ノ割合ガ百分ノ八以上ニ上タトキニハ、其八ヲ超過シタル分ノ半ヲ國庫ヘ返ス、償還スルト云フ規定デアル、ソレヲ削除スル、ソレカラ第三ハ現行法ノ第五條ヲ削除シテ、サウシテ殆ド同様ナ文章デ其意味ヲ第一條ノ二項ト致シタノデアリマス、是ハ何レモ前ニ申シマシタ補助ノ程度ヲ厚クシ且手續ヲ簡易ニスルト云フ趣意ニ依テ出來タ改正案デゴザリマス、右ノ三點ニ付テ少シク御話ヲ致シマスルガ、第一ニハ「五」ヲ「十」ニ改メタ、是ハ如何デアルカト申シマスルト、今日マデ既ニ輕便鐵道法ノ出來ル前カラ成立ツテ居ル輕便鐵道ニ

シテ、既ニ十年ヲ經過シタモノノ例ニ依テ考ヘテ見マスルト、其十會社ヲ取ツテ調べテ見マスルト、十會社ノ中ニ四會社ハ十年目ニ五分以上、即チ建設費ニ對スル益金ノ割合ガ百分ノ五分以上ニナラニ居ル、ソレガ十會社ノ中ニ四會社、ソレデスカラ六會社ト云フモノハ十年經テモ未ダ五分ニナラナイ、且四會社ノ中ニモ、一會社即チ川越鐵道ノ如キハ一割、是ハ當初カラ一割以上デアルカラ、是ハ補助法ノ問題ニ掛ラヌモノデゴザイマス、ソレカラ豐川鐵道ノ如キハ初カラ五分以上デアッタ、中頃惡ルイコトモアリマシタガ、最近十年目ニハ五分何厘ト云フモノニナッテ、殆ド補助法ニハ關係ガナナイ、結局關係ノアルノハ二會社位デアル、サウシテ其二會社ハ先ヅ十年目ニハ五分以上ニナルト云フヤウナ次第デアリマス、其他ノ六會社ハ十年經テモ五分ニナラヌノデアル、ソレデ此十會社ヲ平均シテ見マスルト、建設費ニ對スル益金ノ割合ハ第一年目ニハ一分九厘・ソレカラ五年經テ六年目ニ三分三厘、ソレカラ十年目ガ四分三厘、是ハ殆ド五分ニ近イガ未ダ五分ニハ達シナイ、其中ニ川越鐵道ノ如キ大層好イモノヲ加ヘテ見テ、其結果ハ斯シナモノデアリマス、デアリマスカラ成ル程五年ノ五分ト云フノハ餘程辛イ、辛イト言ッテハ語弊ガアリマセウガ、マア不十分ナ補助ノ仕方ト申シテ宜カラウト思ハレルノデアリマセウガ、マア不十分ナ補助ノ仕方ト申シテ宜カラウト思ハレルノデアリマス、之ヲ十年ニシテモ先づ可ナリト言ッテ宜カラウト思ヒマスノデアリマス、殊ニ今日ノ如キ金利ノ高イ場合ニハ……是ハ一時ノ現象トハ思ハレマスガ、且是ハ一時ノ現象デアルコトヲ祈ルノデスガ、今日ノ如キ場合ニ於テハ、ニ改メルノハ至極適當ノ案ダト思ヒマスルノデアリマス、ソレカラ次ニ四條削除ノコトヲ申シマスガ、是ハ當初ニ申シマシタ通リニ、建築費ニ對スル益金ノ割合ガ八分ヲ超過シタラ、其超過シタ分ノ半ヲ國ニ償還スルト斯ウ云フ面倒デアリマス、何年經テ八分以上ニナルカ分ラヌヤウナ狀態デアル、唯今申シタ通リ十會社ノ内十年目ニ五分以上ニ達シテ居ルノハ僅ニ四會社、アトハ十年經テモ五分ニモナラヌノデスカラ、此先キ何ボ經タラバ八分ニナルカ分ラヌ、ソレデ其永イ間、此保護會社ニ付キマシテ精密ニ會計ノ検査ヲシテ行カヌナラヌ、其勞ガ得ル所ノ利益ヲ償フカドウカト云フト甚ダソレハ疑ハシイ、疑ハシイドコロデハナイ、本員ハ無論勞多クシテ益少イ誠ニ無用ナコトダト考ヘルノデアリマス、一ツ例ヲ取テ申シマスルト青梅鐵道デゴザイ

マスガ、全國十會社ノ内四會社ハ五分以上トアリマスルガ、其五分ニ達シテ居ルノガ豊川鐵道ニ、モ一ツ何ヤラデシタガ、五分カラ八分ニハ何年經ッテ八分ニ到著スルカ分ラヌモノデアリマスルカラ、是ハ別ニシテ殘ラテ居ルノガ川越鐵道ガアル、是ハ十年デ一割、當初カラ一割以上ト云フ鐵道デアリマスルカラ、是ハ補助ノ問題ニナラナイ、是ハマルデ捨テ仕舞ッテ宜シイ、一ツダケ青梅鐵道ト云フノガアリマス、青梅鐵道ハ此法律ニハ關係ナイノデアリマスガ、假ニ此法律ヲ青梅鐵道ニ適用シテ考ヘテ見マスルト、第一年ヨリ第五年マデノ間ニ一万圓バカリノ補助ヲ國カラ貰フノデス、サウシテ第六年ヲ措イテ第七年ニ始メテ八分以上ノ利益ヲ得ル譯ニナリマス、ソレカラ八分以上ニナリマシテ超過シタ分ノ半分ヲ國ヘ戻ストルト、七年、八年、九年、十年マデノ間ニ五千何百圓ヲ還ス、デアリマスルカラ七年目ニ八分ニ達スル程ノ好イ會計デアリマスルケレドモ、十年目ニマダ半分程ヨリ還シテハ居ラヌト云フ勘定ニナルヤウデアリマス、之ヲ殘ラズ勘定シテ見ルト云ウテ居ラヌト越意ハ宜シウゴザイマスガ、最モ都合ノ好イ會社デ斯ナ有様デ、況ヤ十年經ッテ五分ニモ達シナイヤウナモノ、之ヲ平均シテ論ジマスレバ十年目ニ四分三厘ト云フ、是ガ其倍、八分以上ニナッテ國ヘ還スト云フコトハナカノ、年數ノ掛ルコトデアル、其間始終細イ監督ヲシテ帳簿ヲ整ヘテ、書類ヲ整理サセルト云フ手續ヲスルノハ非常ナ手數デ、得ル所ハ最モ良イ場合ニ斯クノ如キコトデアル、是ハモウ無論打切勘定ニシタ方ガ宜シト考ヘル、尙全體此補助ト云フモノハ貰ウタモノダラウカ借リタモノダラウカ、負債デアラウカ、貸借對照表ヲドウ云フ工合ニ作ッタラ宜カラウカナドト云フ論ガアルサウデスガ、是ハ如何様ニモ切抜ケルコトハ出來ルト思ヒマスガ、今ノ勞多クシテ益少イト云フコトハ疑モナイコトデアリマスルカラシテ、斷然是モ大キナ金額ノ場合ハ格別デスガ、何レモ小サナモノデ、而シテ數ノ多イモノデ、先ヅ斯様ナ法律ヲ用キルノニハ不適當ナ場合ト思ヒマスルカラ、第四條削除モ然ルベキコトト考ヘマス、ソレカラ第五條ヲ削除シテ一條ニ二項ヲ加ヘタノデアリマス、是ハ餘程ムヅカシイコトデアリマスカラ、チヨット讀ミマスルガ、現行法ノ第五條ハ「第一條及第四條ノ建設費、營業費、營業收入及益金ニ關シテハ命令ヲ以テ其ノ算出方法ヲ定ムルコトヲ得」ト此終ヒノ「關シテハ命令ヲ以テ其ノ算出方法ヲ定ムルコトヲ得」ト云フノヲ「建設費、營業費、營業收入及益金ハ命令ノ定ムル所ニ依リ算出シタル金額ニ依ル」斯ウ云フコトニ

直シタノデゴザイマス、而シテ其意味ハドウデアルカト尋ネテ見マスルト、今日マデハ此補助額ヲ算出スルニ決算ニ依タモノデアリマス、ソレヲ第五條ヲ削除シテ一條ニ二項ヲ加ヘテ、而シテ之ヲ豫算デ補助スルヤウニシヤウト云フ考ダト云フノデアリマス、ソレ故、此事ニ付テハ事柄ハ特別委員會ニ於テ誰モ異議ハナイ、至極宜カラウト云フコトデアリマシタガ、此質問ハ激シハ該鐵道營業開始ノ日ヨリ」云々ト云ウテ居ラヌテ、少シモ變ラナクテ、サウシテ唯現行ノ五條ノ末段ヲ少シ變ヘテソレヲ一條ノ二項トシタバカリデ、決算ニ依テ補助シ來タモノヲ豫算ニ依テ補助シ得ルヤ否ヤト云フコトハ頗ル疑ハシイ、是ハモウ検査院ナドデハドウモ必ズヤカマシク言フダラウ、ドウシテモ一條ノ本文ガ此通り行カナイ以上ハ、矢張リ前ノ決算ノ方法ニ依ラヌベナラヌダラウト云フヤウニ思ハレルト云フノデ、段々應答ガゴザリマシタ、本員ナドモ覺ノアルコトデアリマスルガ、之ガ爲ニ特二人ヲ充テニヤナラヌヤウナ始末デ、輕便輕道ノ會社ナドト云フモノハ、先刻モ申シタ通り小サイデ趣意ハ畢竟決算ニ依テノ補助ト云フモノハ非常ニ手數ノ掛ルモノデ、是ハノハ漸ク五六哩ノヤウナ會社デアッテ、成ルタケ人ヲ節約セニヤナラヌ、ソレガ書類ノ整頓、帳簿ノ整理ト云フヤウナコトノ爲ニ、此検査ヲ受ケル爲ニ一つノ組織ヲセナケレバナラヌト云フヤウナコトハ、小サイ會社トシテハ實ニ堪へ難イ問題デアルニ違ヒナイ、又鐵道院トシテモ是ガ今日ハ十三會社デアリマスルカラ大シタ數デアリマセヌガ、我ミノ希望スルガ如ク私設ノ輕便鐵道ガ大ニ發達シテ此數ガ多クナッタラバ、此検査ノ爲ニ、鐵道院ガ非常ナ繁雜ナ手數ヲ要スルコトダラウト思ハレマス、ソレカラ其後ニ至ッテ會計検査院ニ行ツテモ亦同ジコト、何ニシロ決算デ補助スレバ傳票カラ整理シテ證據書類ヲ整頓スルノニ大變ナ書類ヲ積マネバナラヌコトデアリマス、是ハ斯ノ如キ小サナ金額ニ對シテ俗ニ謂ハユル重箱ノ隅ヲ楊枝デホジクルヤウナコトヲスル文面デ斯クナリ得ルカドウカト云フノデ段々詮議ノ末此修正、御手許ニ差出シタル通リ「達セサルトキハ」ト云フノヲ「達セスト認ムルトキハ」、斯ウシテ置ケバモウ決算ニ依ラヌト云フコトガ言ヘルダラウ、併ナガラ豫算ノ補助ト

云ウテ唯亂暴ニ會社ノ申出ノ通リノ豫算デ、ソレニ對シテ補助スル、ソレハ不都合デアルコトハ申ス迄モナイ、矢張リ一定ノ規定ヲ命令ニ依テ定メテ計算ノ仕方ヲ……建設費トカ營業費トカ云フ、計算ノ仕方ヲ命令デチャンント定メテ之ヲヤル、今日デモ私ガ聞ク所ニ依ルト、建設費ナドハ或會社デ主任ノ技師ノ言フコトヲ聽カズニ重役ガ勝手ニ敷設シテ、ソレガ爲ニ無益ナ建設費ヲ使ウタ、使用セシメタ例モアルサウデアリマス、斯ノ如キ場合ニハ常ニ鐵道院デ今日デモ査定シテ各、此相當ナ金額ニ建設費ヲ改メ來ッタサウデアリマス、デアリマスカラ將來ト雖モ其邊ハ息ラズ注意シテ居ルコトト考ヘマス、又此營業費ナドハ大抵大ナル誤ナシニ計算ノ推測ノ出來ルモノデアリマスガ、モウ豫算ニシテモ大シタ違ヒハナイコトト考ヘラレマス、又其決算ニ依テ補助スルト云フヤウナ一ツ弊ガアリマス、ソレハ此法文デ規定シテアリマスル通り、營業收入ガ營業費ヨリ内ヘ引込ンダ時ハ、此缺損ヲ決シテ補ヒマセヌケレドモ、營業收入ヲ以テ營業費ヲ償ヒ得ルト、是以上ヲ勵クニ及バヌ、勵カズニ居テモ國カラ五分ダケノ補助ヲシテ吳レルカラ、豫算ノ補助ト云フト特ニ努力シテ五分ヲ五分五厘ニスルトカ六分ニスルト云フヤウニ勵クコトガ出来マス、是ハ大ニ獎勵スペキモノデアル、其利益ハ必ズアリマス、尙又消極ニ今度ハ營業費ヲ無闇ニ減ズルト云フ虞モナイコトハアリマセヌガ、之ヲ監督シテ廻ルノニ會計ノ帳簿ヲ検査シタリ何カシタリスルト云フヤウナ手數ガ掛ルコトナクシテ直キニ分ルモノデアリマスカラ、其邊ガ取締易イコトト考ヘマス、以上述ベマシタル所ノ理由ニ依リマシテ、本案ハ僅ニ「達セスト認ムルトキハ」ノ修正ヲ加ヘルバカリデ可決ノコトニ全會一致ヲ以テ決定イタシマシタ、ソレカラ附則「本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」是ハ全ク誤リ、衆議院カラ之ヲ附ケテ廻シタノガ誤リ、此附則ハ現行法ノ通リダカラスンナモノハ加ハルベキモノデナイ、是ハ衆議院カラ誤ッテ此箇條ガ此方ヘ廻リマシタガ、是ハ當然削除スベキモノデアリマスカラ削除イタシマシタ、右ノ次第デアリマスカラ、ドウカ諸君ニ於テモ本案ノ修正ノ通リ御賛成ヲ願ヒマス

〔子爵鍋島直彬君「日程變更」ト述フ〕

○議長(公爵德川家達君) 少々御待ヲ願ヒマス

〔子爵鍋島直彬君「此際ニ」ト述フ〕

○議長(公爵德川家達君) 少々御待ヲ願ヒタイ、唯今古市君ノ報告セラレマシタ本案ノ議事中デアリマスカラ……採決ヲ致シマス、輕便鐵道補助法中改

正法律案、唯今、古市委員長ノ報告ガ相濟ミマシタカラ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○古市公威君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○伯爵大原重朝君 賛成

〔其他「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス、全部委員長ノ報告通リ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○古市公威君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○伯爵大原重朝君 賛成

〔其他「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通り御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通り御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通り御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵鍋島直彬君「日程變更」ト述フ

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通り御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通り御異存ゴザイマセヌカ

○子爵曾我祐準君 賛成

○議長（公爵徳川家達君） 鍋島子爵ノ日程追加ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 是ヨリ耕地整理法中改正法律案竝ニ地租條例中改正法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告

耕地整理法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正三年三月二十日

右特別委員長

子爵鍋島直彬

貴族院議長公爵徳川家達殿

地租條例中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正三年三月二十日

右特別委員長

子爵鍋島直彬

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔「子爵鍋島直彬君演壇ニ登ル」〕

○子爵鍋島直彬君 本案ノ委員會ハ過グル十九日ト二十日ノ兩日ニ亘テ開キマシテゴザリマス、委員會ノ初ニ於テ政府委員ヨリ周密ナル説明ガゴザリマシテ、尙委員ヨリハ種々ナル質問ヲ致シマシテゴザリマス、併シ會期モ既ニ切迫ノ唯今デゴザリマスルカラ、質問ノ事柄ヤ、或ハ政府委員ノ説明モ悉ク其説明通リニ述ベルコトヲ致シマセズ、委員會ノ大體重ナル要點ニ付テ御報告ヲ致シマス積リデゴザリマス、委員會ニ於テハ此案ハ……全會一致ヲ以テ改正案ハ國家ノ公益ニ關シ國民ノ便利ヲ圖リ、土地ノ改良ヲ目的トシ、而シテ此耕地整理ナル有利ノ事業ヲ促進獎勵スルモノト云フコトヲ認メテ、適當ナル改正案デアツテ、又其時機モ宜ヲ得タルモノト致シテ、之ヲ可決スベキモノナリト議決シタノデゴザリマス、是ガ其概要デゴザリマシテ、是ヨリ少

シク進ンデ細ニ御報告ヲ致シマス、耕地整理法ハ明治三十二年ノ制定デゴザリマシテ、三十二年ヨリ施行サレマシタ、段々一般ノ人ガ耕地整理ノ趣旨目的ヲ了解イタシマシテ、四十二年ノ改正後ハ耕地整理法ニ依テ開墾トカ、地目變換トカ、此法律ニ依テ施行スルコトガ出來ルヤウニナリマシタノデゴザリマシテ、耕地整理施行ノ範圍ハ餘程廣大ニナッテ參リマシタ、從フテソレダケノ效果ヲ舉ゲテ居ルノデゴザリマスガ、其耕地整理ヲ獎勵シテ其效果ヲ益、大ナラシメル爲ニ、此度改正案ヲ尙提出イタサレタノデゴザイマス、耕地整理法ハ唯今申述ペマシタ通リ、四十二年ニ改正セラレマシテ、僅々六箇年ヲ經過イタシテ居ルノデゴザイマス、然ルニ又モ改正ヲ要スルト申シマスルノハ、畢竟前ニ述ペマシタ通リ、四十二年ノ改正ノ後、非常ナ發達ヲナシマシタル爲ニ、政府ニ於テモ實際經驗ノ結果、此改正ノ必要ヲ感ゼラレタト云フコトデゴザイマス、政府ノ意思ハ素ヨリ土地ノ改良ヲ期シ、耕地整理ノ促進獎勵ヲナサムトスルニアルト云フ説明デゴザイマス、是ヨリ今少シク進ンデ改正ノ要點ヲ述ベマス前ニ、聊カ此改正ニ付テノ數字ニ關係スルコトヲ舉ゲテ實際ノ景況ヲ申上ゲマス、此耕地整理ノ設計認可ヲ得マシタ地區ガ、政府委員ノ説明サレマシタ所デハ、一月ノ末ノ調査デゴザイマスガ、ソレハ五百八百十九箇所デゴザイマス、……其地原ノ數ガ五千八百十九箇所デゴザイマス、ソレガ尙後ニ、此二月ノ末ニ調査ニナリマシタ表ヲ配付サレマシタガ、ソレニ依リマスルト、五千九百十一箇所、餘程一箇月ノ間デ、非常ニ地區ガ殖エテ居ル、其面積ハ一月ノ末ノ調査デハ三十三万五千四百町餘デアツタガ、ソレガ二月ノ末ノ調査ニナリマシタノハ三十三万九千三百五町餘ト、非常ニ面積モ殖エテ居リマス、之ヲ以テモ此發達ノ非常ナ速力ヲ以テ進ンデ居ルト云フコトガ分ルノデゴザリマス、工事完了ノ地區ハ、是ハ昨年八月末ノ調査デ二千七百五十九箇所、其面積ハ九万六千二百五十六町、大凡此前途ノ見込……耕地ニ對シテ整理ヲナスベキモノガ約八十万町歩、ソレカラ將來此變換開墾ノ見込ノモノガ尙マダ百五十五町歩、大凡面積ニシテ三万町歩増加致スヤウニナッテ居リマス、新ニ増加イタシマシタ段別石數ハ一段歩二石ノ割合、是等ヲ合セテ總テ八十八万九千四百二十二石ト云フモノニナリマス、前ニ述ベマシタル四十三万四千九百九十八石ト合シマスト、百三十二万四千四

百二十石ト云フ增收ニナルヤウニナッテ居リマス、大凡唯今工事中ノモノガ是ハ概略デゴザイマスガ、面積ガ二十四万三千町歩、唯今設計中ノモノガ二十六万九千ニナッテ居マセヌモノガ二十四万七千町歩、唯今設計中ノモノガ二十六万九千町歩ト申スコトデゴザイマス、ソレデ是ヨリ極ク要點ノ概略ヲ述ベマスコトニ致シマスガ、此度ハ此耕地整理ノ範圍ヲ擴メルト云フコトガ一ノ要點、尙利益ヲ増進スペキ特典ヲ整理施行者ニ與ヘルト云フコトガ第二、ソレカラ總テノ手續ヲ簡テノ不備ヲ補フト云フコト、即チ是マデハ組合長トカ何トカ云フモノノ制裁ガナカッタノヲ、此度ハ制裁ヲ加フルコトニ致シ、ソレカラ總テノ手續ヲ簡捷ニスルト云フコト等ガ、最モ此改正ノ不備ヲ補フ點デアル、ソレデ此第一ノ理由ノ耕地整理ノ範圍ヲ擴ムルト申シマスノハ、此度ハ耕地整理ト云フ範圍内ニ即チ水面埋立並ニ干拓、水ヲナクシテ跡ヲ開拓スル、耕地ニナスノ目的デ事業ヲナスノデゴザイマセウ、干拓ト申シマスノハ、即チ目下岡山縣ナドデ盛ニ施行ニナッテ居リマスヤウナコトデアラウト思ヒマス、湖海ノ水面ニマデ及ボシテ、埋立干拓ノ事モ皆此耕地整理ノ範圍内ニ入レルト云フコトガ、是マデトハ大ニ變リマシタノデゴザイマス、ソレカラ此開墾若クハ地目變換ニ對シテノ年限ヲ長ク致シマシテ、地味ノ熟セザル間ハ、尙年限ヲ延長スルト云フコトノ一ノ特典ガゴザイマス、其特典、利益ヲ進ムル點ニ於テ、現行ハ土地所有者デナケレバ耕地整理施行者若クハ其組合員タルコトハ出來ナカッタノデゴザイマス、然ルニ此度ハ地上權者、永小作權者、又ハ土地賃借權者、是等ノ者モ土地所有權者ト殆ド等シキヤウナ利害關係ノアルモノデゴザリマスルカラ、是等ノ者ハ土地所有者又ハ賃貸權者ノ承諾ヲ得マスレバ、是等ノモノモ亦耕地整理施行者、若クハ其組合員トナルコトヲ得ルノ便利ヲ與フルコトニナッテ居リマス、勿論是ハ登記ヲ經テ其資格ヲ明カニ致サナケレバナラヌノデアリマス、此免租年期ノ期限ヲ長クスルト云フコトガゴザイマス、是ハ耕地整理施行ニ依テ、其他其地區内ノ森林原野若クハ荒蕪地ヲ開拓イタシマシテ第一類地トナシ、又ハ國有ノ水面ヲ埋立テ若クハ干拓イタシマシテ民有地トナシマシタル時ハ、此埋立地又ハ干拓地ハ五十年以内、其他ノ土地ハ十年以内ノ耕地整理新開免租年期ト云フモノヲ許可イタシマス、但シ年期明ニ至リマシテ、地味尙熟成セズ、相當收穫ヲ得ナイト云フ場合ニハ、更ニ二十年以内年期ノ延長ヲ許可イタシマス、殆ド合セテ七十年ノ年期ノ延長ヲ與ヘルト云フコトニナリマスノデゴザリマス、斯様ナ特典ヲ與ヘラレマスルカ

ラ、是マデ現行法ノ地租條例ノ十六條ノ場合ト比較イタシマスレバ、餘程此耕地整理ノ方ト地租條例ノ方トノ免租ノ……免稅ノ特權ニ大ナル懸隔ガゴザイマシテ、地租條例デノ恩典ヲ被ルヤウナ譯ニハ參テ居リマセヌ、此度ノ改正ニ依テ大凡均衡ヲ保ツコトニナッタノデアリマス、此三點ガ改正理由ノ最モ重ナル要點デゴザイマス、其他ノ取扱上ノ簡捷ニナル、便宜ヲ圖ル、組合長以下ノ、是マデ不相當ナコトガアツテモ、少シモ制裁ヲ加ヘルト云フコトノ條ガナカッタノヲ、ソレヲ制裁ヲ加ヘル、斯ウ云フコトニナッテ居リマスノデ、取締モ能ク付キマスシ、耕地整理モ皆何レモ安心ヲシテ十分益、事業モ發達シテ參リマスコトニナリマス次第デゴザイマス、詰リ此制裁ハ唯今述ベマシタル通り、耕地整理ノ範圍モ餘程廣クナル、大キクナル、從ツテ大キナ地區ニ多額ノ資本ヲ投ジマシテ、大工事ヲナシマスモノガ段々殖エテ參タノデアリマス、之ニ伴ウテ自然或ハ不相當ノ行爲ガナイト云フコトハ保チ難イノデゴザイマシテ、ソレ故ニ事業ノ進行、成功ヲ圖ル上ニ於テ、最モ大切ナルコトトシテ、此取締ノ制裁ヲ付ケラレタノデアリマス、凡ソ今少シク精シク述ベタ伊ト存ジマスガ、何分會期切迫ノ今日デゴザイマスカラ、概要唯今ノ要點ヲ述べマシテ、誠ニ此耕地整理改正法案ハ國家ノ公益上、人民ノ便益、便利、又總テノ點モ能ク不備ノ點ヲ補ブテ整頓イタシマシタノデ、結構ナ改正案ト云フ、何レモ考ヲ以テ、全會一致ヲ以テ可決スペキモノト議決イタシマシタノデアリマス、ソレカラ此地租條例改正法律案、是ハ別ニ御報告申ス程ノ込入シタ理由モ何モゴザイマセヌ、是ハ地租條例ノ第四條ノ「左ニ掲クル土地ニ付テハ其地租ヲ免ス」ト云フ中ノ六號「鐵道用地、軌道用地」トゴザイマス、然ルニ今日此運河用地ト云フモノガゴザイマシテ、其性質ハ全ク公共ノ交通機關トナルベキ場所、用地デアリマシテ、鐵道軌道ト同様ノ性質ノモノデアリマス、然ルニ此運河ハ地租ヲ免ジテゴザイマセヌ、ソレ故ニ之ヲ免租地區ニ入レテ、軌道用地鐵道用地等ト同ジ恩惠ニ浴スルヤウニナリマシタノデゴザイマス、今一ツハ此耕地整理法改正ノ結果デ、「干拓」ト云フ文字ガ十六條ニ歸シタル土地ハ五十年以内ノ新開免租年期ヲ許可スト云フコトガ現行法ニゴザイマス、之ヲ官有ノ水面ヲ埋立テ又ハ干拓シト云フ、「埋立」ノ下ニ耕地整理法ノ改正ノ結果ニ依テ此「干拓」ト云フ文字ヲ挿入スルコトニナリマシ

タ、埋立又ハ干拓シ民有ニ歸セシ土地、是ダケノ改正デアリマシテ、外ニ理由ヲ述ベマス程ノモノデハゴザイマセヌ、是ハ無論全會一致ヲ以テ、別ニ格別質問等モナク、可決スベキモノト議決イタシタノデアリマス、兩案併セテ御報告イタシマス

○議長（公爵徳川家達君）採決ヲ致シマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長（公爵徳川家達君）過半數ト認メマス

○子爵鍋島直彬君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵一柳末徳君 贊成

○議長（公爵徳川家達君）直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君）御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君）兩案ノ第二讀會ヲ開キマス、兩案全部ヲ問題ニ供

○議長（公爵徳川家達君）兩案トモ全部、委員長ノ報告ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君）御異議ナイト認メマス、是デ第二讀會ハ終リマシタ

○谷森眞男君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵鍋島直彬君 贊成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君）直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存アリマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君）御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君）直チニ第三讀會ヲ開キマス、兩案トモ第二讀會ノ

決議通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君）御異議ナイト認メマス

○子爵曾我祐準君 此際議事日程ヲ追加サレマシテ、先刻豫算委員ニ審査ヲ託サレマシタ所ノ第三號大正三年度歲入歲出總豫算追加、第四號大正三年度歲入歲出總豫算追加、特第二號大正三年度各特別會計歲入歲出豫算追加、追第二號豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件、此四案ヲ直チニ議事ニ付セラレムコトヲ請求イタシマス

○議長（公爵徳川家達君）動議ハ賛成ヲ要シマス

○男爵田健治郎君 贊成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君）曾我子爵ノ議事日程追加ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長（公爵徳川家達君）過半數ト認メマス

○議長（公爵徳川家達君）曾我子爵ノ議事日程追加ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長（公爵徳川家達君）過半數ト認メマス

○議長（公爵徳川家達君）是ヨリ大正三年度歲入歲出總豫算追加案第三號、大正三年度歲入歲出總豫算追加案第四號、大正三年度各特別會計歲入歲出豫算追加案特第二號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件追第二號、會議ヲ開キマス

一大正三年度歲入歲出總豫算追加案（第三號）  
一大正三年度歲入歲出總豫算追加案（第四號）  
一大正三年度各特別會計歲入歲出豫算追加案（特第二號）  
一大正三年度歲入歲出豫算追加案（特第二號）  
一豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件（追第二號）  
右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審査シ總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正三年三月二十三日

豫算委員長子爵曾我祐準

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵曾我祐準君演壇ニ登ル〕

○子爵曾我祐準君 唯今議長ヨリ御宣告ニナリマシタル四案ヲ一緒ニ御報告申上ゲマス、總追加豫算ノ第三號、是ハ御承知ノ通リ金額モ大分澤山デゴザイマシ又事柄モ隨分澤山載ツテ居リマスガ、之ニ付キマシテハ委員會ニ於キ

マシテ種々ノ點ニ付テ質問ガゴザイマシタ、併シ別ニ此會期切迫ノ際ニ疎々申述ブル程ノ事モゴザイマセヌ、サウシテ總テ可決スペキモノト相成リマシタ、第四號ノ方ハ是ハ過日此議院デ通過イタシマシタ所ノ國稅ニ關係シマシタ自然ノ結果デアリマス、國稅徵收法ニ對シマシテノ自然ノ結果ヲ見タノデアリマス、是モ勿論議論ハゴザイマセヌ、ソレカラ特第二號ノ分ハ、是ハ朝鮮總督府ニ關係スル事デ、至ツテ僅バカリノ金額デアル、是モ異議ハゴザイマセヌ、追第二號ノ豫算外國庫ノ負擔トナルベキモノ、之ニ付キマシテハ東亞同文會ニ補助スル金、此東亞同文會ノ有様、其目的ナドノ質問ガアリマシテ、政府委員ハ詳ニ之ヲ説明セラレマシタ、第二ニハ南滿洲鐵道ノ件ニ付キマシテ、是ハ株主ニ對スル配當ヲ増スコト竝ニ社債二千万圓ニ付テノ保證ノコト、第三ニハ東洋拓殖株式會社ニ付キマシテ四千万圓ノ保證ノコト、之ニ付イテ質問ガアリ又詳ニ政府ハ答ヘラレマシタ、是又異議ハゴザイマセヌ、四案トモ原案ノ通リ可決スベキモノト、豫算委員會ニ於テハ可決イタシマシタ、尙残ツテ居リマスノハ二三案アリマスガ、是ハ未ダ法律トノ關係等モアリマシテ、今日ハ此四案ダケ議シマシタ、ソレデ此案ヲ議スルニ當ツテ一議員ガ申サレマスルノニ、ドウモ餘日ガナクナツテ斯ウ云フ案ヲドンヽ出サレテハ困ル、豫テ注意モ申シテ置イタノニ、斯ノ如キデハ審査ノ餘日ガナイ、盲判ト云フ譯ニナルカラ、ドウゾ後來ハ十分ニ注意シテ貴ヒタイト云フ尤モナル政府ニ向ツテ警告ヲ與ヘラレマシタ、國務大臣ハ其席ニ居ラレマセヌデアリマシタガ、大藏大臣ニ代ツテ政府委員ハ誠ニ不行届デアツタ、以後ハ注意ヲスルト云フコトデアリマシタ、ドウゾ諸君記憶シテ居リマシテ、來年若シ斯ウ云フコトガアツタナラバ、シッカリ申スベキコトデアラウト思ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 諸君ニ御諮リ致シマス、唯今豫算委員長ノ報告セラレマシタ豫算案四案トモ同時ニ問題ニ供シ、採決シテ御異議ゴザイマセヌカ  
○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、四案全部ヲ問題ニ供シマ  
「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、四案全部ヲ問題ニ供シマ  
ス、四案全部、豫算委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○子爵岡部長職君 議事日程ヲ追加サレテ、裁判所構成法中改正法律案並ニ辯護士法中改正法律案ヲ議事ニ上セラレムコトヲ希望イタシマス  
○子爵入江爲守君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 岡部子爵ノ議事日程追加ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ裁判所構成法中改正法律案並ニ辯護士法中改正法律案、第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告

○議長(公爵德川家達君) 右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

○議長(公爵德川家達君) 大正三年三月二十三日

右特別委員長 子爵岡部長職

貴族院議長公爵德川家達殿 辨護士法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正三年三月二十三日

右特別委員長 子爵岡部長職

貴族院議長公爵德川家達殿

〔子爵岡部長職君演壇ニ登ル〕

○子爵岡部長職君 裁判所構成法中改正法律案並ニ辯護士法中改正法律案ノ委員會ハ本日開キマシテ總テ異議ナク可決ヲ致シマシタノデゴザイマス、簡單ニ委員會ノ模様ヲ報告イタシマス、初メ當局大臣ヨリ段々説明ガアリマシテ又委員カラノ質問ガゴザイマシテ、此案ノ内容ノ大體ハ……即チ裁判所構成法中ノ方カラ申上ゲテ居ルノデ……判檢事登用ニ對スル所ノ試験ノ條項デアリマス、ソレカラシテ其次ニハ大審院長ノ親任ハ判事ヨリ親補スルト云

フコトト、檢事總長ヲ親補官トスルト云フコトガ是ガ重ナルコトデアリマス、裁判所ノ判檢事ニ任ゼラレルニハ試補トナリマシテカラ、一年六箇月ノ間實務ヲ修習シテ且考試ヲ經ルコトヲ要ス、「經タル」ト云フノヲ衆議院デハ確カ「經ル」ト致シタト存ジマス、「經ルコトヲ要ス」ト云フコトニ直ツテ居リマス、現行法ニ依リマスルト云フト、一年半實務ヲ修習シタル上尙試験ヲ行フト云フコトニナツテ居ル、今度試験ノミナラズ考試ヲ經ルト云フコトヲ附ケマシテ、品行其他總テノ資格ニ於テ十分ニ考試シテ、然ル後ニ本官ニ任ズルト云フコトニナリマシタ、念ラ入レマスルコトニナリマシタデス、ソレカラ試補ト申シマスノハ現行法ニ依リマスルト云フト、試験ガ登用試験デアツテ、試験ニ合格シタ者ハ數ヲ限ラテ登用ヲシ、即チ又其來年ニ至ツテハ登用サレナイ者ハ資格ヲ失ツテ居ルノデアリマス、今度ハ資格試験ニナリマシテ、假令登用サレナイデモ試験ニ合格シタル者ハ資格ヲ失ハナイト云フコトニナリマス、ソレカラシテ試験ヲ受ケマスルノニ特權ガゴザイマシテ、第六十五條、第六十五條ニ掲ゲテ居ルノハ、ソレニ當リマスルモノハ試験ヲ經ルニ及バズシテ試補ニ命ゼラレルコトヲ得ルコトニナツテ居リマス、即チ是ガ第六十五條、同條第二項ヲ削ルト云フコトガ一番主ナル所デ、即チ帝國大學ノ法科ヲ卒業イタシタル者ハ試験ヲ受ケズシテ試補ヲ命ゼラルルコトヲ得ルト云フコトニナツテ居リマシタ、之ヲ削除スルコトニナリマシテ、矢張リ試験ヲ受ケネバナラヌコトニナリマシタ、試験ノ制度ニ付キマシテハ別ニ勅令ヲ以テ定ムルコトニナリマシタノデ、此事ニ付キマシテ段々委員カラモ此法律ガ制定サルル後ニハ試験制度ハドウ云フコトニナルカ、今日ノ所デ政府ニ於テ調べ終タル所ハナイカト云フコトヲ段々質問ガアリマシタ、當局大臣ノ答ヘラレル所ニ依リマスルト、マダ具體的ニ取決メタト云フ程ニ進シテハ居ラヌケレドモ、大體ニ付テハ追々調査ヲ致シテ居ル、其目的トスル所ハ高等文官試験、外交官試験並ニ判檢事試験、是ハ成ルベク統一ヲ致シテ趣意ニ於テ成ルベク同様ナル基礎ニ基イタル規則ヲ制定スルト云フ考デアル、併シ其内容ノコトニ至ツテハ未ダ具體的ニ定ツタト云フマデニハナツテ居ラナイト云フコトデアリマス、之ニ付テハ委員カラモ段々希望モゴザイマシタケレドモ、是ハ爰デ報告ヲ致シマスルコトハ省キマス、又何カ御質問ニナリマスコトガゴザイマシタナラバ、ドウゾ當局者ヨリ説明ヲ御聽取アラムコトヲ希望イタシマス、次ニ大審院長ヲ親任判事ヨリ親補セラルルト云フコトニ付キマシテモ、別ニサシタル質問モアリマセズ、

又檢事總長ヲ親補スルト云フ、是モ矢張リ大審院長ヲ親任判事ヨリ親補ニスルト云フノニ伴フ所ノ釣合デアリマス、此事ニ付キマシテ別ニ御報告イタシマス程ノ質問等モアリマセヌ、是ハ他ノ親任官トノ釣合上、現行ノ儘デハ其當ヲ得ナインデアルカラ、是ハ今度ノ案ノ如クニナルベキガ至當デアルト云フ當局ノ説明デモアリ、之ニ對シテ委員ニ於テモ何ノ異議モナカッタノデアリマス、又附則ニ付キマシテ、是ハ二條アリマスケレドモ是ハ別ニ申上ゲマセヌデモ能ク御覽ニナリマスレバ、御分リニナルト思ヒマス、ソレデ裁判所構成法中改正法律案ニ付ケ改正ノ必要カラシテ出マシタ案デアリマス、是法中改正法律案ハ一ノ修正説モナク、全部全會一致ヲ以チマシテ可決イタシマシタ、辯護士法中改正法律案モ是モ試験問題ダケデアリマス、矢張リ裁判所構成法中改正法律案ニ付ケ改正ノ必要カラシテ出マシタ案デアリマス、是モ委員ニ於キマシテ何ノ異議モナク可決ヲ致シマシタ譯デゴザイマス、極クアラマシデアリマスガ、御報告ヲ申上ゲマスノハ先づ是ニ止メテ置キマス、尙御質疑等ガゴザイマスレバ當局ノ方へ御尋ヲ願ヒマス  
○議長(公爵德川家達君) 唯今委員長ノ報告セラレマシタ兩案トモ一括シテ議題トシテ採決イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○子爵岡部長職君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ……

○伯爵大原重朝君 賛成

○男爵田健治郎君 賛成

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開クニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ兩案ノ第二讀會ヲ開キマス、兩案全部ヲ問題ニ供シマス、兩案トモ委員長ノ報告ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵岡部長職君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○男爵田健治郎君

○子爵青木信光君 賛成

「其他賛成」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開クニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、兩案トモ第二讀會ノ

決議通り御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

午後三時四十六分休憩

午後四時十五分開會

○議長(公爵徳川家達君) 休憩前ニ引續キマシテ開會イタシマス

○伯爵吉井幸藏君 議事日程ヲ追加サレマシテ、肺結核療養所ノ設置及國庫

補助ニ關スル法律案ノ御審議ヲナサレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵柳澤保惠君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 吉井伯爵ノ議事日程追加ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ肺結核療養所ノ設置及國庫補助ニ關スル法

律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告  
肺結核療養所ノ設置及國庫補助ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正三年三月二十三日

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵吉井幸藏君演壇ニ登ル〕

右特別委員長  
伯爵吉井幸藏

○伯爵吉井幸藏君 此法案ノ委員會ノ結果ヲ御報告イタシマス、此法案ハ肺結核豫防上必要アル時ハ、肺結核患者ニシテ療養ノ費用ナキ者ヲ收容セシムル爲ニ、人口三十万以上ノ市ニ對シ、療養所ノ設置ヲ主務大臣が命ズルコトヲ得ト云フノガ趣意デアリマス、近來肺結核患者ノ增加ガ非常ニアリマシテ、成ルベク速ニ此豫防法ヲ立てナケレバ、將來ニ於テ非常ニ國民ノ衛生上ニ害ヲ及ボスト云フコトカラ、此法案ヲ提出サレタ譯デアリマス、サウデアリマスカラ第一ニ六都市ニ此療養所ヲ作ル、東京、大阪、神戸、横濱、名古屋、京都ト云フ此六都市ニ、第一ニ療養所ヲ六箇年ノ経畫デ作ルト云フ経畫デアリマス、委員會ニ於キマシテハ段々質問モゴザイマシタガ、別ニ意見モゴザイマセズ、原案ノ通リ全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ次第デゴザイマス、唯一ツ委員ノ中カラ政府ニ注意ガアリマシタ、希望ガアリマシタ、ソレハ三十万以上ノ都市ノミナラズ、其外ニ向ツテモ尙斯様ナ設備ヲ段々サレルヤウニ、此恩恵ヲ全國ニ均霑スルヤウニセラレムコトヲ希望イタシマシタ、其外何等委員會ニ於キマシテハ意見モゴザイマセズ、全會一致デ可決シタ譯デアリマス、ドウゾ御贊同ラ……

○議長(公爵徳川家達君) 採決イタシマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○伯爵吉井幸藏君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵大原重朝君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開クト云フ吉井伯爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマ

ス、全部委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

右特別委員長  
伯爵徳川 達孝

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○伯爵吉井幸藏君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵大原重朝君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通り

デ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵徳川達孝君 本員ハ日本勸業銀行法中改正法律案並ニ農工銀行法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵吉井幸藏君 賛成

○男爵田健治郎君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 唯今徳川伯爵ノ申述ベラレマシタ日本勸業銀行法中改正法律案並ニ農工銀行法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開ク爲ニ、議事日程追加ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ唯今議長ノ述ベマシタ兩案ノ第一讀會ノ續

ヲ開キマス、委員長報告

日本勸業銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正三年三月二十三日

貴族院議長公爵徳川家達殿

農工銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正三年三月二十三日

右特別委員長  
伯爵徳川 達孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

伯爵徳川 達孝

〔伯爵徳川達孝君演壇ニ登ル〕

○伯爵徳川達孝君 日本勸業銀行法中改正法律案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報道申シマス、會期モ將ニ盡キムトシ、本日ノ會議モ終ラムトスル時ニ當リ、山鳥ノ尾ノ長シク御報告申スコトハ却テ

如何ト存ジマスルカラ、極メテ簡単ニ御報告申シマス、第一ノ方ノ日本勸業銀行法中改正法律案ハ御承知ノ通リニ、第十四條ノ三項ノ次ニ、輕便鐵道財團

ト云フモノヲ一ツノ不動產ト看做シテ、ソレニ勸業銀行カラ放資スルコトガ

出來ルト云フ改正デゴザイマス、此案ハ申スマデモナク衆議院ノ提出デゴザ

イマスルガ、政府ノ意向ヲ承リマシタガ、本案ノ改正ハ時機ニ適スルモノデ

モアリ、地方ノ交通ヲ助ケ農業ノ發達ヲ助ケルモノデアルカラシテ、同意ス

ルト云フコトデゴザイマス、委員會ニ於キマシテモ種々質問ガゴザイマシタ

ガ、本案ヲ適當ト認メマシテ全會一致ヲ以テ可決ニナッタ次第デゴザイマス、

是ダケガ日本勸業銀行法中ノ改正法律案ノ御報告デアリマス、農工銀行ノ方

ノコトハ、改正ノ理由ハ三點デゴザイマシテ、是マデ株式金額ハ二十圓デアッ

タ所ヲ五十圓ニスル、二十圓デハ餘リ少クアフテ應募スル人モ多クアルカラ、

今日ノ經濟狀態ニ於テハ五十圓ニ増シタラ宜カラウ、併ナガラ勿論是ハ大藏

大臣ノ認可ヲ得ナケレバナラスト云フコトガ一ツト、第二ハ營業區域ヲ擴メ

テ、一地方ニ限ラズシテ各地方ニ於テモ株主トナルコトガ出來ル、併ナガラ重役即チ取締役及監査役等ハ、其營業區域内ニ住スルコトヲ要スルトスウ云フ箇條ガ一ツト、第二ハ府縣郡市町村ノ下ニ市制第六條ノ規定ニ依テ指定セラレタル市ノ區モ、一ツノ株主トナルコトヲ得ルト云フ此三點デアリマシ

テ、是亦政府ニ於テハ時機ニ適スルモノトシマシテ同意ヲセラレタ、委員會ニ於キマシテモ種々質問ガゴザイマシタガ、是亦全會一致ヲ以テ可決ニナツタ次第デゴザイマス、委シク申上ゲタウゴザイマスケレドモ、大分時間が切迫故ニ極ク摘ンテ、兩案トモ全會一致ノ可決ノ御報告ヲ申上ゲマス、ドウゾ諸君ニ於カセラレマシテモ、委員會ノ決議通り御賛成ヲ願ヒマス、序ニ申上ゲマスガ、兩案トモ簡單デゴザイマシテ、別ニ修正若クハ御議論等モゴザイマヌケレバ、兩案トモ讀會省略ヲ以テ直チニ可決アラムコトヲ希望イタシマス

- 伯爵吉井幸藏君 賛成
- 伯爵柳原義光君 賛成
- 伯爵奥平昌恭君 賛成
- 伯爵林博太郎君 賛成
- 伯爵松平直之君 賛成
- 男爵田健治郎君 賛成
- 男爵武井守正君 賛成
- 下條正雄君 賛成
- 子爵榎本武憲君 賛成
- 伯爵萬里小路通房君 賛成
- 〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕
- 江木千之君 本案ニ付テチョット一言イタシタウゴザイマス
- 議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス
- 江木千之君 此農工銀行法中改正案ニ付キマシテハ、農工銀行ノ株券ヲ營業區域外ノ者ニ於テ所有スルコトヲ許スト云フコトハ、地方殊ニ田舎ニ於テハ餘程懸念スルコトガアルデアラウト考ヘルノデアリマス、此點ニ付テハ本院ノ議員ノ中ニ於テモ餘程懸念サレル向モアルヤウデアリマスケレドモ、若シ時間ガ許スナラバ、茲ニ相當ノ改正ヲ加ヘタラ宜シカラウトハ考ヘルノデアリマス、相當ノ改正トハ地方ニ於テ營業區域外ノ者ニ株券ヲ所有サシテ宜シイト云フ點ハソレニ任ス、又之ニ懸念ノアル所ハソレヲ許サヌト云フコトニ株主ニ於テ決議シテ、之ヲ定款ニ加ヘルト云フコトニ致シマシタナラバ、雙方ノ望ヲ達スルコトガ出來ル譯アリマシテ、是等ハ至當ノ修正ニアラウト考ヘマスルガ、併ナガラ今日ハ時機愈、切迫イタシテ居リマスノデ、是等ノ

○議長(公爵徳川家達君) 德川伯爵ノ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 兩案トモ委員長ノ報告ニ御異存ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十六ヨリ第三十四マデ請願、會議

〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ載錄ス〕

意見書案

### 姫路城西ノ丸保存ノ件

兵庫縣姫路市本町平民會社員丸山芳介外三十四名呈出

右ノ請願ハ政府ハ明治四十三年度ニ於テ國費ヲ以テ姫路城ヲ修繕セラレタルモ該修繕ハ未西ノ丸ノ一區劃ニ及ハス該部ハ爲ニ日日ニ頽廢ニ歸セムトスノ如キハ啻ニ外觀ノ美ヲ損フノミナラス歴史上重要ナル記念物ヲ滅却スルノ虞アルモノニシテ甚遺憾ナルヲ以テ適當ナル修補ヲ加ヘ之ヲ千載ニ保存セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正三年 月 日

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

貴族院議長公爵徳川家達

意見書案

島根縣知井宮村ニ郵便局設置ノ件

島根縣簸川郡知井宮村平民農山本厚太郎外十二名呈出

右ノ請願ハ島根縣簸川郡知井宮村ハ山陰本線知井宮停車場ノ所在地ニシテ

商業取引殷盛ニ貨客ノ出入頻繁ナルヲ以テ村内ニ郵便電信ノ設備ヲ望ムコト切ナルモノアルニ依リ曩ニ之ヲ施設セラレムコトヲ議院ニ請願シ採擇セ

ラレシモ未其ノ運ニ至ラナルハ遺憾ナルヲ以テ同村ニ郵便局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ

議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正三年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

意見書案

香川縣圓座村ニ郵便局設置ノ件

右ノ請願ハ香川縣圓座村ハ一小市街ヲ成シ交通ノ要衝ニ當リ貨客ノ

出入夥シク各種ノ產業盛ナリ隨ヒテ郵便物ノ發著及郵便貯金甚シク增加シタルニモ拘ラス同村ニ之カ機關タルヘキ郵便局ノ設置ヲ見サルハ地方人民

ノ最不便トスル所ナルヲ以テ同村ニ郵便局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正三年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

意見書案

徳島縣大代郵便局ニ電信電話開設ノ件

徳島縣板野郡大津村平民商東太助外七名呈出

右ノ請願ハ徳島縣板野郡大津村ハ人口多ク各種ノ產物ニ富ミ且官衙學校及數箇ノ工場ノ所在地ニシテ電信電話ノ必要ヲ感スルコト切ナルモノアリト雖之カ施設ヲ闕キ遠ク撫養郵便局ニ依リテ所要ヲ辨セサルヘカラサルカ如

大正三年 月 日

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

貴族院議長公爵德川家達

キハ畢竟該地方發達ノ實況ニ伴ハナルヲ以テ同村大代郵便局ニ於テ電信電話ノ取扱ヲ開始セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正三年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

意見書案

第二辰丸不法抑留ニ因ル損害賠償ニ關スル件

兵庫縣武庫郡鳴尾村株式會社辰馬商會社長辰馬半右衛門呈出

右ノ請願ハ請願人ハ曩ニ第二辰丸ノ不法抑留ニ因ル損害賠償ニ關シ議院ニ請願シ議院ノ採擇ヲ得タルニ拘ラス未賠償ヲ得ルニ至ラナルハ請願人ノ甚迷惑トスル所ナルヲ以テ政府ヲシテ速ニ適當ナル解決ヲ爲ナシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正三年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

意見書案

雄物川改修工事速成ノ件

秋田縣河邊郡種平村長加藤末五郎外十二名呈出

右ノ請願ハ雄物川ハ曩ニ第一期川トシテ改修工事ヲ施行セラルルコトニ定メラレタルモ未施工ノ時期ニ達セス然ルニ同川ハ頻年氾濫シテ沿岸地方ノ被害妙カラス就中秋田縣河邊郡種平村ノ如キハ被害ノ程度甚シキヲ以テ之カ水害ヲ除ギ且運輸ノ便ヲ開ク爲大正三年度ニ於テ同川及河口ノ改修工事ニ着手セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正三年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

## 意見書案

四國鐵道中高松小島間速成ノ件

香川縣香川郡佛生山町平民麥稟眞田業中條陸郎外百五十四名呈出

右ノ請願ハ香川縣高松ヲ起點トシ徳島縣脇町ヲ經テ小島驛ニ至リ讃岐線ト  
徳島線トヲ連絡スルノ鐵道ヲ敷設セラルハ他ノ連絡線ヲ取ルニ比シテ工  
費ヲ節スルコト多キノミナラス沿線地方ノ開發上最有利ナルハ政府ノ夙ニ  
之ヲ認メラル所ナルヲ以テ速ニ之カ完成ヲ期セラレタシトノ旨趣ニシテ  
貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ  
依リ別冊及送付候也

大正三年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

意見書案  
上磯江差間鐵道速成ノ件

北海道檜山郡江差町長永瀧松太郎呈出

右ノ請願ハ北海道上磯ヨリ木古内ヲ經テ江差ニ至ル鐵道ノ敷設ニ關シテハ  
曩ニ議院ニ請願シテ採擇セラレ政府亦之カ必要ヲ認メラレタルモ未起工ノ  
運ニ至ラス斯ノ如キハ財政上ノ關係ニ由ルモノト信スト雖渡島半島地方ニ  
於テハ產業上ノ不便不利渺カラナルヲ以テ速ニ工事ニ著手セラレタシトノ  
旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第  
六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正三年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

貴族院議長公爵德川家達

## 意見書案

北海道檜山郡江差町長永瀧松太郎呈出

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

## 意見書案

軍人恩給法規中改正ノ件

三重縣多氣郡五ヶ谷村平民農佐孝左幸藏外十八名呈出(三通)

廣島縣廣島市上柳町後備陸軍步兵中佐千秋勸外三百三名呈出

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

## 意見書案

上越鐵道速成ノ件

群馬縣利根郡沼田長三浦德充外三十一名呈出  
右ノ請願ハ上越鐵道ノ敷設ハ東京及北越地方トノ連絡上既設ノ鐵道ニ比シ

テ遙ニ捷路ヲ爲スノミナラス軍事上並産業上一日モ忽セニスヘカラサルモ  
ノナルヲ以テ速ニ之カ工事ニ著手セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意  
ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送  
付候也

大正三年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

右ノ請願ハ明治四十四年法律第五十九號ヲ以テ軍人恩給法ヲ改正セラレタ  
ルモ改正ノ恩典ハ同法制定以前ニ現役ヲ離レタル者竝死歿シタル軍人ノ遺  
族ニ及ハス請願人等ハ日ニ窮困ニ陥ルヲ以テ同法附則第二項及第三項ヲ改  
正シ請願人等ヲシテ齊シク同法ノ恩典ニ浴セシメラレタシトノ旨趣ニシテ  
貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ

依リ別冊及送付候也

大正三年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

羽越沿岸線速成ニ關スル件

秋田縣秋田市東根小屋町士族長山武治外三名呈出

右ノ請願ハ秋田縣秋田ヨリ新潟縣新發田ニ至ル羽越沿岸鐵道ノ速成ハ產業  
ノ發達上最必要ナリト雖之カ工事ヲ新發田ヨリ施行セラルルニ過キナルハ  
寛ニ望洋ノ歎ヲ發セシムルノミナラス船川鐵道ノ敷設ト及船川港修築トハ  
未以テ交通上ノ必要ニ應スルニ足ラサルヲ以テ之カ覗ヲ補フ爲速ニ秋田市  
ヨリモ之カ工事ニ著手セラレ速成ヲ期セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ  
願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊  
及送付候也

大正三年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

右ノ請願ハ群馬縣高崎市ヲ起點トシ新潟縣南魚沼郡北魚沼郡及古志郡ヲ經  
テ長岡市ニ至ル上越鐵道ノ敷設ハ東京ト北越地方トノ間ニ捷路ヲ作ルノミ  
ナラス沿線地方ノ發達上及軍事上最必要ナルヲ以テ速ニ之ヲ施工セラレタ  
シトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議  
院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正三年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

羽越沿岸線速成ニ關スル件

秋田縣由利郡龜田町長鈴木順吉呈出

右ノ請願ハ秋田縣秋田ヨリ新潟縣新發田ニ至ル羽越沿岸鐵道ノ速成ハ沿線  
地方ノ開發上最必要ナリト雖之カ工事ヲ新發田ヨリ施行セラルルニ過キサ  
ルハ寛ニ望洋ノ歎ナキ能ハス而シテ物資豊富ナル秋田縣由利郡ノ發達ハ特  
ニ之カ速成ニ俟タサルヘカラサルヲ以テ速ニ秋田市ヨリモ起工セラレ同市  
ト本庄町トノ間ヲ完成シ以テ全線ノ敷設ヲ速ナラシメラレタシトノ旨趣ニ  
シテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五  
條ニ依リ別冊及送付候也

大正三年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

意見書案

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

意見書案

雄物川改修工事速成ノ件

秋田縣南秋田郡旭川村長石川巳之吉外二百九十八名呈出(三通)

右ノ請願ハ雄物川ハ曩ニ第一期川トシテ改修工事ヲ施行セラルルコトト定

メラレタルモ未施工ノ時期ニ達セス然ルニ同川ハ頻年氾濫シテ沿岸地方ノ被害尠カラス就中秋田縣南秋田郡旭川村ノ如キハ旭川ノ逆流横溢シ被害ノ程度一層甚シキヲ以テ水害ヲ除キ運輸ノ便ヲ開ク爲本年ノ如キ地方凶歉ノ時ニ於テ同川及河口ノ改修工事ニ著手セラレ兼ネテ窮民ノ救濟ニ資セラレ

タシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ

議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正三年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

意見書案

雄物川改修工事速成ノ件

秋田縣河邊郡戸米川村長石井弟助呈出

右ノ請願ハ雄物川ハ曩ニ第一期川トシテ改修工事ヲ施行セラルコトト定メラレタルモ未施工ノ時期ニ達セス然ルニ同川ハ頻年氾濫シテ沿岸地方ノ被害専カラス就中秋田縣河邊郡戸米川村ノ如キハ被害ノ程度甚シキモノアルヲ以テ水害ヲ除キ運輸ノ便ヲ開ク爲本年ノ如キ地方凶歉ノ時ニ於テ同川及河口ノ改修工事ニ著手セラレ兼ネテ窮民ノ救濟ニ資セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ

大正三年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

意見書案

雄物川改修工事速成ノ件

秋田商業會議所會頭佐野八五郎呈出  
右ノ請願ハ雄物川ハ改修工事ヲ施行セラルコトト定メラレタルモ未施工ノ時期ニ達セス然ルニ同川ハ近時年々氾濫シテ沿岸地方ノ被害専カラス就

中秋田縣秋田市ニ於テハ被害ノ程度甚シキヲ以テ水害ヲ除キ運輸ノ便ヲ開ク爲本年ノ如キ地方凶歉ノ時ニ於テ同川及河口ノ改修工事ニ著手セラレ兼

意見書案  
德島縣下郵便線路改正並出合郵便局設置ノ件

德島縣三好郡三繩村平民農西舛外十九名呈出

右ノ請願ハ德島縣三好郡三繩村ハ山間ノ大村ニシテ郵便物ノ數日ニ三百ヲ下ラス而シテ同村ニ在ル三繩郵便局ハ村ヲ中斷スル祖谷川ノ激流ヲ以テ此ノ不便ヲ岸トノ交通ヲ脅カサレ殊ニ出水アルヤ屢々音信不通ニ陷ルヲ以テ此ノ不便ヲ除ク爲村内字出合ニ三等郵便局ヲ設置セラレ及三繩郵便局ヨリ美馬郡西祖谷村重末郵便局ニ至ルノ郵便線路ハ舊來ノ迂路ヲ廢シ新設ノ道路ニ依ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ

大正三年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

○議長(公爵徳川家達君) 是等ノ請願ハ請願委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔東久世書記官朗讀〕  
是ヨリ報告ヲ致サセマス

本院ハ大正三年度歲入歲出總豫算案兩院協議會ノ成案ヲ可決セリ因テ議院法第五十六條ニ依リ及送付候也

大正三年三月二十三日

貴族院議長公爵徳川家達

衆議院議長奥繁三郎

○議長（公爵徳川家達君）此際御異議ガアラセラレマセヌケレバ成案ノ會議ヲ開キタイト考ヘマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君）協議會議長二條公爵ノ登壇ヲ望ミマス

大正三年度歲入歲出總豫算案

右別冊ノ通兩院協議會成案成立セリ依テ及報告候也

大正三年三月十九日

大正三年度歲入歲出總豫算案兩院協議會成案

公爵二條基弘  
貴族院議長公爵徳川家達殿

大正三年度歲入歲出總豫算案兩院協議會成案

衆議院議決案ノ通トス

〔公爵二條基弘君演壇ニ登ル〕

○公爵二條基弘君是ヨリ兩院協議會ニ付テノ御報告ヲ致サウト思ヒマス、併シ時期切迫ノ今日デゴザイマスルカラシテ、又兩院協議會ノ精細ノ事ハ皆様速記録ニ於テ御承知ノコトト存ジマスルカラシテ、ソレ等ノ事ハ皆速記録ニ讓ルト致シマシテ、單ニ協議會ニ於キマスル經過竝ニ結果ダケヲ簡単ニ御報告シヤウト存ジマス、去ヌル十六日ニ協議委員ハ選定サレマシテ、當日直チニ此協議委員ハ寄合ヒマシテ、其席ニ於テ議長副議長ノ選舉ヲ行ヒマシタ、ソレデ不肖基弘ガ議長ニ選バレマシテ、柳澤伯爵ガ副議長ニ選バレマシタ、ソコデ直チニ同日ニ衆議院トノ會合ガ出來ルカ否ヤニ付キマシテ衆議院ノ方へ問合セマシタ、所ガアチラニ都合ガアリマシテ十九日ニシテ欲シイト云フ

コトデアリマシタ、ソコデ十九日ニ愈、開クト云フコトニ定メマシタ、デ其十九日ハ午後一時五十四分ニ兩院ノ會議ヲ開クコトニナリマシタ、デ當日ハ其席ニ於キマシテ議長ノ抽籤ヲ致シマシタ所、議長ハ貴族院ノ方ガ當日ナルコトニナリマシタ、ソレヨリ質問ニ移リマシテ、衆議院ノ方ヨリ貴族院ノ四千萬圓削除ノ事ニ付キマシテ、其理由ヲ聽キタイト云フコトデアリマシタ、貴族院ヨリソレヲ申スガ先キニ衆議院ヨリ三千萬圓ノ削除修正ニナッタコトニ付テノ理由ヲ承ラウト云フコトデ、衆議院ノ方モ之ニ同意シマシテ、直チニ其理由ヲ述ベラレマシタ、依テ貴族院ノ方モ亦修正案ノ趣意ノ在ル所ヲ精細ニ申述べマシタ、ソレヨリ續々ト質問ノ交換ガ始リマシタ、併ナガラ其質問

ノ進行スルニ付テ、ドウモ雙方共ニ相讓ルト云フコトノ見込ガアリマセナンダ爲ニ、衆議院ノ方ヨリ一時休憩ヲ申出デラレマシタ、依テ貴族院ノ方デモ之ヲ承諾イタシマシタ、約一時二十分間ホド經チマシテ復再ビ會議ヲ開キマシテ、其席ニ於キマシテ衆議院ノ方ヨリ小委員ヲ選ンデ懇談ヲ致シタイト云フ要求ガゴザイマシタ、ソレデ貴族院モ亦之ニ應ジマシテ直チニ其席ニ於キマシテ兩院三名ヅツノ小委員ガ出來マシタ、直チニ此小委員ノ相談會ガ開カラマシタ、其結果、凡ソ四十分間モ掛リマシタカ、後復再ビ會議ヲ續ケルコトニナリマシテ、其席ニ於キマシテ衆議院ノ方ヨリ、今日茲ニ於テ豫算ノ不成立ヲ見ルノハ誠ニドウモ悲シムベキコトデアルカラシテ、成ルベク一ノ成案ヲ見出シタイト思ウテ小委員會ヲ請求ヲシテ懇談ヲシテ見タ所ガ、ドウモ其餘地ヲ見出スコトガ出來ヌノハ甚ダ殘念デアル、依テ直チニモウ此所ニ於テ討論ニ移ルコトニシタイト云フコトデ、直グニ討論ニ移リマシテ、衆議院貴族院兩院共ニ各二名ヅツノ賛成反對ノ討論ヲナシマシテ、此終リマシタ所デ、モウ早討論モ盡キタト云フコトニナリマシタ故ニ、直チニ採決ヲ致シタ譯デアリマス、デ是ハ規則ニ依リマシテ無記名投票ヲヤリマシタ、出席總員ハ議長ヲ除キマシテ十九名デアリマシテ、ソレデ白票ヲ投ジタ者ガ十名、黒票ヲ投ジタ者ガ九名ト云フコトデ、貴族院議決案ノ方ハ採決ニナリマゼズ、衆議院議決案ノ方ヲ先キニ採リマシタ爲ニ、遂ニ衆議院ノ方ノ案ガ可決サレタ譯デアリマス、大體協議會ノ經過竝ニ結果ニ付キマシテ簡單ニ申シマスレバ右様ノ次第デアリマスル、此段ヲ御報告申シマス

○議長（公爵徳川家達君）通告ニ依リマシテ登壇ヲ促シマス……曾我子爵〔子爵曾我祐準君演壇ニ登ル〕

○子爵曾我祐準君 諸君、本案ハ唯今兩院協議會議長二條公爵ノ報告ノ通り、僅ニ一票ヲ以テ交渉會ニ於テ敗レマシタ、貴族院案ハ敗レマシタ、詳シタ云ヘバ籤引デ敗レタモ同様デス、公爵閣下ガ議長ノ籤ヲ引カレマシタニ依テ九票ニナリマシタ此方ハ……向ウハ議長ヲ取ラヌニ依テ十票デアリマス、斯ノ如クシテ敗レマシタ、然ルニ此案ハ既ニ本貴族院ニ於テハ最早疾ウヨリ定タル所ノ院議……院議ト云フモノガアリマス、其院議ヲ以テ我モ勿論協議會ニ行キマシタケレドモ、不幸ニシテ右ノ如ク敗レマシタ次第デアリマス、最早此案ニ付テ彼是レ申スコトハゴザイマセヌ、斯ノ如キ場合ニ在テハ誠ニ不成立ハ好ミマセヌ、好ミマセヌケレドモ斯ノ如クナツタ以上致方ハアリマセ

スカラ、諸君ト共ニ大多數ヲ以テ此案ニ反対セムト欲スル者デアリマス、ドウカ諸君大多數ヲ以テ御賛成ヲ願ヒマス、或ハ豫算ノ不成立ハ國家ノ爲ニ甚ダ宜シクナイ、斯ノ如キコトヲ貴族院ニ負ハセムト欲スル者ガアリマス、併ナガラ我ニハ衆議院ガ之ヲ容レタラバ立派ニ出來ル、出來ルト云フコトヲ知テ居ル、衆議院ガ之ヲ容レタラバ、立派ニ此案ガ成立スルコトハ分ッテ居ル、

衆議院ガ容レナイ爲ニ、海軍ノコトニ於テモ、我ニ即チ貴族院デ削ッタヨリモ、ヨリ以上ノ不便ヲ感ズルコトハ明カナ次第デアル、誠ニ好マシクナイケレドモ、今申シタ通リデアリマスカラ、院議ヲ重ンジマシテ反対ヲ致シマス○議長(公爵徳川家達君) 法學博士石渡敏一君

〔石渡敏一君演壇ニ登ル〕

○石渡敏一君 衆議院ヨリ移送ニナリマシタル協議會ノ成案ハ、委員諸君ノ御盡力ニ依テ成立ツタモノデモアルシ、且至極穩當ナルコトデアリマシテ、是ガ成立チマスレバ、國家ノ爲ニ慶事ト存ジマスカラ、私ハ此際委員諸君ニ深ク御禮ヲ申シマスルト共ニ……

〔子爵曾我祐準君「籤引ニ御禮ヲ言ヒナサイ」ト述フ〕

○石渡敏一君 議院ニ於テハ前議ヲ翻シテ、サウシテ大多數ヲ以テ……

○議長(公爵徳川家達君) 成ルベク他人ノ演説ヲ妨害ノナイヤウニ望ミマス○石渡敏一君 大多數ヲ以テ可決セラレムコトヲ私ハ希望シマス、唯今曾我子爵カラ段々成立ノ御話ガアリマシタケレドモ、今更ソーンナコトヲ申シタ所デ追付イタ話デナイト思ヒマス、此場合デアリマスカラ反駁モ何モ加ヘマセヌ、唯贊成ヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 公爵徳川慶久君

〔公爵徳川慶久君演壇ニ登ル〕

○公爵徳川慶久君 唯今衆議院カラ送付ニナリマシタ案ニ付キマシテ、私ハ是ガ院議トナル前ニ於キマシテハ、此二ツノ理由ニ豫算ヲ結付ケタ云フコトハ甚ダ遺憾ニ考ヘテ居ル、自ラ之ニ絶對ニ反対ヲシタ一人デアリマス、併ナガラ最早貴族院ノ院議トナル前ニ於キマシテハ反対ヲシマシタケレドモ、

貴族院ガ一つノ意思トシテ發表シタ以上ハ最早是ハ貴族院ノ意思デアル、衆議院ニ對スル貴族院ノ意思デアリマス、私ハ茲ニ院議ヲ尊重シテ貴族院ノ多數ノ意思ニ從フコトハ當ニ然ルベシト考ヘマス、一言簡單ニ此點ヲ申述べマス

〔國務大臣伯爵山本權兵衛君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵山本權兵衛君) 諸君唯今議題トナリマシタル協議會ノ決議ノ案ニ對シマシテ、一言申述ベテ諸君ノ御判断ニ想ヘタイト思フノデアリマス、最早大勢定リマシタ時ニ際シマシテ、多々論辯スルノ必要ヲ認メナイト存ジマス、屢々海軍補充經畫ニ對シマシテハ、海軍大臣並ニ本大臣ヨリ言明イタシタガ如ク、若シ不幸ニシテ豫算不成立ニ相成リマシタル曉ニハ、國防上ニ對スル所ノ大闕陷ハ申スマデモナク、諸般ノ設備ニ關ハリマス所ノ經畫モ、亦從ツテ國務ヲ遂行スル上ニ對シマシテモ、多大ノ困難ヲ感ジマスルコトハ申スマデモゴザイマセヌ、殊ニ海軍補充經畫ニ對シマシテハ、太平洋上其他此近海ニ對シマスル所ノ海軍力ノ均衡ヲ保ツ上ニ對シマシテ、我國家ノ前途ニ對シテ多大ノ困難ヲ感ズルコトハ、諸君モ皆我ニト御同感デアラウト存ズルノデアリマス、此場合ニ際シマシテハ、院議尊重ハ申スマデモゴザイマセヌ、固ヨリ憲政ノ運用上ニ付キマシテハ、内閣モ亦共ニ此大責任ヲ有シマスルノデゴザイマス、此三者相集ツテ共ニ胸襟ヲ披イテ國運ノ伸張ニ隨伴スルコトハ、是モ必要ト考ヘネバナラヌノデアリマス、願ハクハ此場合ニ於キマシテ賢明ナル諸君ノ御判断ニ懇ヘ、協議會ノ決議ノ通り御賛成アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ御發議モナイト認メマスカラ採決ヲ致シマス、衆議院ヨリ送付セラレマシタル兩院協議會ノ成案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵徳川家達君) 少數ト認メマス、故ニ成案ハ否決セラレマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 詔勅ガ降リマシタカラ、御傳達ヲ致シマス

總員起立

別紙詔書及傳達候也

大正三年三月二十三日

貴族院議長公爵徳川家達殿  
内閣總理大臣伯爵山本權兵衛

朕帝國憲法第七條ニ依リ三月二十三日ヨリ二十五日迄三日間帝國議會ノ停會ヲ命ス

御名　御璽

大正三年三月二十三日

内閣總理大臣　伯爵山本權兵  
海軍大臣　男爵齋藤  
内務大臣　原  
外務大臣　男爵牧  
農商務大臣　山  
大藏大臣　野  
司法大臣　博士奥  
陸軍大臣　高  
文部大臣　元  
遞信大臣　造  
大楠　瀬　幸  
田　橋　義  
本　伸　達  
是　是　雄  
肇　人　顯  
清　敬　衛  
人　顯　實

〔一同敬禮〕

○議長（公爵徳川家達君）　本日ハ是デ散會ヲ致シマス

午後四時四十八分散會

大正三年三月二十三日